

NTT

NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION



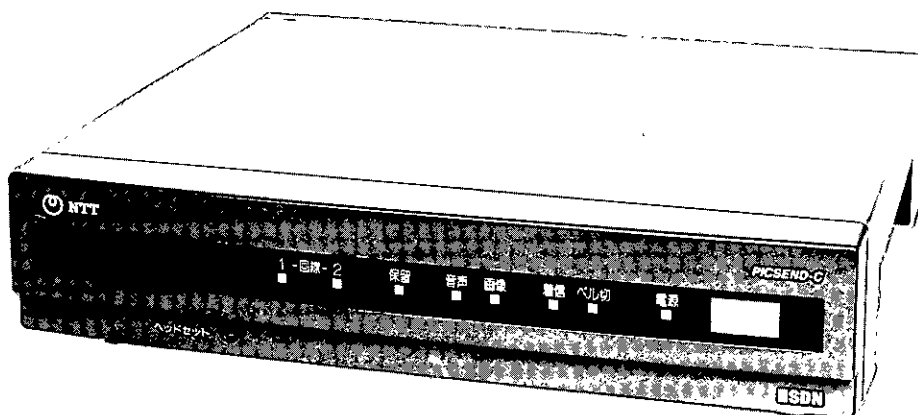
ISDN

PICSEND-C

取扱説明書

このたびは、PICSEND-Cをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使い方でご愛用ください。
- お読みになった後も、本装置のそばなどいつも手元に置いてご使用ください。



● はじめに ●

このたびは、PICS END-Cをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使い方でご愛用ください。

お読みになった後も、本装置のそばなどいつも手元に置いてご使用ください。

安全に関する表示と図記号の意味は次のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。



安全にお使いいただくために必ずお守りください



警告：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



ワンポイント：

この表示は、本装置を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。



- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。また、本書を紛失・汚損等の場合は、NTT窓口等へ注文してください。
- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話・録画などの機会を逸したために生じた損害などの純粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- 本装置の「操作早見表」をお使いになるときは、必ず、本装置の取扱説明書をよく読みご理解の上でお使いください。

正しく安全に お使いいただくために

安全上の警告情報

警告：異常時の対処のしかた

■ 発煙、異臭、異音の場合の対処



万一、煙がでる、へんな臭いやへんな音がするなどの異常状態の場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 水が装置内部に入った場合の対処



万一、水などの液体が内部に入った場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 装置が破損、電源コードが傷んだりした場合の対処



万一、本装置を破損したり、電源コードが傷んだりした場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 異物が装置内部に入った場合の対処



万一、本装置のすきまなどから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物が入った場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 原因不明のまま、画面が映らない場合の対処



故障状態で使用しないでください。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

安全上の警告情報

警告：取り扱いについて

■ 異物を中に入れないようにしてください



本装置のすきまなどから、金属物や紙類など、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜き、113番へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 装置のカバーは外さないでください



装置のカバーは開けないでください。感電や故障の原因となります。内部の点検、調整、清掃、修理は、113番へご連絡ください。

■ 装置の分解、改造はしないでください



お客様による分解、改造は、感電の原因となります。

警告：設置・据付について

■ 不安定なところに置かないでください



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。もし、落としたり倒れたりすると、けがの原因となります。

■ 風通しの悪いところに置かないでください



本装置に覆いをかけると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い狭いところに押し込む、逆さま、じゅうたんの上に置く、布をかけるなどで放熱を妨害しないでください。

安全上の警告情報

注意：設置・据付について

■ 水や薬品類がかからないようにしてください



本装置の上やすぐ近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。また、雨や雪などが掛かるようなところには置かないでください。水や液体が装置の中に入ると、故障や火災・感電の原因となります。

■ 温度・湿度の高いところには置かないでください



直射日光が当たる場所や熱器具のそばなど温度の高いところ、風呂場や加湿器のそばなどには置かないでください。内部の温度・湿度があがり、火災や故障の原因となることがあります。

■ 温度が低いところには置かないでください



冷凍倉庫や外気にさらされるなど温度変化の激しいところには置かないでください。結露などにより火災や故障の原因となることがあります。

■ ほこりの多いところには置かないでください



ほこりの多いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 本装置の上に重いものを置かないでください



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。

■ アースを必ず接地してください



万一、漏電したときの感電防止のためです。電源コンセントのアース端子や第3種接地端子からとってください。水道管、蛇口、ガス管などからはとらないでください。感電や事故の原因となります。

安全上の警告情報

警告：電源関係の取り扱いについて

■ AC100V 50/60Hz以外は接続しないでください

AC100Vの家庭用電源以外は、絶対に使用しないでください。冷暖房機や大型電気製品の高い電圧に接続すると火災・感電の原因となります。



■ プラグを抜くときは必ずプラグを持ってください

電源コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張ったりしないで、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードを傷め、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。



■ 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください

濡れた手でプラグの抜き差しは感電の原因となります。



■ 電源コードは傷つけないでください

電源コードを傷つけないように注意してください。電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加工したり、束ねたりしないでください。また、本装置の下や、イス、テーブルの脚や物にはさんだりしないようにしてください。これらは、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。



■ たこ足配線はしないでください

分岐ソケットや分岐コンセントによるたこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



■ ACアダプタは添付のものを使用してください

それ以外のものは、使用しないでください。火災の原因となります。



■ 雷が発生したときはプラグを抜いてください

近くに雷が発生したら、電源コードのプラグを抜いて、装置のご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



安全上の警告情報

注意：電源関係の取り扱いについて

- 長期間ご使用にならないときはプラグを抜いておいてください



長期間ご使用にならないとき（年末年始休暇や長期休暇など）は、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

- お手入れや移動の際はプラグを抜いてください



お手入れや移動の際は、安全のため電源プラグや接続されているコード類を抜いてください。

- ドライバ・工具類の使用時の注意



本装置に関連してドライバ・工具を使う作業は、センサ入力接続端子に接続するときだけです。指定以外のねじには触れないでください。感電や故障の原因となります。

- 指定以外の電池は使用しないでください



リモコンで使用する電池は、単3乾電池です。これ以外の電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

- 電池のプラスとマイナスの向きに注意してください



電池のプラスとマイナスの向きは、リモコンの指示通り正しく入れてください。間違えると破裂、液漏れにより、けがをしたり周囲を汚損する原因となります。

安全上の警告情報

STOP お願い:

■ INS ネット 64 にご加入ください

本装置は、INS ネット 64 の基本インターフェース (2B+D)「P-mP 接続」に接続してお使いいただくコーデック装置です。

また、多地点テレビ会議機能をお使いになる場合は、「呼毎通知許可」のサービスをご契約願います。

■ 構内交換機 (PBX) に接続する前に

構内交換機 (PBX) の種類によっては、接続できないことや機能が正常に働かないことがあります。NTT 窓口等にご相談ください。

お使いの構内交換機 (PBX) の取扱説明書をお読みになり動作の確認をすることをおすすめします。

構内交換機内線電話機としてご使用の場合、外線へ電話をかけるには、外線アクセス番号 (通常の交換機は 0 ボタン) を押してから相手番号をダイヤルする必要があります。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

本装置は、第一種情報装置 (商工業地域において使用されるべき情報装置) で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 基準に適合しております。従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

■ 電話帳などの登録内容について

長期間電源コードのプラグをコンセントから抜いていたときは、電話帳などの登録内容が消えることがあります。もう一度登録してください。

■ その他

本装置は TTC 標準に準拠しており、同標準に準拠した基本通信機能について他社製品との相互接続性が確認されております。(なお、オプションな機能あるいは本製品の独自の機能については、必ずしも他社製品との相互接続性は確認されていません。)



この取扱説明書の読み方

PICSEND-Cを楽しく有効に使っていただくために、この取扱説明書をご活用ください。
この取扱説明書は、以下のような構成になっています。

タイトル		内 容
はじめに		最初にお読みください。
正しく安全にお使いいただくために		あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。
第1章 PICSEND-Cとは	セットを確認してください	構成品の一覧です。必ず確認してください。
	PICSEND-Cの特長	PICSEND-Cの代表的な機能を紹介しています。 このページからも、使い方のページを探せます。
	各部のなまえとはたらき	PICSEND-Cのスイッチやランプなどの名前と働きを説明しています。
	モニタの見方	モニタに表示されるメッセージと、リモコンのボタンとの対応について説明しています。
	リモコンの使い方	電池の入れ方やリモコンの使い方について説明しています。
	リモコンのなまえとはたらき	リモコンの各ボタンの名前と働きについて説明しています。
第2章 ご使用の前に		PICSEND-Cを使うための準備を説明しています。
第3章 基本的な使い方		基本的な電話のかけかた、受けかたを説明しています。
第4章 便利な使い方		PICSEND-Cの個性ある機能を説明しています。
第5章 多地点テレビ会議機能の使い方		多地点テレビ会議特有の準備や操作方法を説明しています。
第6章 ご参考	外部機器の接続と条件	外部機器の接続、スイッチなどの設定のしかた、および接続機器の仕様条件について説明しています。
	トラブル対策	故障かな…と思ったとき、そのトラブルを解決するためのヒントを載せています。
	お手入れのしかた	お手入れのしかたとそのときの注意について説明しています。
	オプション・一般市販品の紹介	用途と目的に応じて、ここで紹介するオプション類を接続してください。
	索引	機能名から使い方のページを探せます。
	保証・アフターサービス	保証期間とアフターサービスについて説明しています。
	仕 様	仕様の詳細について説明しています。

ボタンの記号について

例1.

機能



リモコンのボタンを示します。

ただし、操作の説明文では「機能」と示しています。

例2.

D



リモコンのボタンを示します。

この例の操作説明文では、「鏡/正」(D)と示しています。

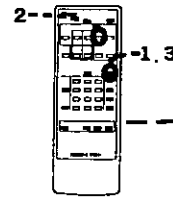
リモコンの「D」を押すと、「鏡/正」が選択され自分の画像が左右反対になります。

ページ構成の例

機能名。もくじからは機能名で探せます

自分の画像を 左右反対に見るとき

鏡/正



使用するリモコン
ボタンの位置を操
作番号順に示して
います

操作の説明

- 1 TV電源ON中に「機能」を押します。
- 2 「鏡/正」(D)を押します。
- 3 「機能」を押します。

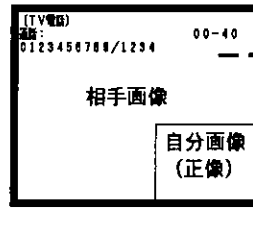
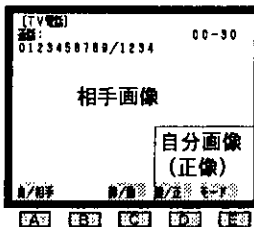
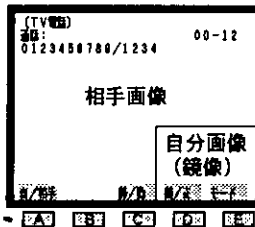


リモコンのボタンを
示します

機能名称が消えます。

操作後の
モニタ表示

画面表示とリモコン
のボタンを示します



操作に関連する
補足説明

「鏡像」と「正像」について

- 鏡に映った自分の映像：「鏡像」と、写真に撮った自分の映像：「正像」は、左右が反対になります。相手が見る自分は「正像」が自然なので、相手映像は「正像」です。一方、自画像を自分で見る場合は、「鏡像」のほうが見えており、自然な感じに見えるので、本装置についてはカメラで映した自画像は「鏡像」になっています。この欄では、自画像についてのみの説明で、相手に送信している画
- 像は「正像」のまま変わりません。

元の「鏡像」に戻すときは

もう一度「鏡/正」(D)を押します。

その他

自分画像がモニタに表示されていないときでも、「鏡/正」(D)は、有効になっています。

4 操作後のモニタ表示

もくじ

はじめに	1
正しく安全にお使いいただくために	2
この取扱説明書の読み方	8

第1章 PICSEND-Cとは

セットを確認してください	14
PICSEND-Cの特長	15
各部のなまえとはたらき.....正面、背面、側面、底面 ..	18
モニタの見方	22
リモコンの使い方	23
リモコンのなまえとはたらき	24

第2章 ご使用の前に

接続のしかた	28
日時設定	31
自アドレス/自サブアドレスの登録	32
電話帳に登録するとき.....電話帳登録 ..	34
サブアドレスについて	36
海外の相手と通信する方へ.....2つのダイヤル入力 ..	37
入力文字について	38

第3章 基本的な使い方

電話をかけるとき.....TV電話でかける ..	42
音声電話でかける ..	44
ワンタッチで電話をかけるとき.....ワンタッチダイヤル ..	46
最後にダイヤルした相手を再度呼び出すとき.....再ダイヤル ..	47
電話を受けるとき.....普通に受ける ..	48
自分の画像を送らないでTV電話を受けるとき.....自動送信ミュート ..	49
通話中に相手に待っていただくとき.....保留 ..	50

第4章 便利な使い方

(発信) 電話帳から選んで電話をかけるとき.....電話帳ダイヤル ..	54
自動で相手を呼び出すとき.....センサ発信 ..	55
(着信) 電話帳に登録した相手からの着信を呼出音で聞き分けるとき.....識別着信 ..	56
電話帳に登録していない相手からの着信を受けたくないとき.....着信拒否 ..	57

もくじ

(通話)	相手に自分の声を聞かせないようにするとき	音声ミュート	58
	相手に自分の画像を送らないようにするとき	画像ミュート	59
	自分の画像と相手の画像を入れ替えるとき	自／相手	60
	P i n P (子画面) を消去するとき	P i n P	61
	高精細静止画を相手に送るとき	静／動	62
	自分の画像を左右反対に見るとき	鏡／正	63
	通話中に通信条件を変えるとき	通信モードの変更	64
	通話中に P B ダイヤル音を送出するとき	P B ダイヤル送付	66
	相手から送られてくる画像の画質を変えるとき	リモート画質変更	67
	相手から送られてくる画像を静止画にするとき	リモート高精細受信	68
(設定)	相手に送る画像の画質を変えるとき	画質変更	69
	通信開始時の P i n P (子画面) 表示を自動で消去するとき	P i n P 表示設定	70
	メモリの内容をすべて消去するとき	全消去	71
	着信音や保留音の音色を確認するとき	モニタ	72
	着信音や保留音の音色を変更するとき	着信音、保留音	73
	画面に通話中の経過時間を表示するとき	通話時間表示設定	74
	自動的に着信させるとき	T V 電話自動着信	75
	発信者番号を通知しないでダイヤルするとき	発信者番号通知なしダイヤル	76
	通信条件を設定するとき	通信モードの設定	78
(確認)	最近かけた電話の記録を確認するとき	発信記録	80
	最近かかってきた電話の記録を確認するとき	着信記録	81
	累積料金を確認するとき	累積料金	82
(データ)	T V 電話中にデータを送受信するには	データ通信	83
(監視)	本装置を監視目的に利用する方へ	監視	84

第5章 多地点テレビ会議機能の使い方

多地点テレビ会議とは	88
多地点テレビ会議の準備	91
メンバ、グループの登録	92
会議状態の設定	94
多地点テレビ会議を始めるとき	96
多地点再発信を ON / OFF するとき	99
多地点テレビ会議中に会議状態を変更するとき	100
1 画面表示と 4 分割画面表示を切り替えるとき	101

第6章 ご参考

外部機器の接続と条件	104
トラブル対策	106
お手入れのしかた	110
オプション・一般市販品の紹介	111
索引	112
保証・アフターサービス	114
仕様	115



●第 1 章●

P I C S E N D - C とは

セットを確認してください	14
P I C S E N D - C の特長	15
各部のなまえとはたらき.....正面、背面、側面、底面.....	18
モニタの見方	22
リモコンの使い方	23
リモコンのなまえとはたらき	24

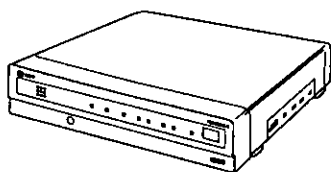
セットを確認してください

1 PICSSEND-C

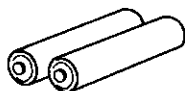
セットを確認してください

梱包の中には、以下のものが入っています。ご確認の上、取り出してください。

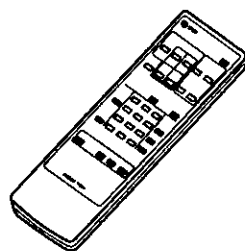
本装置を運搬する時や、修理ご依頼時には、本装置を梱包しているダンボール箱をご利用され
ますと、大切な機器の保護に大変便利です。ダンボール箱はぜひ保管されることをおすすめします。



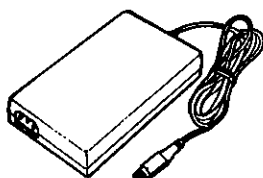
PICSSEND-C
本体 (1台)



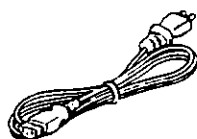
単3乾電池 (2個)



ワイヤレスリモコン (1個)



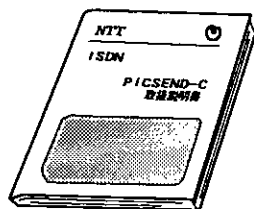
ACアダプタ (1個)



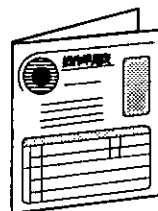
電源コード (1本)
約2.2m



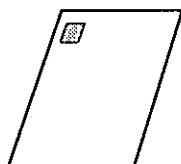
電話機コード (1本)
約3m



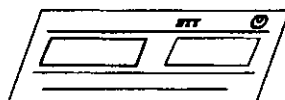
取扱説明書 (本書)



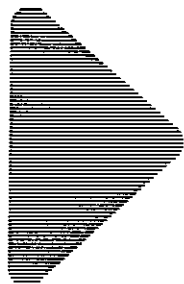
操作早見表



アンケート葉書 (1葉)



保証書 (1枚)



P I C S E N D - C の特長

P I C S E N D - C はこんなことができます。主な機能だけ取り上げました。

ご参照
ページ

ワンタッチダイヤル

A～Jのボタンと通信ボタンを押すだけで相手呼び出すことができます。 **ワンタッチダイヤル**

46

A B C D E

10 あて先

F G H I J

ワンタッチダイヤルを使うときは、**電話帳登録**が必要です。電話帳の30のあて先のうち、1～10のあて先がワンタッチボタンに対応しています。

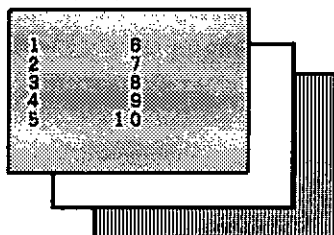
34

電話帳

電話帳を開いて、あて先を指定してすぐに相手呼び出せます。 **電話帳ダイヤル**

54

30 あて先



相手の電話番号や名前、通信モードはあらかじめ登録しておきます。 **電話帳登録**

34

1～10のあて先が、**ワンタッチダイヤル**のボタンに対応しています。

46

電話帳に登録してある相手からの着信は、呼出音の鳴り方を変えることができます。 **識別着信**

56

電話帳に登録していない相手からの着信を、受けないようにすることができます。 **着信拒否**

57

自動着信機能

本装置のところに人がいなくても、自動的に着信し、応答させることができます。

75

ルームモニターや遠隔監視など、無人運用に利用できます。 **TV電話自動着信**

センサ発信

センサなどの機器を接続することで、自動発信機能への応用が可能です。遠隔監視など、無人運用に利用できます。 **センサ発信**

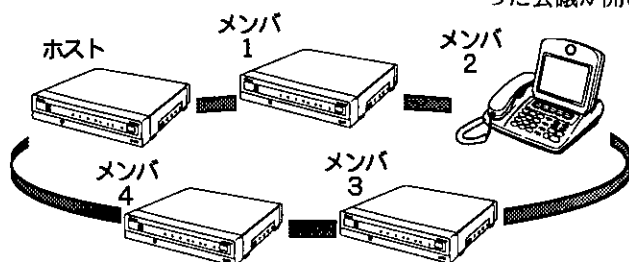
55

ご参照
ページ

多地点テレビ会議

最大で5地点の、P I C S E N D - C または P I C S E N D - R を同時に結んで、音声と画像を使った会議が開けます。

88



多地点テレビ会議

ホスト端末は、会議に参加している端末の画面を、1画面表示にしたり、4分割画面表示にしたりと、簡単に切り替えられます。

101

画面切替

高精細静止画

写真や資料など、目的に応じて高精細の静止画を送信できます。
(相手側の装置が P I C S E N D - C または P I C S E N D - R のとき、ご利用になれます。)

62

	解像度* (水平 × 垂直)	動 き
高精細静止画	704 × 480	静止画
画質重視動画	352 × 288	最大受信能力 10フレーム/秒
動き重視動画	176 × 144	最大受信能力 15フレーム/秒

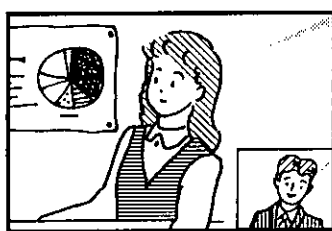
*鮮明度は、カメラ、モニタの性能により異なります。

P in P (子画面)

Picture in Picture

相手の画像と自分の画像が同時に見れます。

22



モニタ画面

親画面

子画面

親画面と子画面の画像入れ替え、子画面表示のON/OFFなどが自由にできます。

60

61



ご参照
ページ

リモート画質変更 リモート高精細受信

相手の画像(自分が見ている画像)の画質を、画質重視にしたり、動き重視にしたり、高精細静止画にしたりと自由に変更できます。

(相手のTV電話がP I C S E N D - Cのとき、ご利用になれます。)

リモート画質変更

リモート高精細受信

67

68

音声ミュート 画像ミュート

一時的に、音声や画像を相手に送らないようにすることができます。**音声ミュート**、**画像ミュート**

音声ミュートと画像ミュートは、別々に使うことができます。

58

59

データ通信

R S - 2 3 2 Cのデータインターフェースを1ポートもっています。TV電話中に、データを送受信することができます。

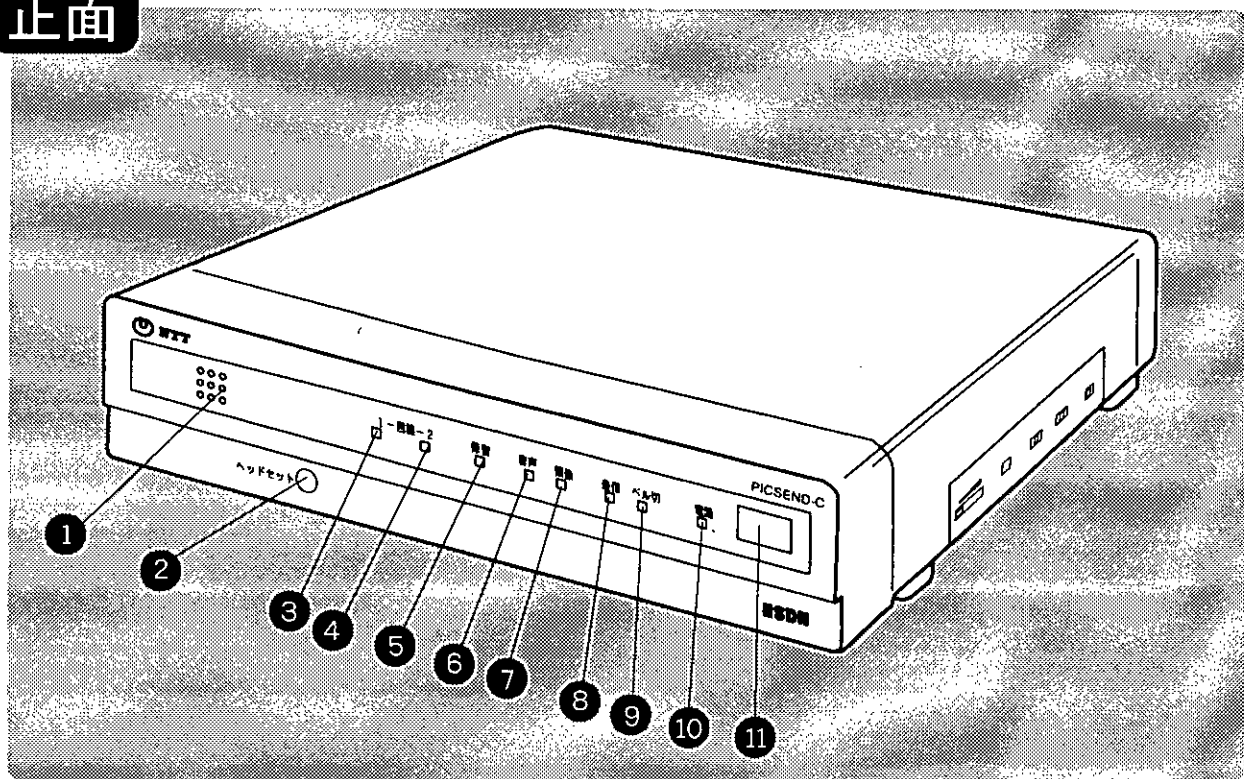
83

各部のなまえとはたらき

正面

背面

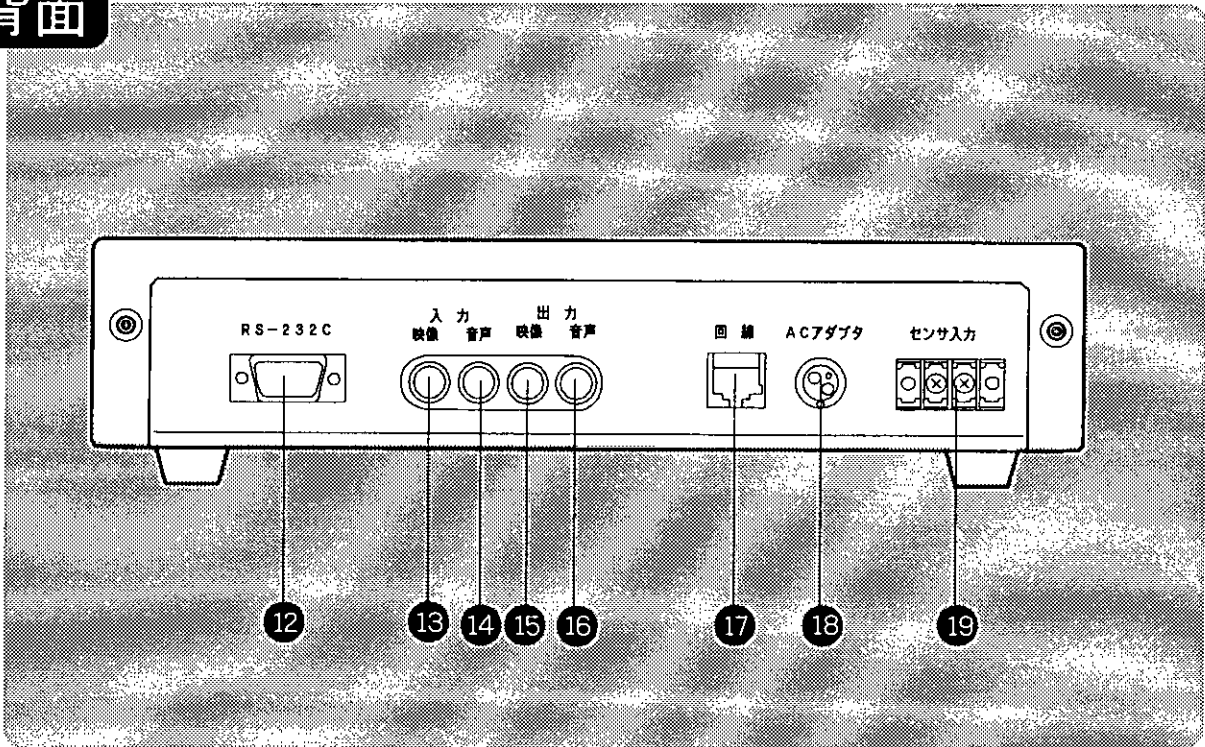
正面



- ① 内蔵スピーカ
着信音や保留音が鳴ります。
- ② ヘッドセット入力用ジャック
音声入力切替スイッチがヘッドセットのとき、ヘッドセット(オプション)を使って相手の音声を聞いたり、相手に音声を送ったりできます。オプションについては111ページを参照してください。
- ③ 回線1ランプ(赤)
音声電話またはTV電話中に点灯します。接続動作中は点滅します。
- ④ 回線2ランプ(赤)
INSネット64のチャネルを2Bとも使用したTV電話中に点灯します。接続動作中は点滅します。
- ⑤ 保留ランプ(赤)
保留しているとき点滅します。
- ⑥ 音声ランプ(赤)
通話しているとき点灯します。
音声ミュート中は点滅します。
- ⑦ 画像ランプ(赤)
TV電話通信中、こちらの画像を送っているときに点灯します。
画像ミュート中は点滅します。
- ⑧ 着信ランプ(緑/赤)
TV電話の着信時に緑で点滅します。
音声電話の着信時に赤で点滅します。
- ⑨ ベル切ランプ(赤)
着信音量切替スイッチを切にしたとき点灯します。
- ⑩ 電源ランプ(緑)
電源が入っているとき点灯します。
- ⑪ リモコン受光部
リモコンからの赤外線のをここで受光します。

各部のなまえとはたらき
(背面)

背面



12 RS-232C端子

データ通信を行うとき、RS-232Cケーブル（市販品）を接続します。

13 映像入力端子

相手に送る映像を入力します。

14 音声入力端子

音声入力切替スイッチを外部にしているとき、ここから入力した音声を相手に送ることができます。

15 映像出力端子

操作画面と相手から送られてきた映像などを出力します。

16 音声出力端子

相手から送られてきた音声を出力します。音声ミキシングスイッチがONのときは、相手に送る音声をミキシングして出力します。

17 ISDN回線用ジャック

添付品の電話機コードで、ISDNと接続します。

18 ACアダプタ接続端子

添付品のACアダプタで電源(AC100V)と接続します。

19 センサ入力接続端子

センサ発信を使うとき、センサなどを接続します。

各部のなまえとはたらき

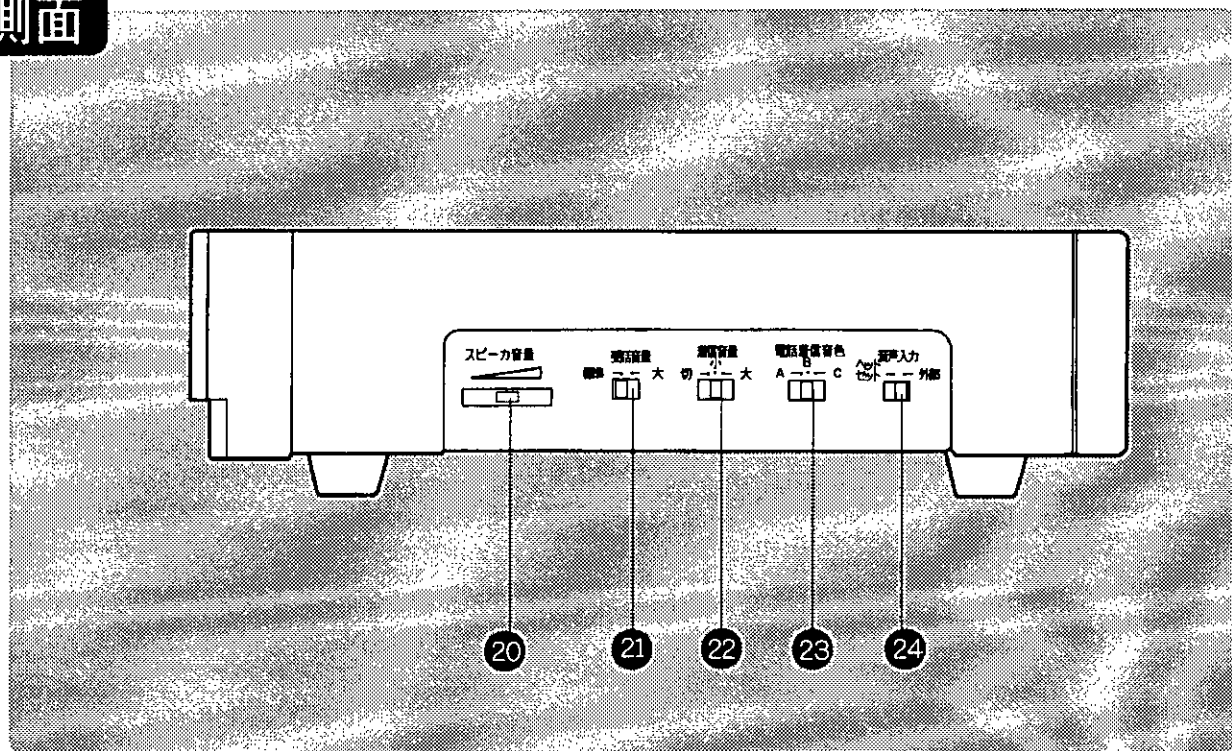
側面

底面

1 PISEND-CAN

各部のなまえとはたらき

側面



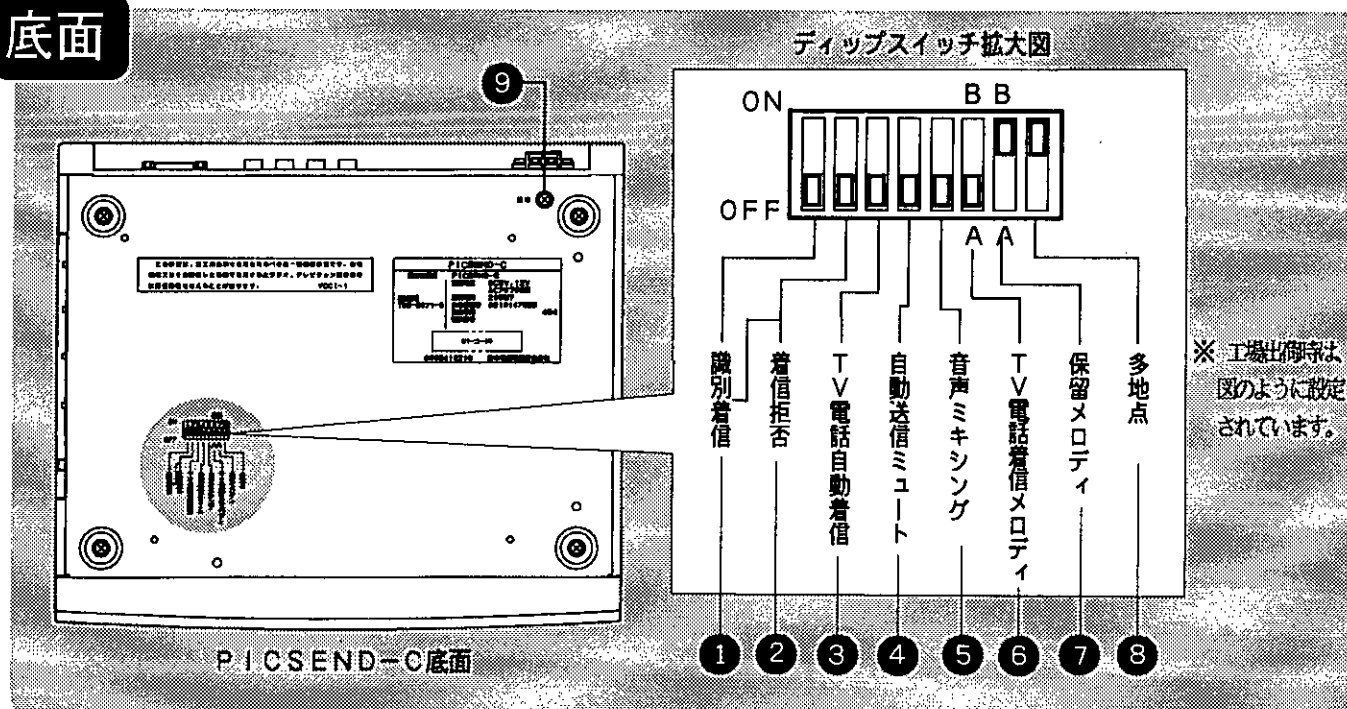
- 20 スピーカ音量調整ボリューム
内蔵スピーカからでる音量を調整します。
- 21 受話音量切替スイッチ (標準、大)
ヘッドセットからでる音量を調整します。
- 22 着信音量切替スイッチ (切、小、大)
着信したときの呼出音の大きさを切り替えます。

- 23 電話着信音色切替スイッチ (A、B、C)
音声電話がかかってきたときの呼出音色を切り替えます。
- 24 音声入力切替スイッチ (ヘッドセット、外部)
ヘッドセット (オプション) を使うときはヘッドセットに、使わないときは外部に切り替えます。外部にすると、音声入力端子から入力した音声を相手に送ります。

各部のなまえとはたらき (底面)

識別着信、着信拒否、TV電話自動着信、自動送信ミュート、または多地点を設定すると、待機画面にその設定項目が表示されます。

底面



1 P1CSEND-Cは各部のなまえとはたらき

1 識別着信

- N：かけてきた相手を識別します。
- OFF：かけてきた相手を識別しません。

2 着信拒否

- N：識別着信ONのときに、電話帳に登録していない相手からの着信を拒否します。
- OFF：識別着信ONのときに、電話帳に登録していない相手からの着信時、呼出音を変えます。

3 TV電話自動着信

- N：TV電話がかかってきたとき自動応答します。
- OFF：TV電話がかかってきたとき自動応答しません。

4 自動送信ミュート

- N：TV電話がかかってきたとき、自動送信ミュート（自動的に画像を送らず、音声だけ送る状態）で応答します。
- OFF：TV電話がかかってきたとき、画像と音声を送信する状態で応答します。

5 音声ミキシング

- N：相手から聞こえる音と、相手への音をミックスして、外部音声出力端子から出力します。
- OFF：相手から聞こえる音だけを外部音声出力端子から出力します。

6 TV電話着信メロディ

- A：TV電話がかかってきたときの着信音（メロディ）を「メロディ・フェア」にします。
- B：TV電話がかかってきたときの着信音（メロディ）を「レット・イット・ビー」にします。

7 保留メロディ

- A：保留にしたときのメロディを「メロディ・フェア」にします。
- B：保留にしたときのメロディを「レット・イット・ビー」にします。

8 多地点

- N：多地点テレビ会議機能を使うとき設定します。
- OFF：TV電話としてだけ使うとき設定します。

9 接地

- 設置するときに必ず接地してください。



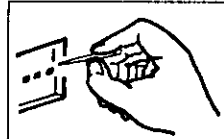
警告

- 設置するときに必ずアース端子を接地してください。



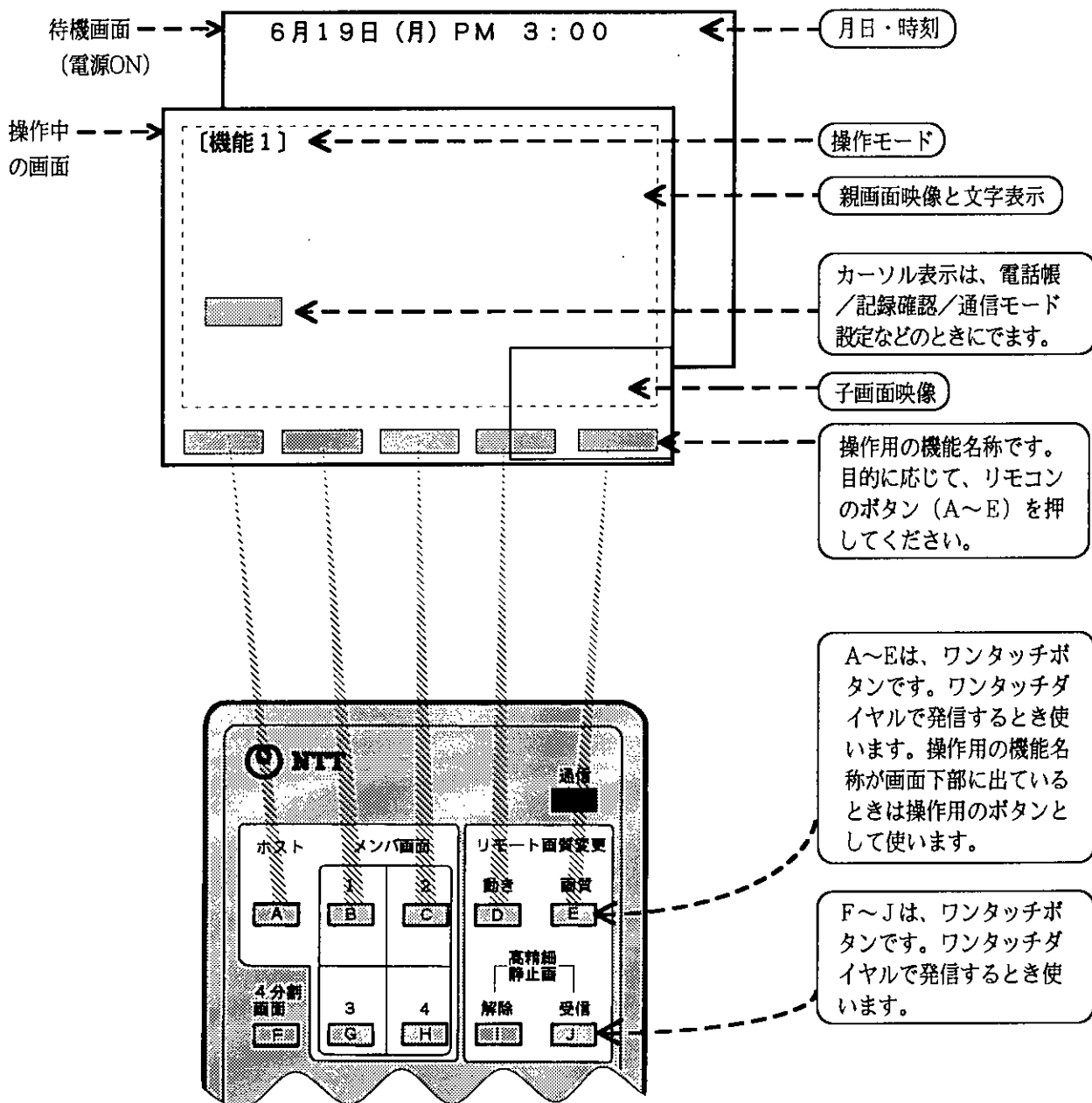
お願い

- ディップスイッチを切り替えるときは、先端が金属でない、楊枝のようなものをお使いください。



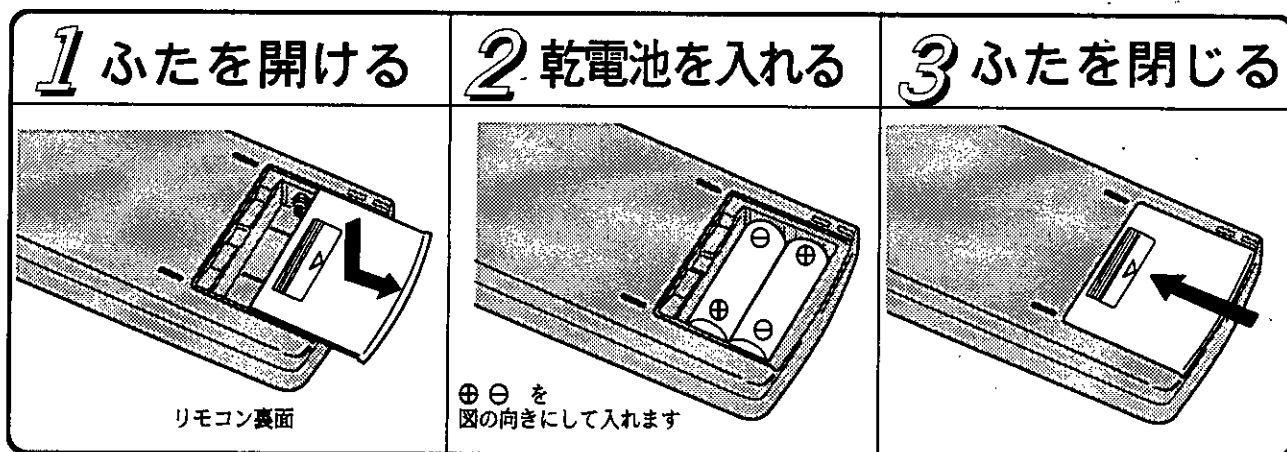
モニタの見方

映像出力端子に接続したモニタには、テレビ電話としての映像のほか、操作ガイダンスの文字が表示されます。

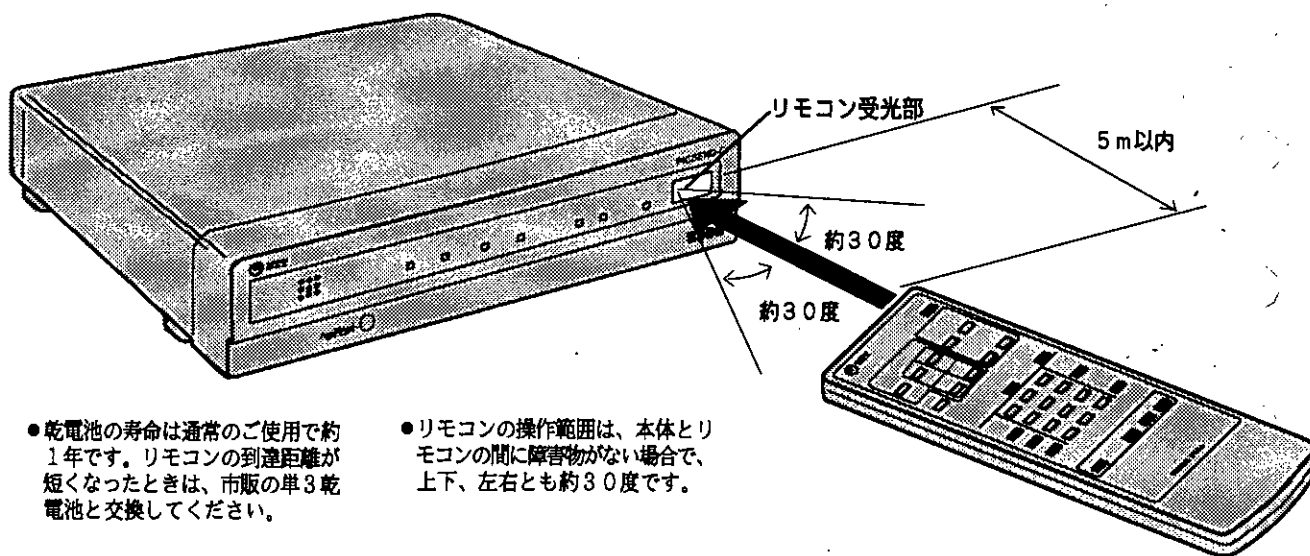


リモコンの使い方

お使いになる前に付属の乾電池を入れてください。



リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。



●乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。リモコンの到達距離が短くなったときは、市販の単3乾電池と交換してください。

●リモコンの操作範囲は、本体とリモコンの間に障害物がない場合で、上下、左右とも約30度です。



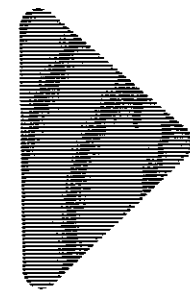
注意

- リモコンで使用する電池は単3乾電池です。その他の電池は使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池のプラスとマイナスの向きは、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがをしたり周囲を汚損する原因となります。



お願い

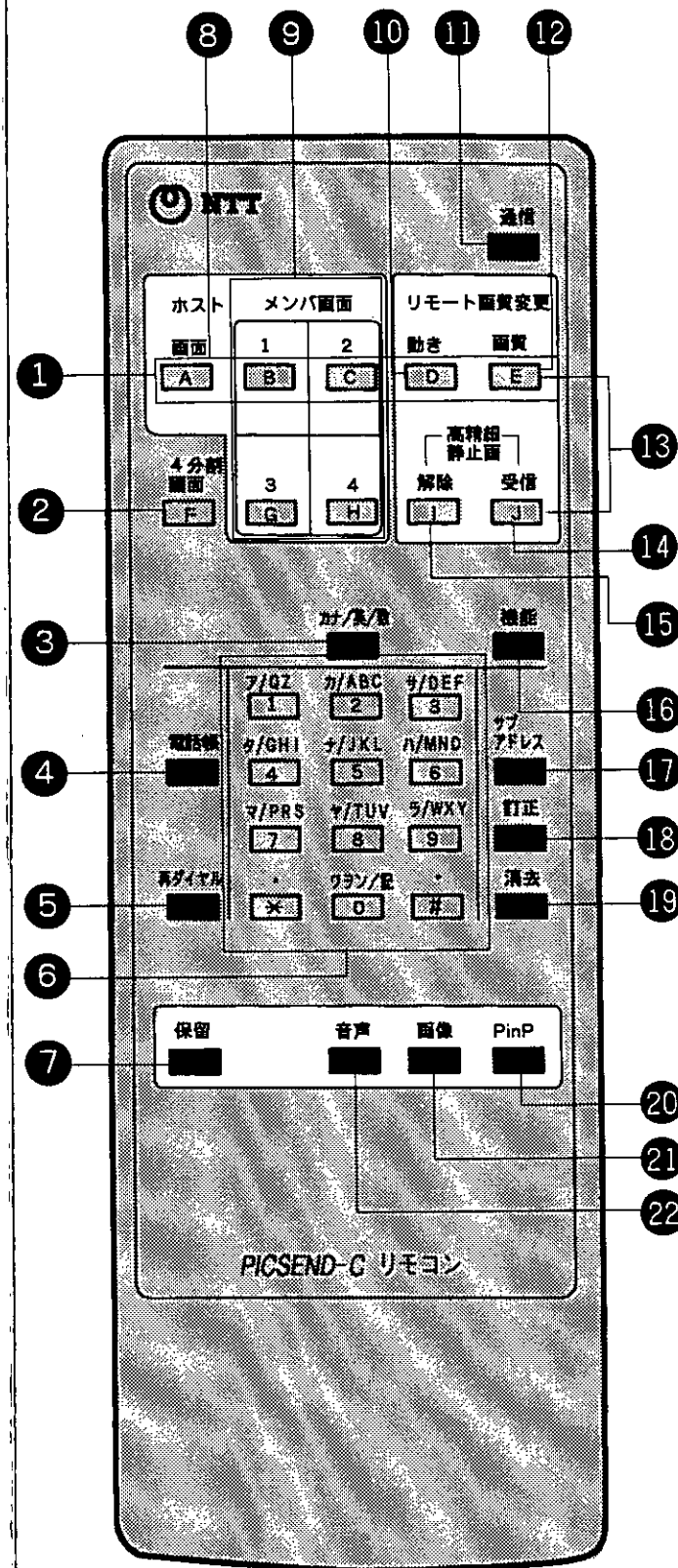
- 使用済電池につきましては、他のゴミと分別する等、適正廃棄処理されるようお願いいたします。



リモコンのなまえとはたらき

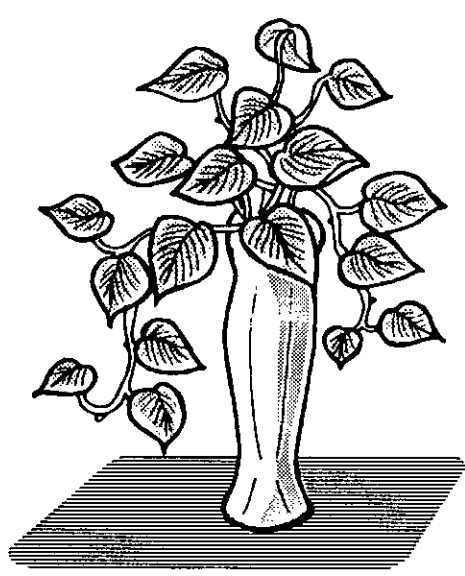


この折り込みページを開いておくと、各操作説明ページとリモコン図を見比べながら操作できます。



リモコン全体図

- 1 ホストボタン**
多地点テレビ会議のとき、ホスト端末の画像に参加しているすべての端末に見せるとき使います。
- 2 4分割画面ボタン**
テレビ会議のとき、自分以外のメンバ全員の画像を4分割画面で、参加しているすべての端末に見せるとき使います。
- 3 カナ/英/数ボタン**
電話帳の名前や多地点テレビ会議のグループ名の入力をするとき使います。
- 4 電話帳ボタン**
電話帳登録や電話帳ダイヤルのとき使います。
- 5 再ダイヤルボタン**
最後にダイヤルした相手を再度呼び出すとき使います。
- 6 ダイヤルボタン (カナ/英/数入力兼用)**
ダイヤルするときや番号登録のとき使います。
- 7 保留ボタン**
相手に待っていただくとき、保留メロディを出力するために使います。
- 8 ファンクションボタン (A~E)**
モニタ画面下部に機能名称が表示がされている場合で、その機能を実行するとき使います。
- 9 メンバボタン (1~4)**
多地点テレビ会議のとき、各メンバ端末の画像を1画面にして参加しているすべての端末に見せるとき使います。
- 10 動きボタン**
相手から送られてくる画像を動き重視にするとき使います。
- 11 通信ボタン**
通信を始めるときや、終わるとき使います。
- 12 画質ボタン**
相手から送られてくる画像を画質重視にするとき使います。
- 13 ワンタッチボタン (A~J)**
ワンタッチダイヤルで発信するとき使います。
- 14 高精細静止画受信ボタン**
相手から送られてくる画像を高精細静止画にしたいとき使います。
- 15 高精細静止画解除ボタン**
高精細静止画の表示を解除したいとき使います。
- 16 機能ボタン**
各種機能の選択や登録に使います。
- 17 サブアドレスボタン**
サブアドレスを指定するダイヤルや登録のとき使います。
- 18 訂正ボタン**
登録やダイヤルのとき、一番後ろの1文字消去に使います。
- 19 消去ボタン**
登録やダイヤルのとき、全文字消去に使います。
- 20 PinPボタン**
子画面を表示したり消したりするとき使います。
- 21 画像ボタン**
TV電話をかけているとき、こちらの画像を送ったり止めたりするとき使います。
TV電話に変更して電話をかけるときにも使います。
- 22 音声ボタン**
こちらの音声を送ったり止めたりするとき使います。音声電話をかけるときにも使います。



2

ご使用の前に



●第 2 章●

ご使用の前に

接続のしかた	28
日時設定	31
自アドレス／自サブアドレスの登録	32
電話帳に登録するとき	電話帳登録 34
サブアドレスについて	36
海外の相手と通信する方へ	2つのダイヤル入力 37
入力文字について	38

接続のしかた

本装置の背面で、ACアダプタ、回線、外部機器との接続をします。
外部機器の接続条件は、104ページを参照してください。

警告

■ AC100V50/60Hz以外は接続しないでください



AC100Vの家庭用電源以外は、絶対に使用しないでください。冷暖房機や大型電気製品の高い電圧に接続すると火災・感電の原因となります。

■ プラグを抜くときは必ずプラグを持ってください



電源コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張ったりしないで、必ずプラグをもって抜いてください。コードを引っ張るとコードを傷め、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

■ 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください



濡れた手でプラグの抜き差しは感電の原因になります。

■ 電源コードは傷つけないでください



電源コードを傷つけないように注意してください。電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加工したり、束ねたりしないでください。また、本装置の下や、イス、テーブルの脚や物に挟んだりしないようにしてください。これらは、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

■ たこ足配線はしないでください



分岐ソケットや分岐コンセントによるたこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

■ ACアダプタは添付のものを使用してください



それ以外のものは、使用しないでください。火災の原因となります。

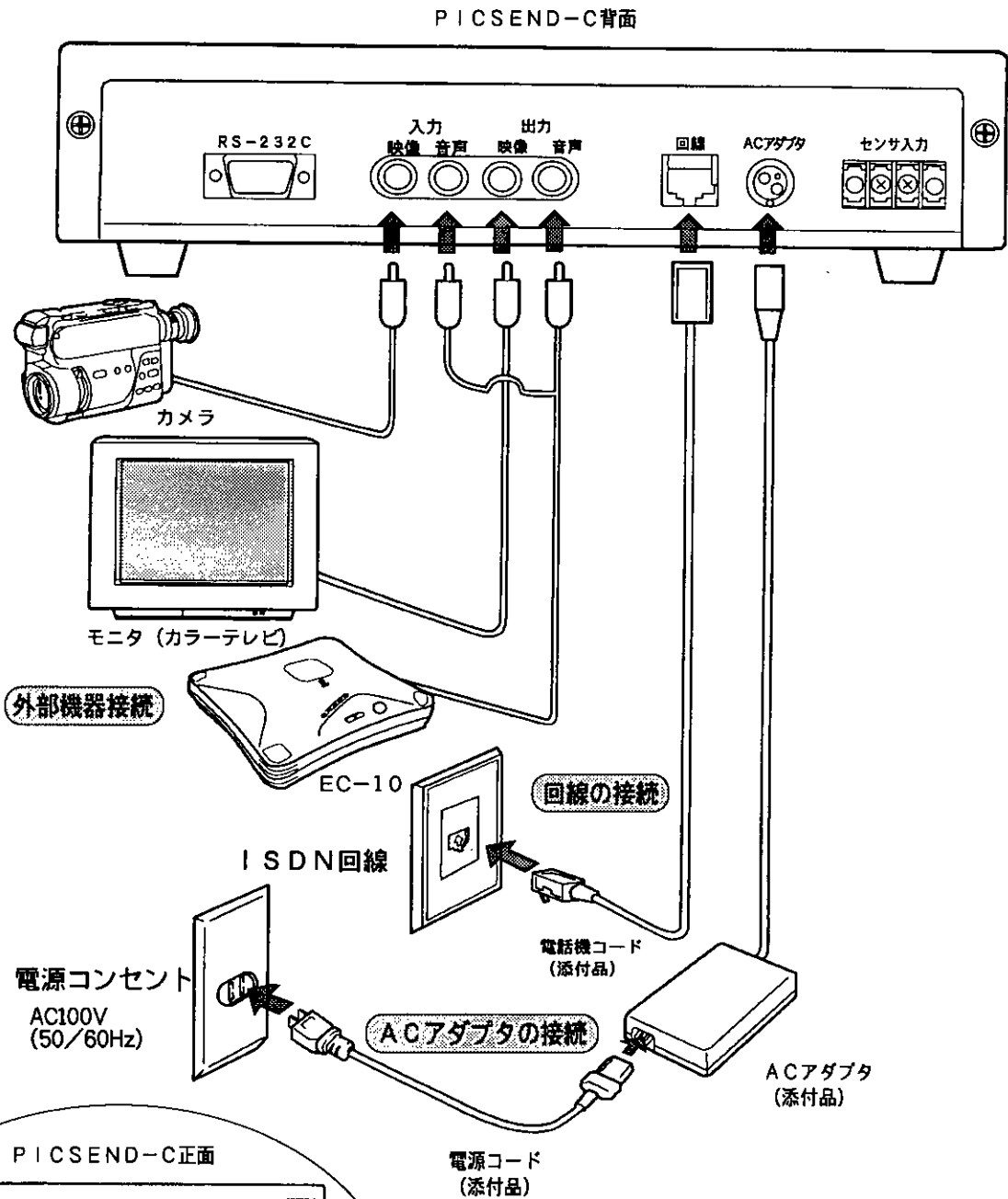
注意



- 指定以外のねじには触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 接続のときは、安全のため電源プラグを抜いてください。



テレビ電話として使用する場合



2
ご使用の前に

接続のしかた

⚠ 注意

- アースを必ず接地してください。
万一、漏電したときの感電防止のためです。
電源コンセントのアース端子や第3種接地端子からとってください。水道管、蛇口、ガス管などからはとらないでください。感電や事故の原因となります。

データ通信を行う場合

監視を行う場合

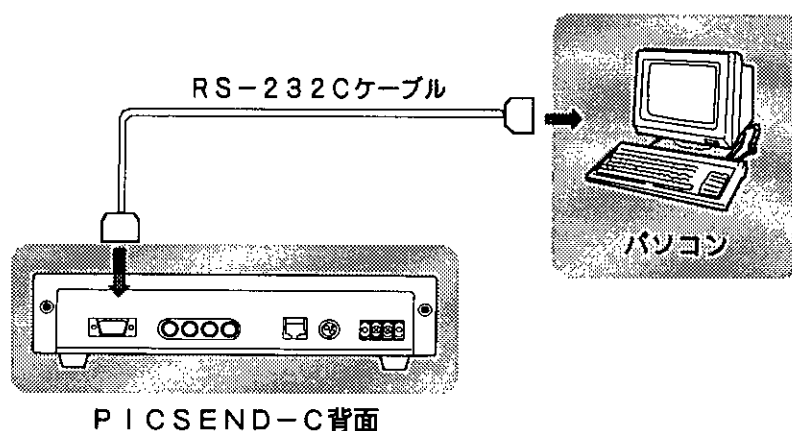
2

使用の前に

接続のしかた

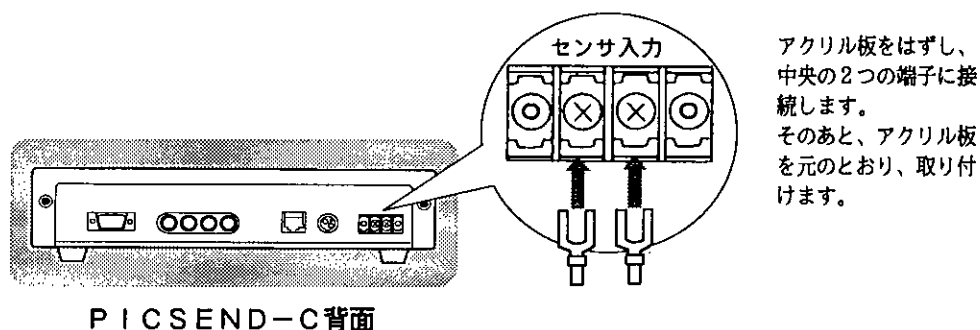
■データ通信を行う場合

テレビ電話として使用する場合（29ページ）の接続のほかに、以下の接続をします。
詳しくは83ページを参照してください。



■監視を行う場合

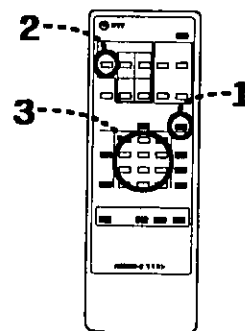
センサを接続するときは、テレビ電話として使用する場合（29ページ）の接続のほかに、以下の接続をします。



⚠ 注意

- 指定以外のねじには触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 接続のときは、安全のため電源プラグを抜いてください。

日時設定



1

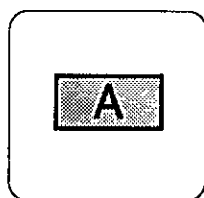
待機画面において、**機能** を
2回押します。



2回

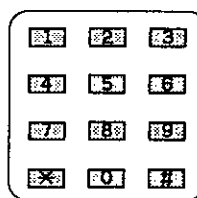
2

月日時刻 (A) を押します。



3

年、月、日、時刻を入力します。



(設定例)
1995年6月19日 15:00に設定

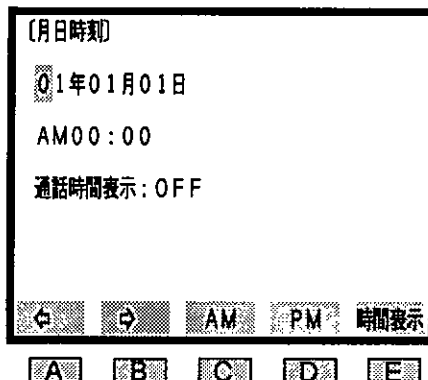
2
ご使用の前に

日時設定

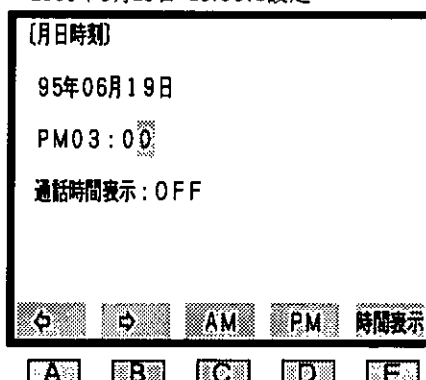
[機能2]



[月日時刻]



[月日時刻]



累積料金開始時刻の設定について

初めてお使いになるときは、累積料金を正しく設定するため、日時設定のあと累積料金（82ページ）の消去を行ってください。

入力

年	西暦 下2桁
月日	2桁、2桁
時分	2桁（12時間制）、2桁

AM/PMを設定するときは

AM (C) を押すとAMに設定され、カーソルが時刻に移動します。

PM (D) を押すとPMに設定され、カーソルが時刻に移動します。

入力時刻を間違えたときは

← (A) を押すと、分→時→日→月→年の順にカーソルが移動します。

→ (B) を押すと、年→月→日→時→分の順にカーソルが移動します。

終了で元に戻るときは

機能 を1回押すと、表示されている時刻を設定し、時計をスタートします。さらに **機能** を1回押すと、待機画面に戻ります。

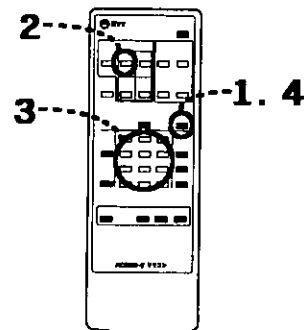
時間表示

通話開始時の通話時間を消す/出すことができます。通話時間表示設定（74ページ）を参照してください。

ご注意

存在しない年月日、時刻のときは、**機能** を押しても無効になります。

自アドレス／ 自サブアドレスの登録



1

待機画面において、**機能** を
2回押します。

機能

2回

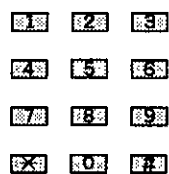
2

自アドレス (B) を押します。

B

3

電話番号を入力します。



2
ご使用の前に

自アドレス／自サブアドレスの登録

[機能2]

月日時刻 自 アドレス モニタ その他 全消去

[A] [B] [C] [D] [E]

[自アドレス]

電話番号を入力してください。

[自アドレス]

電話番号を入力してください。
0123456789/123

すでに登録されているときは

変更するときは番号入力の前に
消去、**訂正** を押してから変更
する番号を入力してください。

登録の桁数は

自アドレス：最大24桁、自サブ
アドレス：最大19桁まで入力できま
す。

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。
消去 を押すと、入力した電話番号全
部を取り消します。

自サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブ
アドレス番号を入力します。「/」は
アドレスとサブアドレスの区切りを
示します。サブアドレスについては
36ページを参照してください。

自アドレスは

自アドレスを登録する時は、必ず
市外局番から入力してください。

4

入力が終わったら、**機能** を押します。

機能

入力した番号が登録されます。

[機能2]

月日時刻 自 アドレス モニタ その他 全消去
 [A] [B] [C] [D] [E]

終了で元に戻るときは

機能 を押すと、待機画面に戻ります。

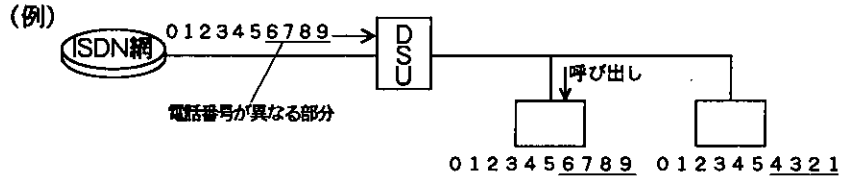
自アドレス/自サブアドレスの使い方

自アドレス/自サブアドレスにより、同じ回線上のほかの機器と区別できます。区別のしかたは、2つの方法があります。

①ダイヤルインサービスを使用する方法

ダイヤルインサービスに加入すると、1本の電話回線で複数の機器を、別々の電話番号で使えるようになります。

このとき、自アドレスを必ず登録してください。

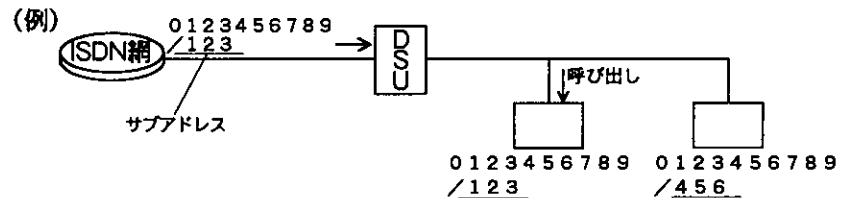


・ダイヤルインサービスの加入は、NTTへの申し込みが必要です。

②ダイヤルインサービスを使用しない方法

複数の機器にそれぞれのサブアドレス（枝番）をつけ、あたかも複数の電話番号を接続しているかのように使うことができます。

(ただし、アナログ網から指定することはできません。)



自アドレス/自サブアドレスが登録してあるときは

相手がダイヤルしてきた電話番号（アドレス/サブアドレス）と、登録してある電話番号を照合し、一致とみなしたときだけ呼出音が鳴ります。

アドレスは、電話番号の後ろから比較して、番号が同じとき一致とします。

サブアドレスは、番号が完全に同じとき一致とします。

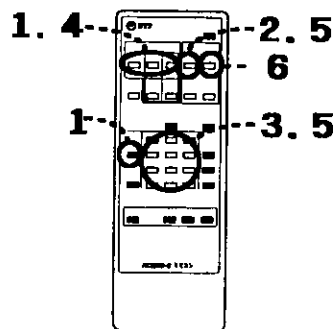
相手がダイヤルしてくる電話番号 アドレス/サブアドレス	登録してある 自アドレス/自サブアドレス	動作
0123456789/123	0123456789/123	呼出音が鳴る
	0123456789	呼出音が鳴る
	0123456789/12	着信しない
	/123	呼出音が鳴る
	/12	着信しない

2
ご使用の前に

自アドレス/自サブアドレスの登録

電話帳に登録するとき

電話帳登録



1

電話帳 を押します。

電話帳

↓ (A) または ↑ (B) を押して、登録したい番号に、カーソルを合わせます。

[電話帳]		1/3
1キカク	6	
2エイギョウ	7	
3カイハツ	8*****	
4ソウム	9	
5	10	
(登録内容)		
TV電話1 (2B, 画像優先)		
↓	↑	登録

[A] [B] [C] [D] [E]

電話帳

30 宛先

まで入ります。

電話帳

1/3 ページ
(1~10)

電話帳

2/3 ページ
(11~20)

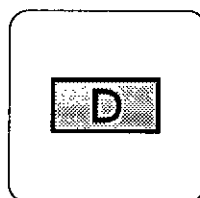
電話帳

3/3 ページ
(21~30)

- ・電話帳画面の中の(登録内容)には、登録してある電話番号と通信モードが表示されます。
- ・名前が登録されていないときは、***** が表示されます。

2

登録 (D) を押します。



[電話帳: 5 登録]	
A. 名前	
B. 電話番号	
C. 通信モード TV電話1 (2B, 画像優先)	
使用チャネル: 2B	
音声	: ADPCM
画像	: 画質重視
↓	↑
登録終了	

[A] [B] [C] [D] [E]

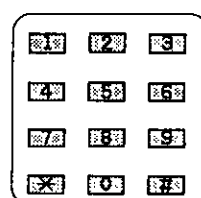
すでに、登録してある場合は、登録してある内容が表示されます。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブアドレス番号を入力します。「/」はアドレスとサブアドレスの区切りを示します。サブアドレスについては36ページを参照してください。

3

ダイヤルボタンで電話番号を入力します。



[電話帳: 5 登録]	
A. 名前	
B. 電話番号	0123456789/1111
C. 通信モード TV電話1 (2B, 画像優先)	
使用チャネル: 2B	
音声	: ADPCM
画像	: 画質重視
↓	↑
登録終了	

[A] [B] [C] [D] [E]

電話番号を入力します

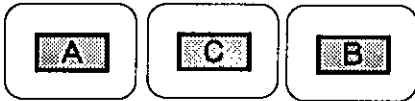
アドレス:24桁、サブアドレス:19桁まで入力できます。
アドレスを入力するときは、市外局番から入力してください。
海外の相手と通話する場合は、2つのダイヤル入力(37ページ)を参照してください。

電話番号を間違えたときは

- 訂正** を押すと、直前に入力した番号1桁を入力最終桁から取り消します。
- 消去** を押すと、入力した電話番号全部を取り消します。このとき通信モードはTV電話1 (2B, 画像優先)に戻ります。

4

↓ (A) を押して、通信モードにします。通信モード (C) を押して通信モードを選択します。次に、↑ (B) を2回押して、名前登録にします。



〔電話帳: 5 登録〕
A. 名前

B. 電話番号
0123456789/1111
C. 通信モード TV電話2 (2B, 音声優先)
使用チャンネル: 2B
音声: PCM
画像: 画質重視

↓ ↑ 通信モード 登録終了



通信モードを選択します

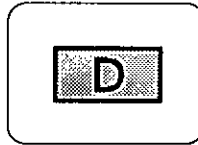
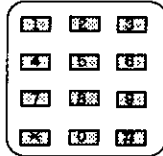
通信モード (C) を押すごとに通信モードを変えられます。

- TV電話1 (2B, 画質優先)
- ▼
- TV電話2 (2B, 音声優先)
- ▼
- TV電話3 (1B)
- ▼
- TV電話4 (任意1)
- ▼
- TV電話5 (任意2)
- ▼
- 音声電話

通信モードの詳細は、通信モードの設定 (78ページ) を参照してください。

5

ダイヤルボタンで文字を選択します。カナ、英モードのときは、さらに 文字確定 (D) を押します。文字は8文字まで入力できます。



〔電話帳: 5 登録〕 カナ
A. 名前
ケイリ-----
B. 電話番号
0123456789/1111
C. 通信モード TV電話2 (2B, 音声優先)
使用チャンネル: 2B
音声: PCM
画像: 画質重視

↓ ↑ 文字確定 登録終了



名前を入力します

入力モードには、カナモード、英モード、数字モードがあります。リモコンの [カナ/英/数] を押して入力モードを選択します。入力できる文字は、入力文字について (38ページ) を参照してください。

名前を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した1文字を入力最終桁から取り消します。

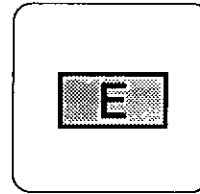
消去 を押すと、入力した名前全部を取り消します。

名前登録を行わないときは

登録終了 (E) を押すと名前登録をしないで登録されます。その場合、名前表示は ***** となります。

6

登録を終わるときは、登録終了 (E) を押します。



〔電話帳〕 1/3
1キカク 6
2エイギョウ 7
3カイハツ 8*****
4ソウム 9
5ケイリ 10
(登録内容)
0123456789/1111
TV電話2 (2B, 音声優先)

↑ ↓ 登録



電話帳を終わるときは

待機画面に戻るまで 電話帳 を押します。

その他

電話番号や通信モードの登録操作中に 電話帳 を押すと、電話番号や通信モードの登録を行わないで終了します。

通信モード4、5でお好みのモードになっていないときは

通信モードの設定 (78ページ) で、希望するモードに変更してください。

サブアドレスについて

INSネット64では1回線に最大で8台の電話などの機器を接続できます。しかし、ただ接続をするだけでは、電話がかかってきたとき、すべての機器が着信してしまいます。

そこで、一つの回線上に複数の電話などの機器を接続するとき、特定の機器だけに着信させるために、サブアドレスを使うことができます。

■アドレス

電話回線の番号をアドレスと呼びます。通常は一つの電話回線につき一つの番号を持ちます。



- ダイヤルインサービスに加入している場合は、一つの電話回線に複数の番号を持つことができます。

■サブアドレス

あらかじめ、電話などの機器に設定しておく枝番号をサブアドレスと呼びます。

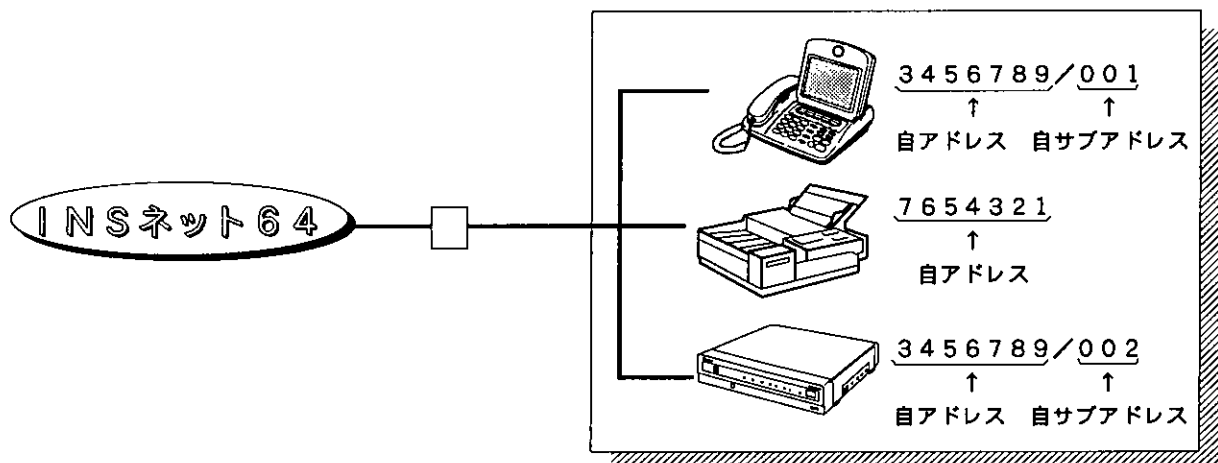
枝番号の内容は、INSネット64を契約をしている人が19桁以内で自由に決めることができます。通信相手は、電話番号（アドレス）とともにこのサブアドレスをダイヤルすれば、特定の機器だけに着信させることができます。

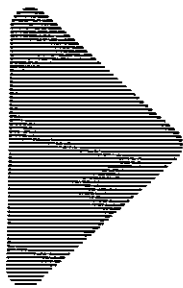


- サブアドレスは、電話をかける方、受ける方ともにINSネット64に加入している場合だけ有効です。
- 構内交換機（PBX）に接続されているときは、サブアドレスを使えないことがあります。

■自アドレス／自サブアドレス

自分の電話などの機器に設定しておくアドレス／サブアドレスのことです。サブアドレスについては、電話をかける方と電話を受ける方とで、事前に使用する番号を決めておく必要があります。





海外の相手と通信する方へ

■ 2つのダイヤル入力

相手呼び出すとき、相手（北米の一部、カナダの一部など）によっては2つの電話番号を必要とすることがあります。そのときは次のように電話番号を入力してください。
いずれの場合においても、電話番号と「/」を合わせて44桁まで入力できます。



① 2つの電話番号をすべて入力する方法

それぞれの電話番号の間に、**サブアドレス**を押して「/」を入力します。たとえば、

1つ目：001-1-123-456-7890（サブアドレス）0012

2つ目：001-1-123-789-0123（サブアドレス）0034

のとき、

00111234567890/0012/00111237890123/0034

と入力します。

② 2つ目の電話番号を差分の形で入力する方法

アドレス、サブアドレスそれぞれの異なる部分以降の番号を入力します。たとえば、

1つ目：001-1-123-456-7890（サブアドレス）0012

2つ目：001-1-123-789-0123（サブアドレス）0034

のとき、

00111234567890/0012/7890123/34

（アドレス差分）（サブアドレス差分）

と入力します。

③ 相手の電話番号に、サブアドレスが無い場合

2つの電話番号の間に、**サブアドレス**を2回押して「//」を入力します。たとえば、

1つ目：001-1-123-456-7890（サブアドレス無し）

2つ目：001-1-123-789-0123（サブアドレス無し）

のとき、

00111234567890//00111237890123

と入力します。

■関連する操作

操 作 の 内 容	ページ
電話帳に登録するとき..... 電話帳登録	34
電話をかけるとき..... TV電話でかける	42
自動で相手呼び出すとき..... センサ発信	55
発信者番号を通知しないでダイヤルするとき・発信者番号通知なしダイヤル	76

入力文字について

電話帳の名前や多地点グループ名に、相手の氏名、部署、会社名などの情報を入力するとき参考にしてください。

■ 入力モードの切り替えかたと入力方法

リモコンの **カナ／英／数** を押して入力モードを選択します。カナ、英文字モードのときは、文字を選択後、**文字確定** を押します。

カナモード

ダイヤル番号を押すごとに、以下の文字を選択できます。

	1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
ダ	2	カ	キ	ク	ケ	コ					
イ	3	サ	シ	ス	セ	ソ					
ヤ	4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
ル	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
ボ	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
タ	7	マ	ミ	ム	メ	モ					
ン	8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
	9	ラ	リ	ル	レ	ロ					
	0	ワ	ヲ	ン	ッ	ー	空				
	*	°									
	#	ゝ									

例 「バ」を入力するときは、**[6]** (ハ)、**[#]** (°) を押してから、**文字確定** を押します。

英モード

ダイヤル番号を押すごとに、以下の文字を選択できます。

	1	Q	Z								
ダ	2	A	B	C							
イ	3	D	E	F							
ヤ	4	G	H	I							
ル	5	J	K	L							
ボ	6	M	N	O							
タ	7	P	R	S							
ン	8	T	U	V							
	9	W	X	Y							
	0	[	]	-	:	,	.	/	空		

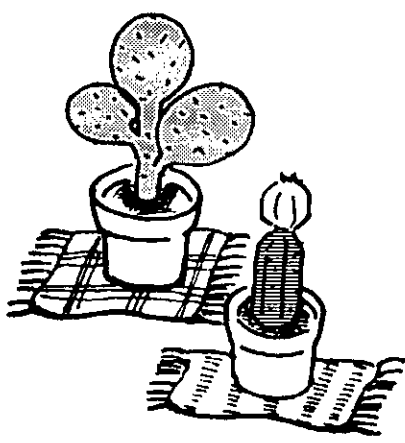
数モード

ダイヤルボタンを入力するだけで確定されます。

2

ご使用の前に

入力文字について





3

基本的使用方

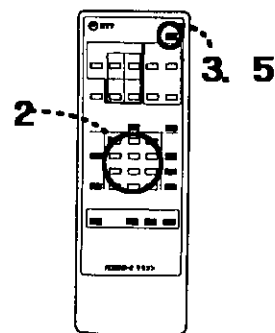
●第 3 章●

基本的な使い方

電話をかけるとき.....	TV電話でかける ..	42
	音声電話でかける ..	44
ワンタッチで電話をかけるとき.....	ワンタッチダイヤル ..	46
最後にダイヤルした相手を再度呼び出すとき.....	再ダイヤル ..	47
電話を受けるとき.....	普通に受ける ..	48
自分の画像を送らないでTV電話を受けるとき.....	自動送信ミュート ..	49
通話中に相手に待っていただくとき.....	保留 ..	50

電話をかけるとき

TV電話でかける

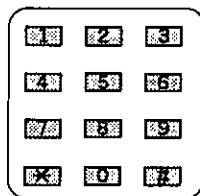


1

待機画面（日付と時刻を表示）
になっていることを確認します。

2

電話番号をダイヤルします。



3

通信 を押します。



3

基本的な使い方

電話をかけるとき

6月19日（月） AM10:30

【ダイヤル】
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

TV電話1（2B, 画像優先）

【発信】
0123456789/1234

TV電話1（2B, 画像優先）

自分画像

電話をかけるのに2つの電話番号が必要なときは

2つのダイヤル入力（37ページ）
を参照して入力してください。

TV電話の通信モードは

通信モードの設定（78ページ）で
設定された通信モードになります。

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。
消去 を押すと、入力した電話番号
全部を取り消します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブ
アドレス番号を入力します。「/」は
アドレスとサブアドレスの区切りを
示します。サブアドレスについては
36ページを参照してください。

自分の画像が、子画面に表示されます。

通話開始時の通話時間の表示を
消す／出すときは

通話時間表示設定（74ページ）を参
照してください。

相手の画像が表示されたとき、
自動で自分画像を消去するには

PinP表示設定（70ページ）を参
照してください。

ワンポイント

回線がつながった直後、プツプツとい
う音がします。これは通信開始時の音
声デジタル処理によるもので異常で
はありません。



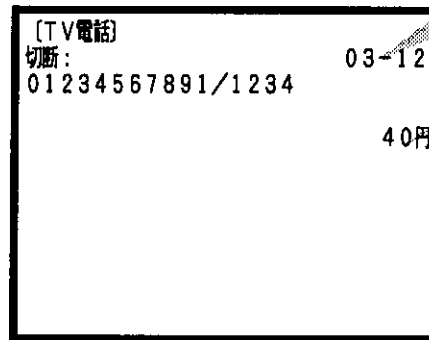
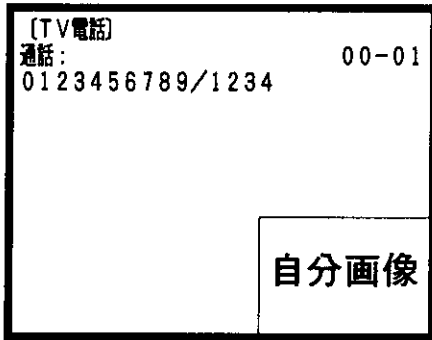
4

相手が出たらお話しします。
(相手画像は数秒後に表示されます。)

5

お話しが終わったら、**通信** を
押します。

通信



通話時間 3分12秒

料金 40円 を扱します。

3 基本的な使い方

電話をかけるとき

相手画像がなかなか表示されないときは

通信モードの設定で画像送信速度が遅いモードの設定になっています。

例えば

TV電話4 (任意)	
使用チャンネル:	1 B
音声:	PCM
画像:	画質重視

の場合は、相手画像が表示されるまで数十秒かかる場合があります。
通信モードの変更(64ページ)で、使用チャンネルを2 Bに変更すると画像表示が速くなります。

通話時間の表示を消す/出すときは

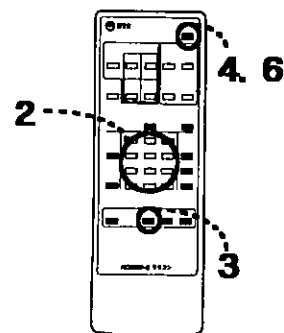
通話中に **消去** を押してください。
相手先の電話番号も同時に消したり出したりします。

通話時間は3分12秒、通話料金は40円でした。

15秒するか **消去** を押すと待機画面に戻ります。

電話をかけるとき

音声電話でかける

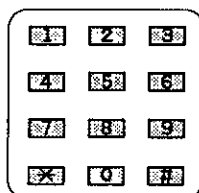


1

待機画面（日付と時刻を表示）
になっていることを確認します。

2

電話番号をダイヤルします。



3

音声 を押します。



3

基本的な使い方

電話をかけるとき

6月19日 (月) AM10:30

[ダイヤル]
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

[ダイヤル]
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

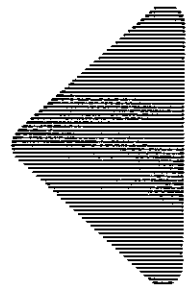
音声電話

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。
消去 を押すと、入力した電話番号全
部を取り消します。

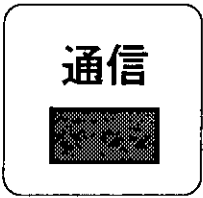
サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブア
ドレス番号を入力します。「/」はア
ドレスとサブアドレスの区切りを示し
ます。サブアドレスについては36ペ
ージを参照してください。



4

通信 を押します。

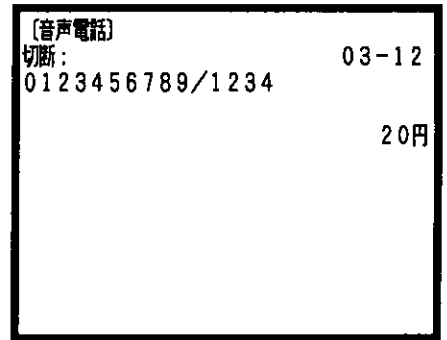
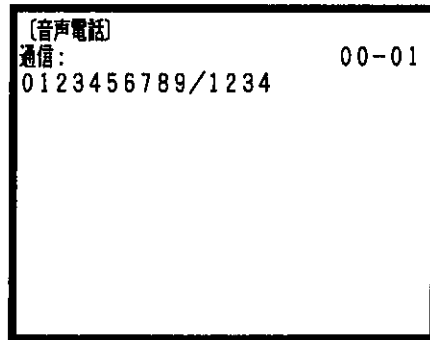
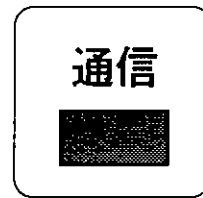


5

相手が出たらお話しします。

6

お話しが終わったら、**通信** を押します。



3 基本的な使い方

電話をかけるとき

通話開始時の通話時間の表示を
消す／出すときは

通話時間表示設定（74ページ）を
参照してください。

通話時間の表示を消す／出す
ときは

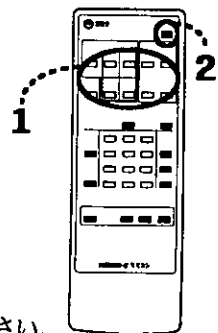
通話中に **消去** を押してください。
相手先の電話番号は消えません。

通話時間は3分12秒、通話料金は
20円でした。
15秒するか **消去** を押すと、待機
画面に戻ります。

ワンタッチで電話を かけるとき

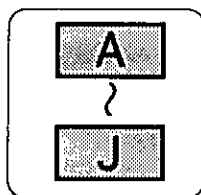
ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルを使うときは、電話帳1～10に相手の電話番号を登録してください。



1

ワンタッチダイヤルボタンの
(A)～(J)を押します。



ワンタッチ A～Jは、電話帳の登録内
容1～10に対応します。

2

通信を押します。



3

相手が出たらお話しします。

3

基本的な使い方

ワンタッチで電話をかけるとき

[ワンタッチダイヤル: A 確認]

A. 名前
キカク
B. 電話番号
0123456789/1234
C. 通信モード TV電話3 (1B)
使用チャネル: 1B
音声 : ADPCM
画像 : 動き重視

[発信]

0123456789/1234

TV電話3 (1B)

自分画像

[TV電話]

通話: 00-01
0123456789/1234

自分画像

ワンタッチダイヤルの内容の確認
を終わるときは

消去を押します。

電話番号を変更して発信するときは

ダイヤルを入力すると、番号を後ろ
に追加できます。

訂正を押すと、番号1桁を入力最終
桁から取り消します。

通信モードを変更したいときは

音声電話をかけるときは、**音声**を押
します。TV電話をかけるときは、
画像を押します。TV電話の通信モ
ードは、通信モードの設定 (78ペ
ージ) を参照してください。

ほかの **ワンタッチ** (A)～(J)
を押すと、**音声**や**画像**を押した
ことは 無効になります。

通話時間の表示を消す/出す
ときは

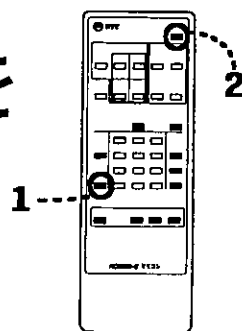
通話中に **消去**を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番号
も同時に消したり出したりします。

相手の画像が表示されたとき、
自動で自分画像を消去するには

PinP表示設定 (70ページ) を参
照してください。

最後にダイヤルした相手を 再度呼び出すとき

再ダイヤル



1

再ダイヤル を押します。

再ダイヤル



2

発信 を押します。

発信



3

相手が出たらお話しします。

〔再ダイヤル確認〕

- A. 電話番号
0123456789/1234
- B. 通信モード TV電話5 (任意2)
使用チャネル: 2B
音声 : ADPCM
画像 : 動き重視
データ : OFF

〔発信〕

0123456789/1234

TV電話5 (任意2)

自分画像

〔TV電話〕

通話: 00-01
0123456789/1234

自分画像

3

基本的な使い方

最後にダイヤルした相手を再度呼び出すとき

電話番号を変更したいときは

ダイヤルを入力すると、番号を後ろに追加できます。

訂正 を押すと、番号1桁を入力最終桁から取り消します。

通信モードを変更したいときは

- 音声電話をかけるときは、**音声** を押します。
- TV電話をかけるときは、**画像** を押します。TV電話の通信モードは、通信モードの設定 (78ページ) で設定されたモードになります。
- もう一度 **再ダイヤル** を押すと音声や画像ボタンを押したことは無効になり、元の通信モードに戻ります。

再ダイヤルの内容を消去するには

消去 を押します。

間違って再ダイヤルの内容を消去したときは

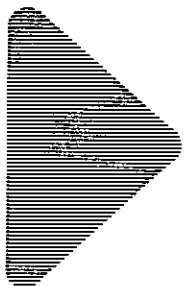
発信記録の第1件目に再ダイヤルの内容が記録されています。発信記録 (80ページ) を使って電話をかけてください。

通話時間の表示を消す/出すときは

通話中に **消去** を押してください。TV電話のときは、相手先の電話番号も同時に消したり出したりします。

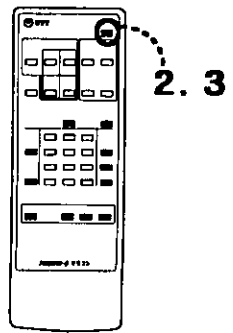
相手の画像が表示されたとき、自動で自分画像を消去するには

PinP表示設定 (70ページ) を参照してください。



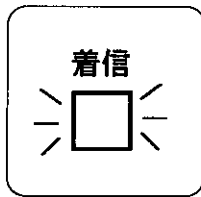
電話を受けるとき

普通に受ける

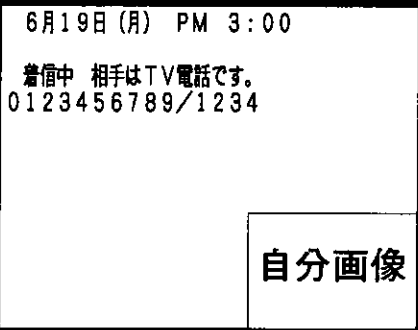


1

呼出音（メロディ）が鳴り、着信ランプが点滅します。

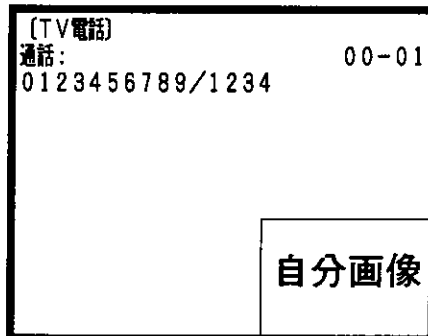


子画面が出ます。（自分の画像が映ります。）



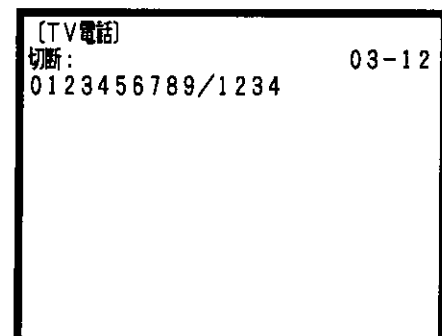
2

通信 を押します。相手とつながったらお話しします。



3

お話しを終わるときは、**通信** を押します。



3

基本的な使い方

電話を受けるとき

相手の電話番号は表示されないこともあります。着信音量切替スイッチが切のときは呼出音は鳴りません。

相手が音声電話のときは

呼出音はリングが鳴ります。画面には「相手は音声電話です」と出ます。

	呼出音	着信ランプ
音声電話	リング音	赤点滅
TV電話	メロディ音	緑点滅

自分の画像を送らずに電話を受けるときは

画像 を押してから **通信** を押します。画像ランプが点滅します。

相手の画像が映らないときは

音声のみの電話か、または相手から画像が送られていません。相手に確認してください。

相手画像がなかなか表示されないときは

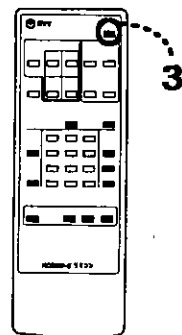
相手に確認してください。
通信モードの変更（64ページ）は、電話をかけてきた相手側で行います。

送られていなかった自分の画像を送るときは

画像 を押します。画像ランプが点灯し、相手に自分の画像が送られます。

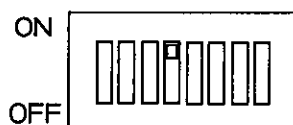
自分の画像を送らないで TV電話を受けるとき

自動送信ミュート



1

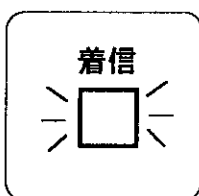
ディップスイッチ（底面）の自動送信ミュートをONに設定します。



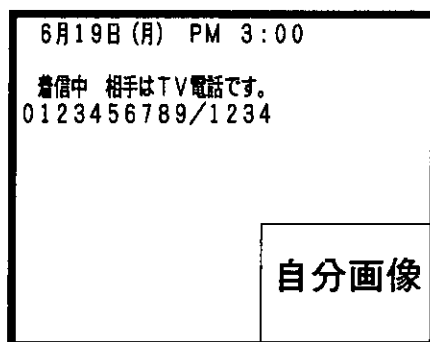
自動送信ミュート

2

呼出音（メロディ）が鳴り、着信ランプが点滅します。

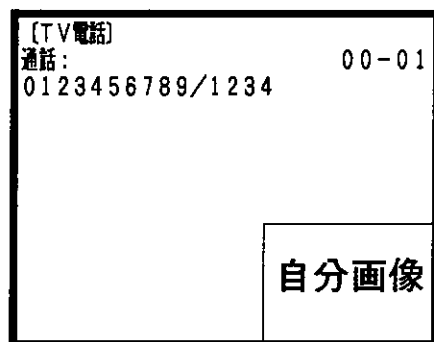


本体の画像ランプが点滅します。



3

通信 を押します。相手が出たらお話しします。



3 基本的な使い方

自分の画像を送らないでTV電話を受けるとき

6月19日(月) PM 3:00

[自動送信ミュート]

待機画面に「自動送信ミュート」と表示されます。

着信音量切替スイッチが切のときは呼出音は鳴りません。

送信ミュート設定中は

送信ミュート設定中は、自分の子画面に自分の画像が表示されていますが、相手に対しては画像を送りません。画像ランプが点滅しています。

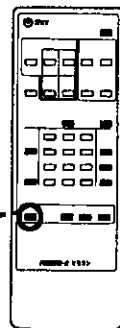
途中で画像の送信を始めるときは

画像 を押します。画像ランプが点滅から点灯にかわります。

通話中に相手に待って いただくとき

保留

3



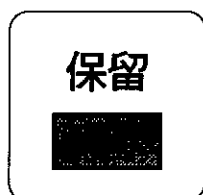
1

通話中に **保留** を押します。



2

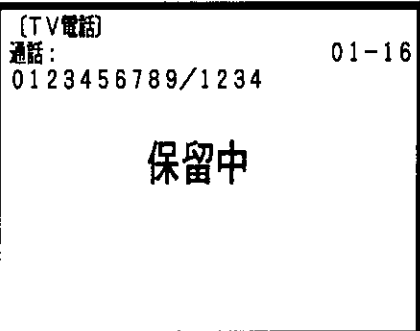
再び話すときは、**保留** を押し
ます。



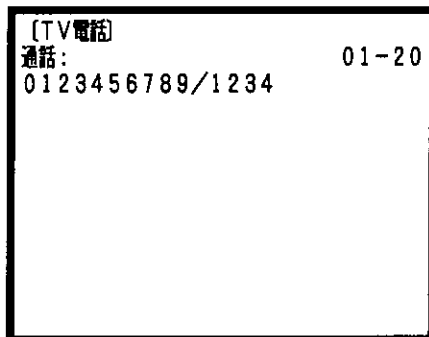
3

基本的な使い方

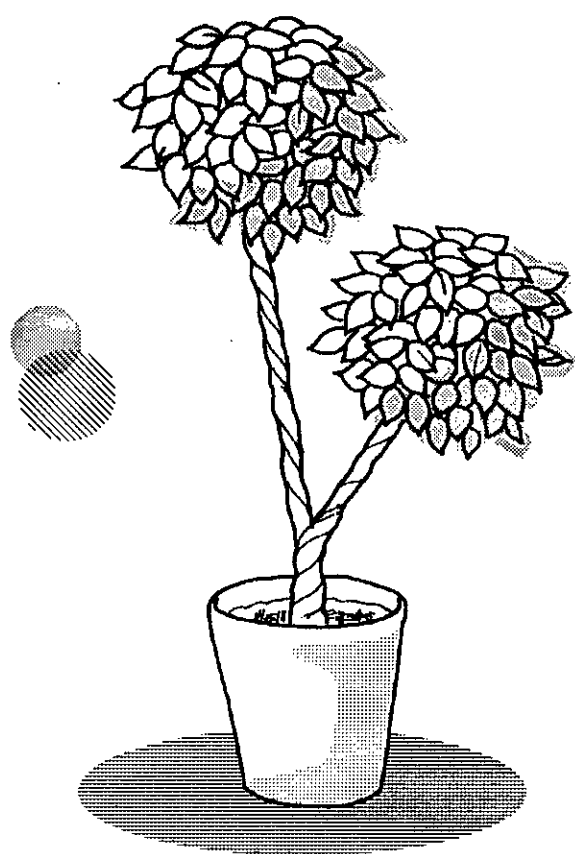
通話中に相手に待っていただくとき



保留ランプが点滅し、メロディが聞こえます。
相手にもメロディが聞こえます。
相手のテレビ電話では、画像が止まったままになります。



保留ランプが点滅から消灯にかわります。





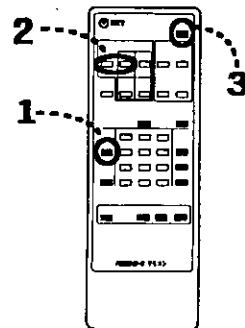
●第 4 章●

便利な使い方

(発信)	電話帳から選んで電話をかけるとき	電話帳ダイヤル	54
	自動で相手を呼び出すとき	センサ発信	55
(着信)	電話帳に登録した相手からの着信を呼出音で聞き分けるとき	識別着信	56
	電話帳に登録していない相手からの着信を受けたくないとき	着信拒否	57
(通話)	相手に自分の声を聞かせないようにするとき	音声ミュート	58
	相手に自分の画像を送らないようにするとき	画像ミュート	59
	自分の画像と相手の画像を入れ替えるとき	自／相手	60
	P i n P (子画面) を消去するとき	P i n P	61
	高精細静止画を相手に送るとき	静／動	62
	自分の画像を左右反対に見るとき	鏡／正	63
	通話中に通信条件を変えるとき	通信モードの変更	64
	通話中に P B ダイヤル音を送出するとき	P B ダイヤル送出	66
	相手から送られてくる画像の画質を変えるとき	リモート画質変更	67
	相手から送られてくる画像を静止画にするとき	リモート高精細受信	68
(設定)	相手に送る画像の画質を変えるとき	画質変更	69
	通信開始時の P i n P (子画面) 表示を自動で消去するとき	P i n P 表示設定	70
	メモリの内容をすべて消去するとき	全消去	71
	着信音や保留音の音色を確認するとき	モニタ	72
	着信音や保留音の音色を変更するとき	着信音、保留音	73
	画面に通話中の経過時間を表示するとき	通話時間表示設定	74
	自動的に着信させるとき	T V 電話自動着信	75
	発信者番号を通知しないでダイヤルするとき	発信者番号通知なしダイヤル	76
	通信条件を設定するとき	通信モードの設定	78
(確認)	最近かけた電話の記録を確認するとき	発信記録	80
	最近かかってきた電話の記録を確認するとき	着信記録	81
	累積料金を確認するとき	累積料金	82
(データ)	T V 電話中にデータを送受信するには	データ通信	83
(監視)	本装置を監視目的に利用する方へ	監視	84

電話帳から選んで 電話をかけるとき

電話帳ダイヤル



1

電話帳 を押します。

電話帳

電話帳

電話帳

1 / 3 ページ
(1 ~ 10)

2 / 3 ページ
(11 ~ 20)

3 / 3 ページ
(21 ~ 30)

【電話帳】		1/3
1 キカク	6	
2 エイギョウ	7	
3 カイハツ	8	*****
4 ソウム	9	
5	10	
【登録内容】		
0123456789/1234		
TV電話1 (2B, 画像優先)		
↓	↑	登録

A B C D E

電話帳の構成は

電話帳 を押すたびに、10 あて先
ごとの電話帳を表示します。

3 ページあり、30 あて先分の電話
帳になっています。

待機画面に戻るとき

待機画面に戻るまで **電話帳** を押し
ます。

2

↓ (A) または ↑ (B) を押
して、電話をかけたい番号に、
カーソルを合わせます。

A

または

B

【電話帳】		1/3
1 キカク	6	
2 エイギョウ	7	
3 カイハツ	8	*****
4 ソウム	9	
5	10	
【登録内容】		
0987654321/1234		
TV電話1 (2B, 画像優先)		
↓	↑	登録

A B C D E

通信モードを変更したいときは

音声電話をかけるときは、**音声** を
押します。

TV電話をかけるときは、**画像** を
押します。TV電話の通信モードは、
通信モードの設定 (78 ページ) で
設定されたモードになります。

3

通信 を押します。相手が出た
らお話しします。

通信

【発信】	
エイギョウ	
0987654321/1234	
TV電話1 (2B, 画像優先)	
自分画像	

通話時間の表示を消す/出す ときは

通話中に **消去** を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番
号も同時に消したり出したりします。

相手の画像が表示されたとき、 自動で自分画像を消去するには

PinP表示設定 (70 ページ) を参
照してください。

4
便利な使い方

電話帳から選んで電話をかけるとき

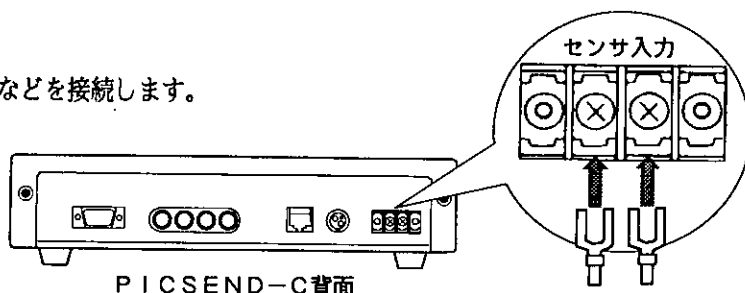
自動で相手を呼び出すとき

センサ発信

センサ入力接続端子がショート（短絡）状態になったとき、電話帳1番の相手に自動でダイヤルする機能です。センサなどの機器を接続して使います。

準備

1. センサなどを接続します。



アクリル板をはずし、中央の2つの端子に接続します。そのあと、アクリル板を元のとおりに取り付けます。

注意

- 指定以外のねじには触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 接続のときは、安全のため電源プラグを抜いてください。

2. 相手の電話番号を電話帳の1番に登録します。（電話帳登録 34ページ）
3. 待機画面（日付と時刻表示）になっていることを確認します。
（電話帳の登録画面など、ほかの画面になっていると、センサ発信はしません。）

センサ発信

センサ入力接続端子が以下の状態になったとき、電話帳1番の相手に発信します。

○ N：センサ入力接続端子がショート（短絡）状態

○ OFF：センサ入力接続端子が開放状態

機器のタイプ	発信のタイミング	備考
ワンショットタイプの場合		通信中にセンサ入力接続端子がONになっても無視されます。
スイッチタイプの場合		通信が終わって次の発信を行うには、一旦センサ入力接続端子をOFFにする必要があります。

センサ発信のリトライ

センサ発信を行ったが相手につながらなかったときは、1分間隔で自動的にリトライ発信します。

センサ発信のリトライを中止するときは

センサ解除 (E) を押してください。

STOP お願い

- センサ発信のリトライ中に、着信に応答したときはセンサ発信のリトライを中止します。

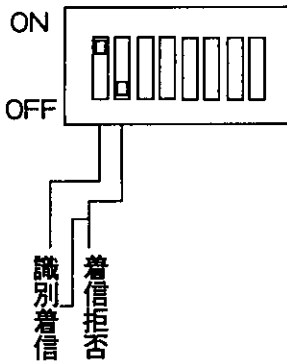
電話帳に登録した相手からの着信を 呼出音で聞き分けるとき

識別着信

自分の電話帳に登録してある人かどうかで、かかってきた電話の呼出音を変える機能です。
呼出音で相手を聞き分けることができます。

識別着信を使うときは

底面のディップスイッチの識別着信をON、着信拒否をOFFにします。
ディップスイッチの設定は21ページを参照してください。



識別着信を設定すると、待機画面に
〔識別着信：音色〕を表示します。

6月19日(月) PM 3:00

〔識別着信：音色〕

呼出音の違いは

		呼出音の鳴り方
TV電話	普通の呼出音	♪♪♪ (メロディ)
	識別着信での呼出音	ルルルル ルル ルル ルルルル ルル ルル の繰り返し
音声電話	普通の呼出音	ルルルル ルルルル の繰り返し
	識別着信での呼出音	ルルルル ルル ルル ルルルル ルル ルル の繰り返し

かけてきた相手の電話番号と、電話帳に登録してある電話番号の照合のしかた

かけてきた相手の電話番号（アドレス／サブアドレス）と、電話帳に登録してある電話番号を照合し、一致とみなしたときだけ、識別着信音での呼出音となります。

- アドレスは、電話番号の後ろから比較して、番号が同じとき一致とします。
ただし、かけてきた相手の電話番号の方が長いときは一致としません。
- サブアドレスは、電話番号が完全に同じとき一致とします。

かけてきた相手の電話番号 (アドレス／サブアドレス)	電話帳に登録してある電話番号 (アドレス／サブアドレス)	呼出音
01234567/123	01234567/123 (完全一致)	識別着信音
	01234567 (アドレス一致)	識別着信音
	4567 (相手の方が長く、不一致)	普通の呼出音
	01234567/12 (不一致)	普通の呼出音
	/123 (サブアドレス一致)	識別着信音
	/12 (不一致)	普通の呼出音

アナログ網からかけてきた電話や、相手の電話が発信者番号の通知をしないように設定しているときは、普通の呼出音になります。

(発信者番号通知なしダイヤル 76ページ)

4

便利な使い方

電話帳に登録した相手からの着信を呼出音で聞き分けるとき

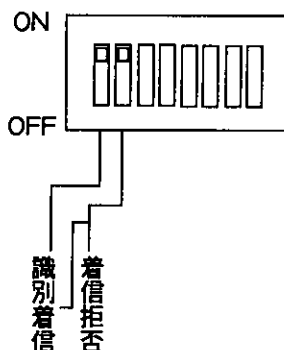
電話帳に登録していない相手からの着信を受けたくないとき

着信拒否

自分の電話帳に登録してある人から電話がかかってきたときだけ、呼出音を鳴らします。
電話帳に登録していない相手からの電話は、呼出音を鳴らしません。画面への着信表示もしません。

着信拒否を使うときは

底面のディップスイッチの識別着信、着信拒否ともにONにします。
ディップスイッチの設定は21ページを参照してください。



着信拒否を設定すると、待機画面に
〔識別着信：拒否〕を表示します。

6月19日(月) PM 3:00

〔識別着信：拒否〕

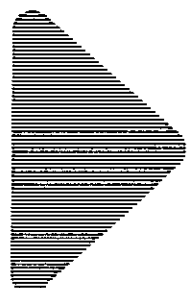
かけてきた相手の電話番号と、電話帳に登録してある電話番号の照合のしかた

かけてきた相手の電話番号（アドレス／サブアドレス）と、電話帳に登録してある電話番号を照合し、一致とみなしたときだけ呼出音が鳴ります。

- アドレスは、電話番号の後ろから比較して、番号が同じとき一致とします。
ただし、かけてきた相手の電話番号の方が長いときは一致としません。
- サブアドレスは、電話番号が完全に同じとき一致とします。
- 多地点テレビ会議のときは、アドレスだけ比較します。サブアドレスの比較はしません。

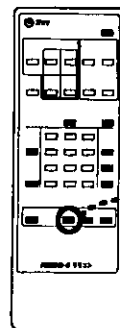
かけてきた相手の電話番号 (アドレス/サブアドレス)	電話帳に登録してある電話番号 (アドレス/サブアドレス)	動作
01234567/123	01234567/123 (完全一致)	呼出音が鳴る
	01234567/ (アドレス一致)	呼出音が鳴る
	4567 (相手の方が長く、不一致)	着信しない
	01234567/12 (不一致)	着信しない
	/123 (サブアドレス一致)	呼出音が鳴る
	/12 (不一致)	着信しない

アナログ網からかけてきた電話や、相手の電話が発信者番号の通知をしないように設定しているときは、呼出音を鳴らしません。画面への着信表示もしません。
(発信者番号通知なしダイヤル 76ページ)



相手に自分の声を聞かせないようにするとき

音声ミュート



1. 2

1

通話中に **音声** を押します。

音声



本体の音声ランプが赤色で点滅します。

2

戻すときは、再度、**音声** を押します。

音声



ランプが点灯します。

相手画像

自分画像

相手画像

自分画像

4
便利な使い方

相手には、こちらの音声が入切りの状態で、画像のみ送られています。

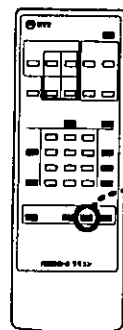
通話中に音声ランプが消灯しているときは

音声 ボタンを押しても、無効になります。

相手に自分の声を聞かせないようにするとき

相手に自分の画像を送らないようにするとき

画像ミュート



1

TV電話通信中に **画像** を押します。

画像



本体の画像ランプが赤色で点滅します。

相手画像

自分画像

2

戻すときは、再度、**画像** を押します。

画像



ランプが点灯します。

相手画像

自分画像

相手には、こちらの画面画像は送られず、音声のみ送られています。

相手端末の画面

ブルーの画像

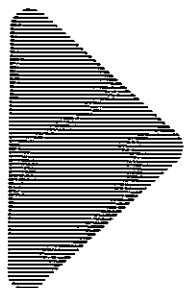
通話中に画像ランプが消灯しているときは

画像 ボタンを押しても、無効になります。通信モードの変更（64ページ）で、画像を動き重視か画質重視に変更してください。

相手の画面は元に戻り、こちらの画像が表示されます。

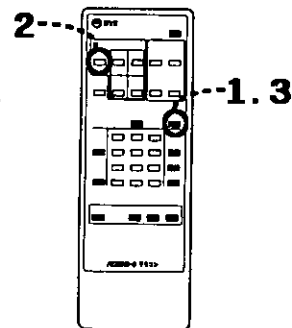
4
便利な使い方

相手に自分の画像を送らないようにするとき



自分の画像と相手の画像を 入れ替えるとき

自／相手



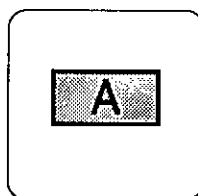
1

TV電話通信中に **機能** を押し
ます。



2

自／相手 (A) を押します。

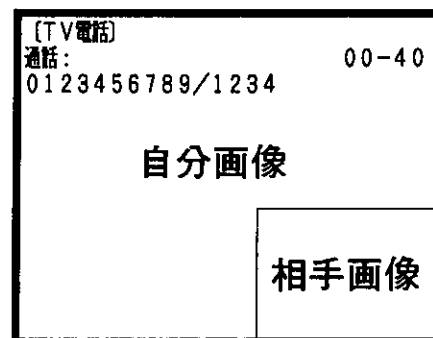
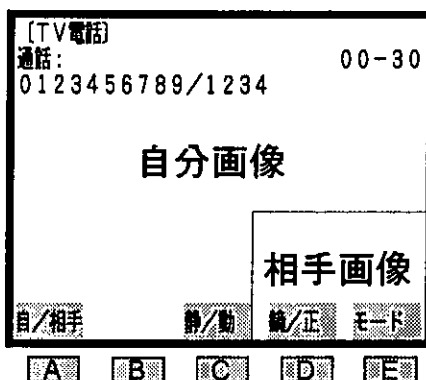
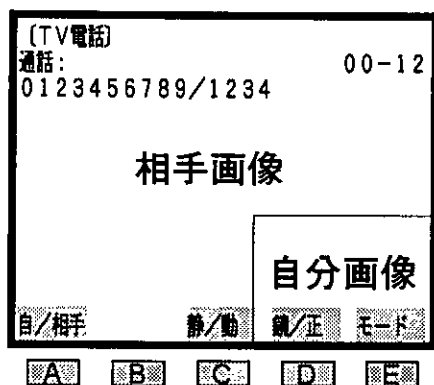


3

機能 を押します。



機能名称が消えます。

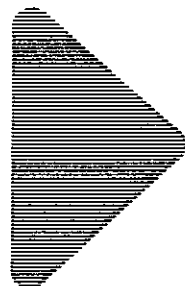


4
便利な使い方

自分の画像と相手の画像を入れ替えるとき

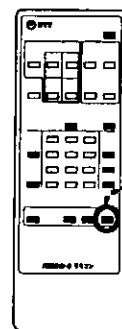
元に戻すときは

もう一度 **自／相手** (A) を押します。



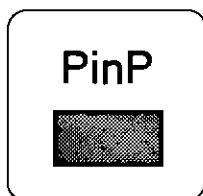
PinP (子画面) を 消去するとき

PinP



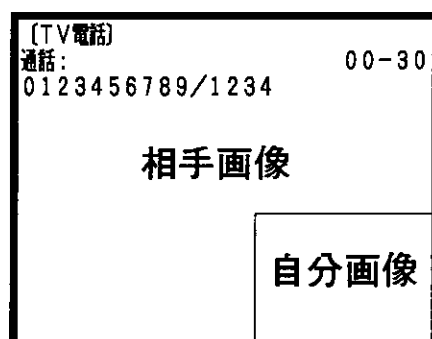
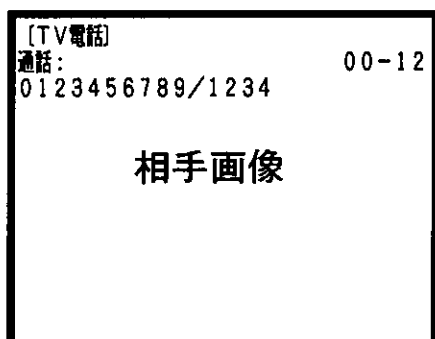
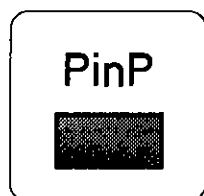
1

TV電話通信中に **PinP** を押します。



2

元に戻すときは、**PinP** を押します。



相手の画像が表示されたとき、
自動で自分画像を消去するには

PinP表示設定 (70ページ) を参照してください。

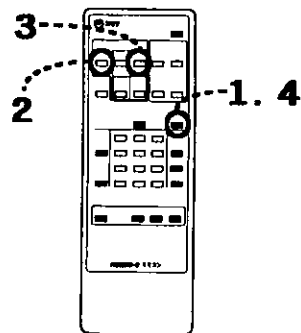
4
便利な使い方

PinP (子画面) を消去するとき

高精細静止画を相手に送るとき

静／動

高精細静止画は、相手の電話がPICSEND-CまたはPICSEND-Rのとき、送ることができます。



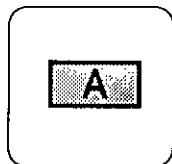
1

TV電話通信中に**機能**を押します。



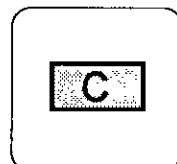
2

親画面に自分画像を映すには、**自／相手** (A)を押します。

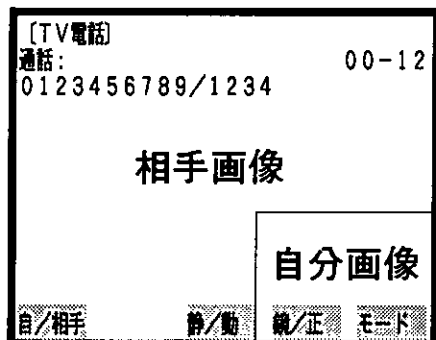


3

静／動 (C)を押します。

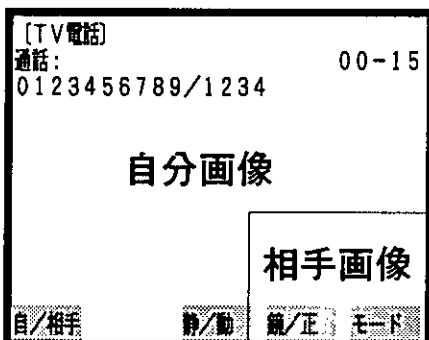


高精細の静止画を相手に送信します。(2・3秒かかります)

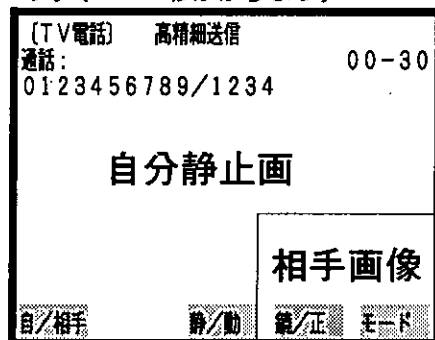


A B C D E

親画面に自分画像を映すと見やすくなります。



A B C D E



A B C D E

4

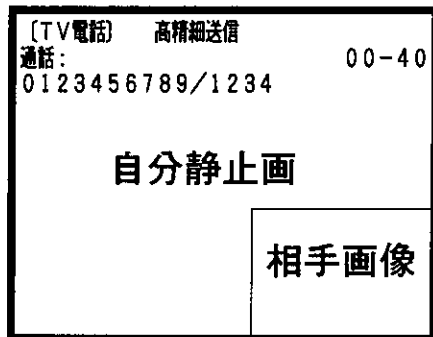
便利な使い方
高精細静止画を相手に送るとき

4

機能を押します。



機能名称が消えます。



- 通信モードによっては、高精細静止画の送信に時間がかかることがあります。
- 高精細静止画を送信すると、全面に自分静止画が表示されます。
- 子画面表示をしていた場合、高精細静止画を送信している数秒の間は、子画面は消去されます。送信終了後、再び相手画像の子画面が表示されます。

動画に戻すときは

もう一度、**静／動** (C)を押します。

受信側では高精細静止画を受信すると

自動的に今まで見ていた画面を高精細静止画の受信に切り替えて、順次画面の上方より受信した静止画を表示します。元の動画に戻すときは、**静／動** (C)を押します。

高精細静止画を送受信中は

次の静止画を送ることはできません。

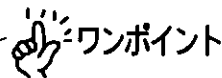
高精細静止画を送れないときは

通常の静止画送信になります。

元の動画送信に戻すときは、**静／動** (C)を押します。

再度静止画を送信するときは

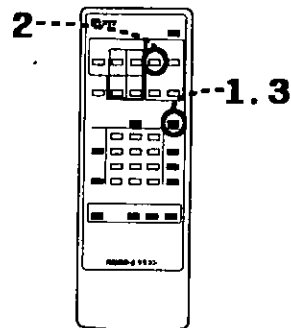
一度、**静／動** (C)を押して、元の画面に戻してから、再度、送信操作をしてください。



子画面に受信動画を表示させるには、高精細静止画を表示しているときに、**自／相手** (A)を押します。

自分の画像を 左右反対に見るとき

鏡／正



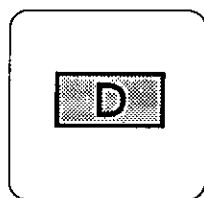
1

TV電話通信中に **機能** を押します。



2

鏡／正 (D) を押します。

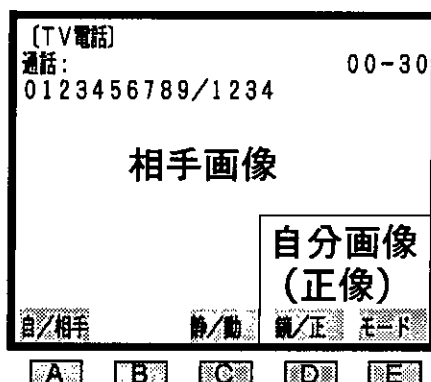
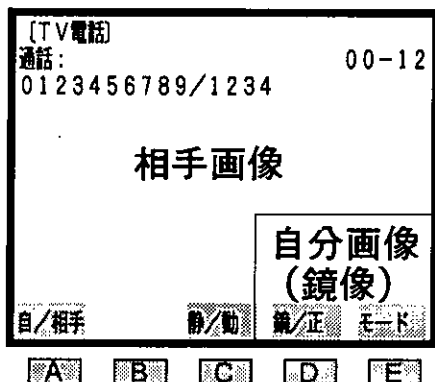


3

機能 を押します。



機能名称が消えます。



「鏡像」と「正像」について

- 鏡に映った自分の映像：「鏡像」と、写真に撮った自分の映像：「正像」は、左右が反対になります。
- 相手が見る自分は「正像」が自然なので、相手動画は「正像」です。
- 一方、自画像を自分で見る場合は、「鏡像」のほうが見なれており、自然な感じに見えるので、自画像は「鏡像」にしています。
- この機能は、自画面についてのみの機能で、相手に送信している画像は「正像」のまま変わりません。

元の「鏡像」に戻すときは

もう一度、**鏡／正** (D) を押します。

そのほか

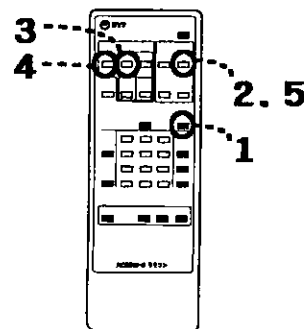
自分画像がモニタに表示されていないときでも、**鏡／正** (D) は、有効になっています。

4
便利な使い方

自分の画像を左右反対に見るとき

通話中に 通信条件を変えるとき

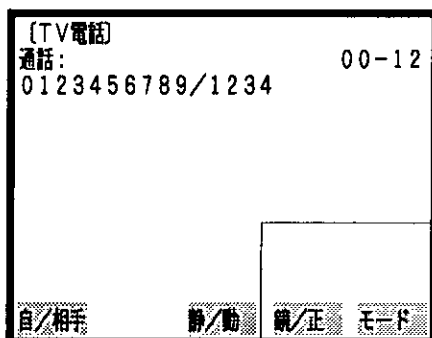
通信モードの変更



1

TV電話通信中に **機能** を押します。

機能

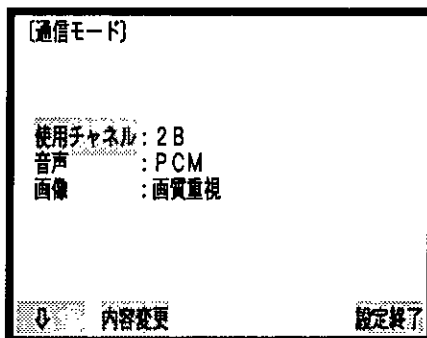


A B C D E

2

モード (E) を押します。

E



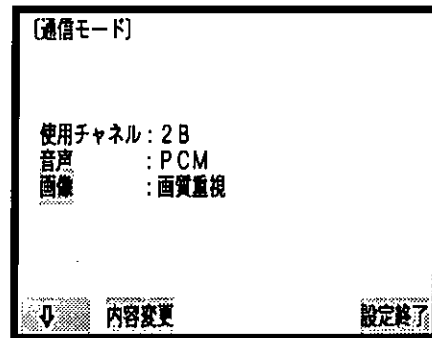
A B C D E

現在、相手に送っている通信モードを表示します。

3

↓ (A) を押して、内容を変更したい項目にカーソルを合わせます。

A



A B C D E

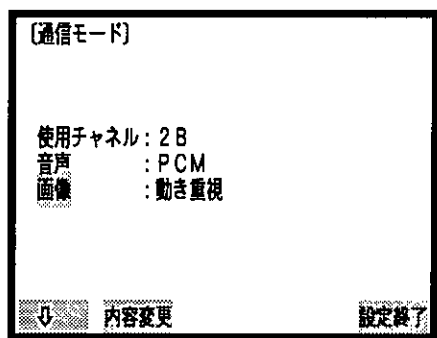
4
便利な使い方

通話中に通信条件を変えるとき

4

内容変更 (B) を押して変更します。

B



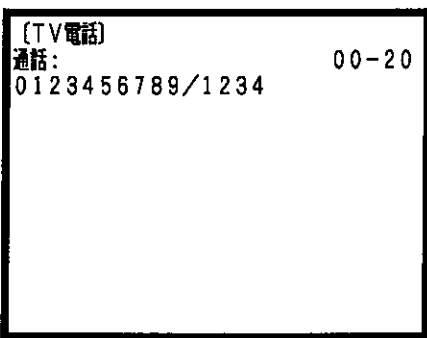
A B C D E

この例は、画像の「画質重視」を、「動き重視」に変更しました。

5

設定終了 (E) を押します。

E



モード変更できないときは

通信モードの選び方や、相手の電話機によっては変更できないことがあります。そのときは、

モード変更できませんでした。
と表示されます。

通信モードの内容について

使用チャネル

1 Bから2 Bへ、または1 B（制限網）から2 B（制限網）への変更ができます。発信側でのみ操作可能です。

1 B、 1 B（制限網）	INSネット64の1チャネルだけを使用するエコノミーモードです。音声PCMのときに、音声と画像の両方を送ると、画像の動きが非常に遅くなります。そのときは、2 B または 2 B（制限網）に変更してください。
2 B、 2 B（制限網）	画像の動きをよくしたいとき、このモードに変更します。

ワンポイント

1 B（制限網）と2 B（制限網）は、海外の相手と通話する場合で次のとき使います。

- ①アメリカの一部、カナダの一部など5 6 k bit/sの回線に接続されている相手と通話するとき
- ②1 Bや2 Bの設定で通話できないとき

音声

音声は、通話中に変更できません。別の設定で通話したいときは、一度電話を切って希望する通信モードに設定してから、電話をかけ直してください。

ADPCM	PICSEND-C独自の高能率符号化方式で音声を送ります。その分画像の動きがよくなります。
PCM	国際標準の方式で送ります。相手の電話機がPICSEND-C、PICSEND-Rのどちらでもないときは、自動的にこのモードになります。
OFF	音声は相手に送られていません。

画像

内容変更 (B) を押すごとに、次のように変更できます。

画質重視	画質の細かさを重視した画像を送ります。
動き重視	動きのなめらかさを重視した画像を送ります。
OFF	画像を送らないときは、このモードにします。

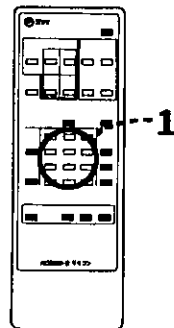
データ

データは、TV電話5で通話を始めた場合で、相手の電話機にも同じデータ機能があるときだけ表示されます。なお、通話中に変更することはできません。別の設定で通話したいときは、一度電話を切って希望する通信モードに設定してから、電話をかけ直してください。

OFF	データ通信は行いません。
3 0 0 bit/s	PICSEND-C本体のデータの転送スピードを表示します。 接続されているデータ端末の設定値と異なると、データ通信できません。
1 2 0 0 bit/s	
4 8 0 0 bit/s	
9 6 0 0 bit/s	

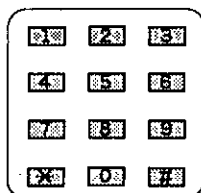
通話中にPBダイヤル音を送出するとき

PBダイヤル送出



1

通話中にダイヤルボタンを押します。



ダイヤルボタンを押している間、PB信号が送出されます。

[TV電話]	
通話:	00-12
0123456789/1234	
PB:123456789	

4 便利な使い方

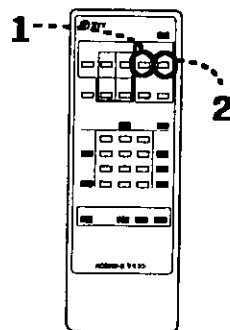
通話中にPBダイヤル音を送出するとき

- **消去** を押すか、約20秒たつと、PBの表示は消えます。
- ワンタッチボタンや、再ダイヤルボタンを押しても、PBダイヤルは出ません。
- **機能** や **電話帳** を押している（画面下部に機能名称が表示されている）ときは、PBダイヤルを送出することはできません。

相手から送られてくる画像 の画質を変えるとき

リモート画質変更

相手の電話がP I C S E N D - C のとき、ご利用になれます。



1

相手画像を動き重視で見たいとき、TV電話中に **動き** を押します。

リモート画質変更

動き

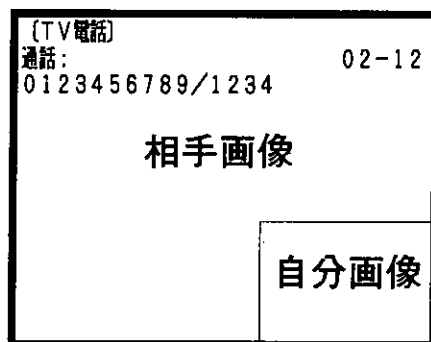
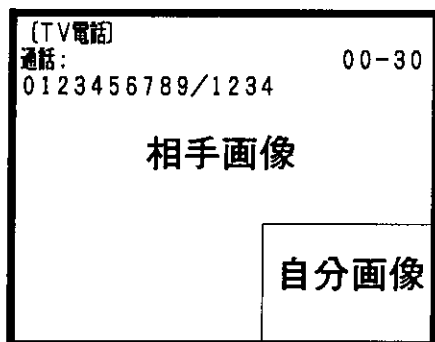


2

相手画像を画質重視で見たいとき、TV電話中に **画質** を押します。

リモート画質変更

画質



STOP お願い

- この機能を使うときは、通信モードの変更（64ページ）で画像のモードを最初に画質重視に設定して電話をかけてください。
なお、「TV電話1」または「TV電話2」で電話をかけると、通信モードの変更が不要のため、便利です。

4

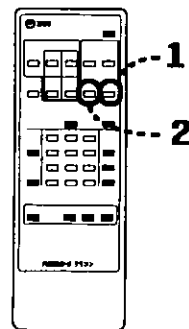
便利な使い方

相手から送られてくる画像の画質を変えるとき

相手から送られてくる画像を 静止画にするとき

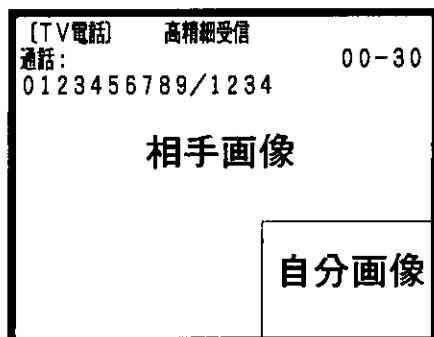
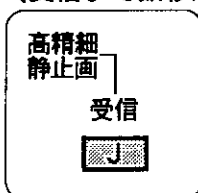
リモート高精細受信

相手の電話がP I C S E N D - C のとき、ご利用になれます。



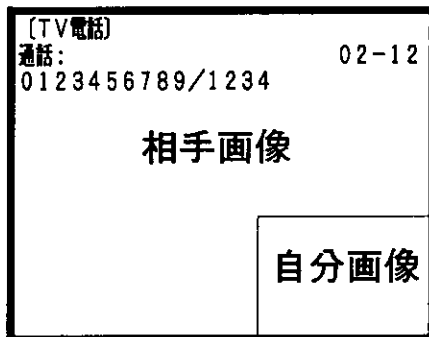
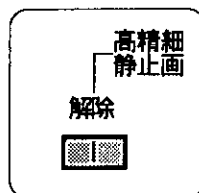
1

相手画像を静止画で見たいとき、
T V 電話通信中に
高精細静止画受信 を押します。
(受信まで数秒かかります)



2

元の動画に戻すときは、
高精細静止画解除 を押します。



4
便利な使い方

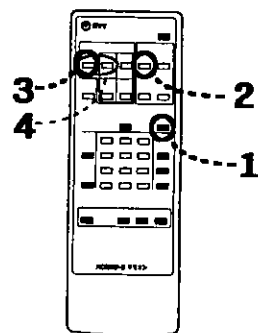
相手から送られてくる画像を静止画にするとき

相手のT V 電話では、自分静止画が表示
されます。
通信モードによっては、静止画の受信に
時間がかかることがあります。

相手のT V 電話では、動画に戻ります。

相手に送る画像の画質を 変えるとき

画質変更



1

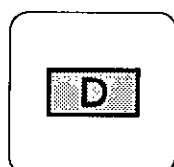
待機画面において、**機能** を
2回押します。



2回

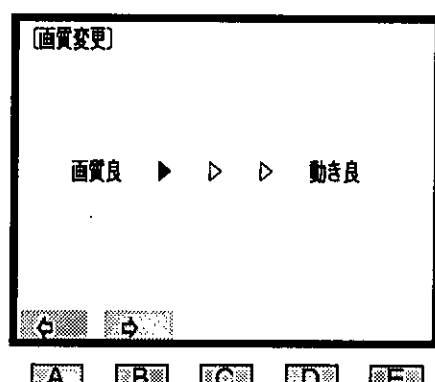
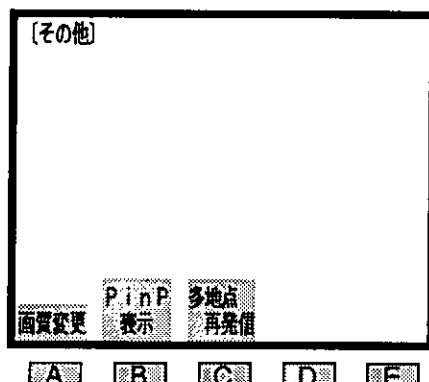
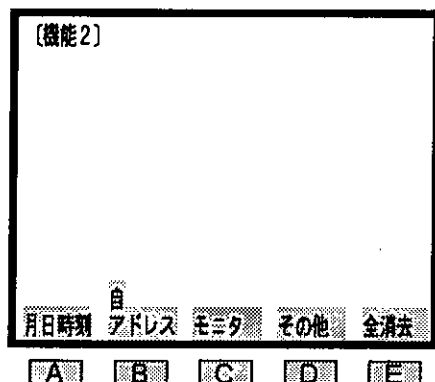
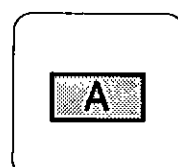
2

その他 (D) を押します。



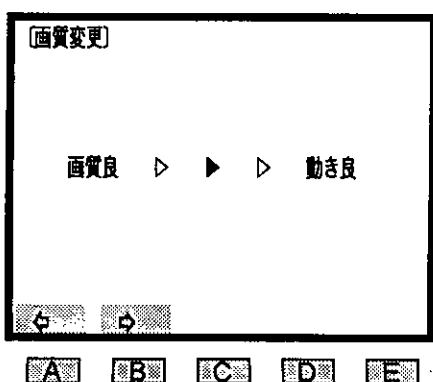
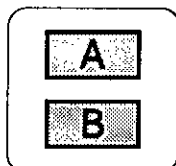
3

画質変更 (A) を押します。



4

← (A) または **→** (B) を押
して、希望する画質に変更し
ます。



画質変更を終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

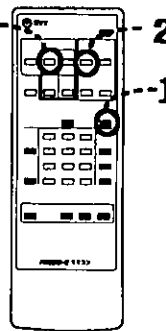
4
便利な使い方

相手に送る画像の画質を変えるとき

通信開始時のPinP(子画面)表示を自動で消去するとき

PinP表示設定

この設定をすると、相手画像が表示されたとき、自動で子画面を消去します。

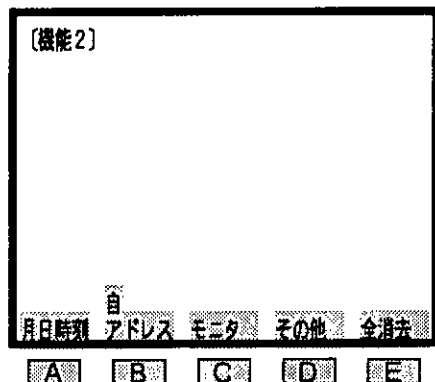


1

待機画面において、**機能** を
2回押します。

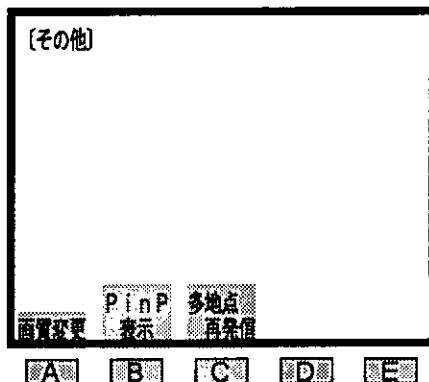
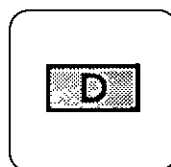


2回



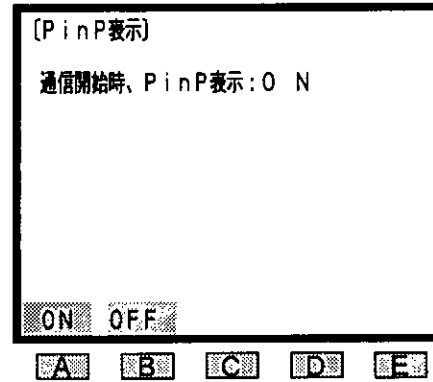
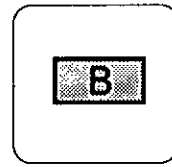
2

その他 (D) を押します。



3

PinP表示 (B) を押します。

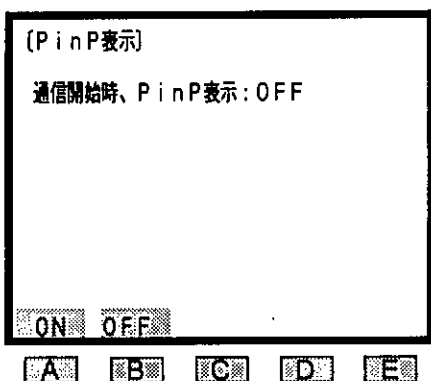
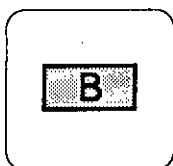


4

便利な使い方

4

OFF (B) を押します。



通信開始時にPinP (子画面) 表示をするときは

ON (A) を押します。

PinPの設定を終わるときは

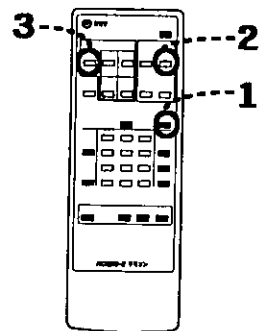
待機画面に戻るまで **機能** を押します。

通信開始時のPinP(子画面)表示を自動で消去するとき

メモリの内容を すべて消去するとき

全消去

下記画面内の全項目について、登録・記録してある内容をすべて消去します。



1

待機画面において、**機能** を
2回押します。

機能

2回

2

全消去 (E) を押します。

E

3

Yes (A) を押します。

A

消去しました。と表示されます。

[機能2]

月日時刻 自 アドレス モニタ その他 全消去

A B C D E

[全消去]

・ワンタッチダイヤル ・発信記録
・再ダイヤル ・着信記録
・電話帳 ・累積料金
・自アドレス ・多地点会議グループ
・画質変更 ・多地点ホスト番号
・PinP表示 ・多地点再発信

以上の登録内容を消去してよろしいですか。

Yes No

A B C D E

[全消去]

・ワンタッチダイヤル ・発信記録
・再ダイヤル ・着信記録
・電話帳 ・累積料金
・自アドレス ・多地点会議グループ
・画質変更 ・多地点ホスト番号
・PinP表示 ・多地点再発信

消去しました。

全消去しないときは

No (C) を押します。
前の画面に戻ります。

終了で元に戻るときは

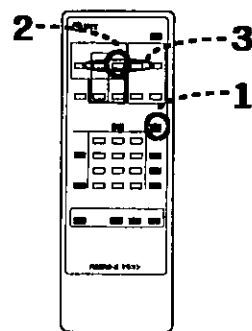
待機画面に戻るまで、**機能** を押します。

4
便利な使い方

メモリの内容をすべて消去するとき

着信音や保留音の 音色を確認するとき

モニタ



1

待機画面において、**機能** を
2回押します。

機能

2回

2

モニタ (C) を押します。

C

3

確認したい項目を選んでボタンを
押します。

音声電話 着信音 T V電話 着信音 保留音
B **C** **D**

スピーカから、メロディが聞こえます。

[機能2]

月日時 自 アドレス モニタ その他 全消去
A **B** **C** **D** **E**

[モニタ]

モニタ内容を選択してください。

音声電話着信音: C
TV電話着信音: B
保留音: A

音声電話 着信音 T V電話 着信音 保留音
入力画像 **A** **B** **C** **D** **E**

表示の内容は

現在設定されている音色を示します。

入力画像 (A) を押すと

映像入力端子に接続した機器の映像をモニタできます。

音声については、音声入力切替スイッチの設定にかかわらず、外部機器からの音声モニタになります。

また、この状態で着信があると、着信画面になります。

[モニタ]

モニタ内容を選択してください。

音声電話着信音: C
TV電話着信音: B
保留音: A

音声電話 着信音 T V電話 着信音 保留音
入力画像 **A** **B** **C** **D** **E**

確認を終わるときは

同じボタンを押します。
モニタを終わるときは、待機画面に戻るまで **機能** を押します。

他のメロディを確認するときには

他のボタンを押します。

メロディを変更するときには

音声電話着信音: 右側面のスイッチによります。(20ページ)
TV電話着信音: 底面のディップスイッチによります。(21ページ)
保留音: 底面のディップスイッチによります。(21ページ)
音色を確認しながら設定を変更することができます。

4
便利な使い方

着信音や保留音の音色を確認するとき

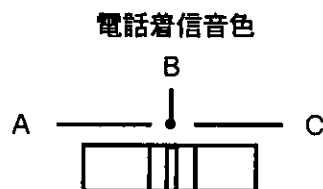
着信音や保留音の 音色を変更するとき

着信音、保留音

音声電話着信音を設定するときは

着信音色切替スイッチ（右側面）で、3種類の中から選んで設定します。

	電話着信音色
A	明るい音色で速い感じ
B	普通の音色で速い感じ
C	落ち着いた音色で遅い感じ

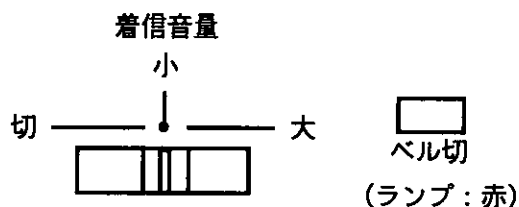


着信音量を設定するときは

着信音量切替スイッチ（右側面）で、3種類の中から選んで設定します。

切に設定した時、**ベル切** ランプ（操作面）が点灯します。

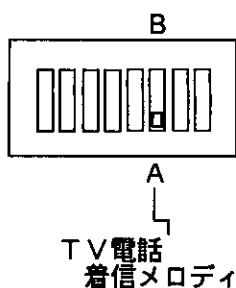
切にしておいても、電話がかかってきた時、着信ランプの点滅と、画面への着信表示で、着信したことが分かります。



TV電話着信音を設定するときは

ディップスイッチ（底面）で、2種類の中から選んで設定します。

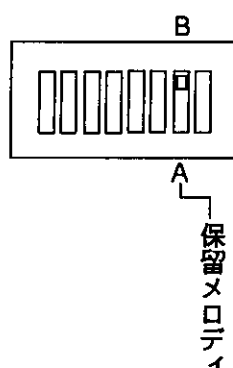
	TV電話着信メロディ
A	メロディ・フェア
B	レット・イット・ビー

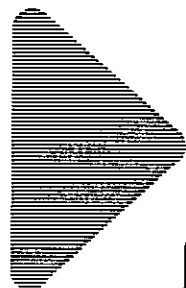


保留音を設定するときは

ディップスイッチ（底面）で、2種類の中から選んで設定します。

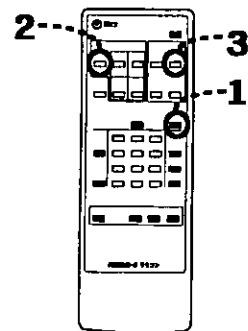
	保留メロディ
A	メロディ・フェア
B	レット・イット・ビー





画面に通話中の経過時間を表示するとき

通話時間表示設定



1

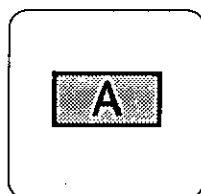
待機画面において、**機能** を2回押します。



2回

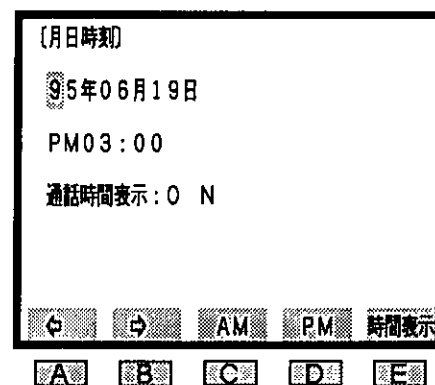
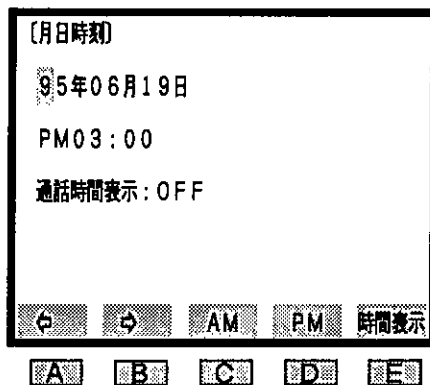
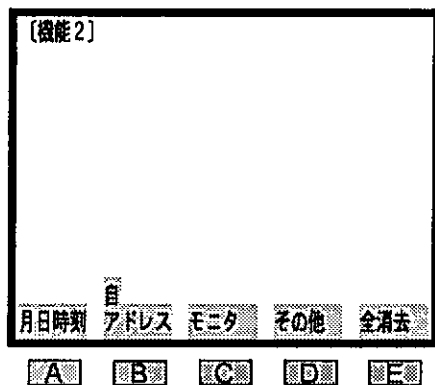
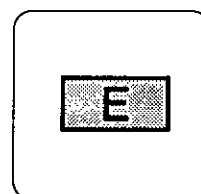
2

月日時刻 (A) を押します。



3

時間表示 (E) を押すごとに、通話時間表示の内容が変わります。



4 便利な使い方

画面に通話中の経過時間を表示するとき

ワンポイント

通話中は、**消去** を押すたびに通話時間を消したり出したりできます。

入力

ON	通話開始時に時間表示を出す
OFF	通話開始時に時間表示を消す

終了で元に戻るときは

機能 を1回押すと、表示されている内容を設定します。
さらに **機能** を1回押すと、待機画面に戻ります。

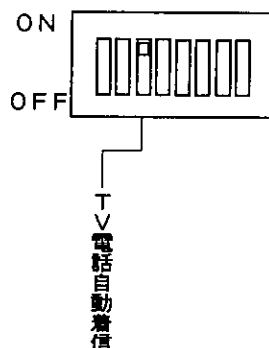
自動的に着信させるとき

T V 電話自動着信

ルームモニタや遠隔監視など、無人運用に利用できます。

スイッチの設定 (1)

底面部にあるTV電話自動着信スイッチをONにします。



自動着信 スイッチ	T V 電話でかかってきたとき	音声電話でかかってきたとき
ON	呼出音が鳴った後、自動的に電話を受け、応答状態になります。 着信音量切替スイッチが切のときは、呼出音は鳴りません。	呼出音が鳴ります。
OFF	呼出音が鳴ります。	呼出音が鳴ります。

スイッチの設定 (2)

右側面にある着信音量切替スイッチを切にします。

電話がかかると、呼出音が鳴らずに、すぐに自動応答します。



1

T V 電話の通信モードで電話がかかってきたとき、**通信** を押したりしなくても、自動的に応答状態になります。

6月19日 (月) PM 3:00

【TV電話自動着信】

4
便利な使い方

自動的に着信させるとき

「着信拒否」や「自アドレス／自サブアドレス」の併用

誤って、この電話機の所有者、使用者以外からの着信を受けないように、着信拒否 (57ページ) や自アドレス／自サブアドレスの登録 (32ページ) の機能を併せて登録してください。

呼出音を鳴らしたいときは

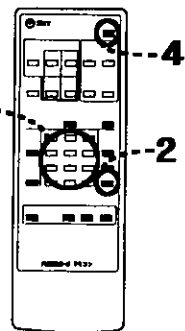
右側面にある着信音量切替スイッチを小か大にします。

T V 電話がかかってきたとき、呼出メロディが約10秒間鳴ったあと、自動応答します。

発信者番号を通知しないで ダイヤルするとき

発信者番号通知なしダイヤル

発信者番号（自アドレス／自サブアドレス）の通知なしでダイヤルするとき



1

待機画面（日付と時刻を表示）
になっていることを確認します。

2

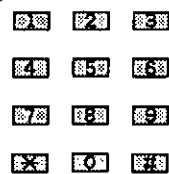
消去 を押します。

消去



3

電話番号をダイヤルします。



6月19日 (月) AM10:30

〔ダイヤル〕 発信者番号通知なし
電話番号を入力してください。

TV電話1 (2B, 画像優先)

〔ダイヤル〕 発信者番号通知なし
電話番号を入力してください。
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

4
便利な使い方

音声電話をかけるときは

さらに、**音声** を押します。

発信者番号通知なしダイヤルを 取り消すときは

もう一度、**消去** ボタンを押します。

電話番号を間違えたときは

訂正 を押すと、直前に入力した番号
1桁を入力最終桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した電話番号
全部を取り消します。

サブアドレスを入力するときは

サブアドレス を押してから、サブ
アドレス番号を入力します。

「/」はアドレスとサブアドレスの
区切りを示します。サブアドレスに
ついては36ページを参照してくだ
さい。



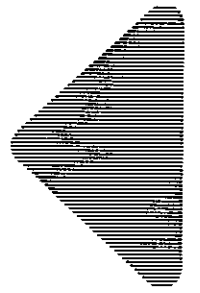
ワンポイント

● 発信者番号通知なしダイヤルについて

発信者の番号（自アドレス／自サブアドレス）を相手先へ通知するかどうかは、
NTTとの契約のときに選ぶことができます。（発信者番号通知サービス）

この機能を使うと、「呼毎通知許可」という条件で契約をした場合でも、相手先へ番号
を通知しないで電話をかけることができます。この操作は、1回の通話で解除される
ので、その都度操作が必要です。

発信者番号を通知しないでダイヤルするとき



4

通信 を押します。

5

相手が出たらお話しします。

通信



[発信] 発信者番号通知なし

0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

自分画像

[TV電話]

通話:

00-01

0123456789/1234

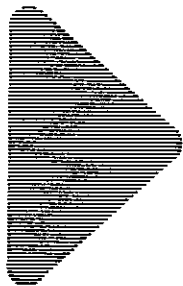
自分画像

通話時間の表示を消す／出す
ときは

通話中に **消去** を押してください。
TV電話のときは、相手先の電話番号も同時に消したり出したりします。

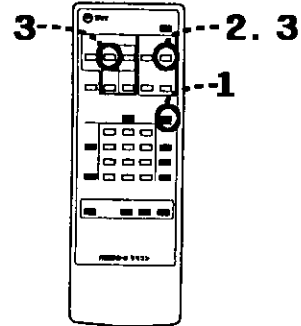
4
便利な使い方

発信者番号を通知しないでダイヤルするとき



通信条件を設定するとき

通信モードの設定



1

待機画面において、**機能** を押します。

機能

2

モード (E) を押します。

E

3

内容変更 (B) を押します。
右ページを参照して、通信モードを変更します。その後、**設定終了** (E) を押します。

B

E

[機能1]

着信記録 発信記録 累積料金 多地点 **モード**

A B C D E

[通信モード]

TV電話1 (2B, 画像優先)

使用チャンネル: 2B
音声 : ADPCM
画像 : 画質重視

内容変更

設定終了

A B C D E

[通信モード] モード変更完了

TV電話2 (2B, 音声優先)

使用チャンネル: 2B
音声 : PCM
画像 : 画質重視

内容変更

設定終了

A B C D E

通信モードとは

音声や画像を相手に送るときに方式や条件をいいます。

TV電話をかけるときに、**画像** を押すと、ここで設定された通信モードになります。

相手の電話機によっては、ここで設定した通信モードで通話できないことがあります。そのときは、相手の電話機に合った通信モードに自動変更されます。

通信モードを終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

4 便利な使い方

通信条件を設定するとき

それぞれの通信モードの特長は

内容変更 (B)を押すごとに、以下のような通信モードに変更できます。

TV電話1…画像優先

PICSEND-C独自の高性能信号方式で、音声を送ります。そのためきれいな画像を送ることができます。

TV電話2…音声優先

音声、画像とも国際標準の方式で送ります。

TV電話3…1B

このモードで電話をかけると、INSネット64の1チャンネル:1Bだけ使います。電話料金が通常の電話と同じで済むエコノミーモードです。相手の電話が、PICSEND-C、PICSEND-Rのどちらでもないときは、画像の動きが非常に遅くなります。TV電話1か、TV電話2に設定することをおすすめします。

TV電話4…任意1

任意モードに設定したいときや、海外の相手と通話したいとき使用するモードです。チャンネル、音声、画像を別々に変更できます。

TV電話5…任意2

データ通信をしたいとき使用するモードです。チャンネル、音声、画像、データを別々に変更できます。

TV電話4またはTV電話5のモードで使う方のために

Aボタンの位置に  が出来ます。 (A)を押すごとに使用チャンネル、音声、画像を、TV電話5ではさらにデータを選ぶことができます。

使用チャンネル

内容変更 (B)を押すごとに、次のように変更できます。

2B	通常はこのモードを使用します。
1B (制限網)	米国など、海外の相手と通話する場合で、2Bや1Bの設定で通話できないときは、このモードに設定します。
2B (制限網)	
1B	電話料金が通常の電話と同じで済むエコノミーモードです。以下のときは画像の動きが非常に遅くなります。2B、または2B(制限網)に設定することをおすすめします。 ・相手の電話機がPICSEND-C、PICSEND-Rのどちらでもない場合で、音声と画像を両方送りたいとき。 ・相手の電話機がPICSEND-CまたはPICSEND-Rの場合で、音声をPCMにして送りたいとき。

音声

内容変更 (B)を押すごとに、次のように変更できます。

ADPCM	PICSEND-C独自の高性能符号化方式で送ります。
PCM	国際標準の方式で送ります。
OFF	音声を送らないときは、このモードに設定します。 音声を送らない分、画像の動きが早くなります。

画像

内容変更 (B)を押すごとに、次のように変更できます。

画質重視	画質の細かさを重視した画像を送ります。
動き重視	動きのなめらかさを重視した画像を送ります。
OFF	画像を送らないときは、このモードにします。

データ

内容変更 (B)を押すごとに、次のように変更できます。

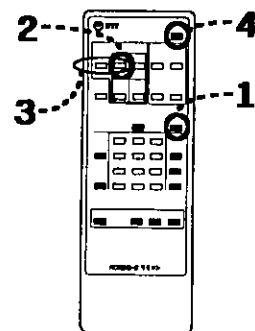
OFF	データ通信を行わないときは、このモードに設定します。
300bit/s	PICSEND-C本体のデータの転送スピードです。
1200bit/s	接続されているデータ端末と同じ値に設定します。
4800bit/s	9600bit/sは、音声かADPCMかOFFのときだけ、選ぶことができます。
9600bit/s	

4
便利な使い方

通信条件を設定するとき

最近かけた電話の記録を確認するとき

発信記録



1

待機画面において、**機能**を押します。

機能

(機能1)

発信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード
[A] [B] [C] [D] [E]

2

発信記録 (B) を押します。

B

(発信記録)

1: 23日 AM10:00 キカク
2: 22日 PM 3:00 0123456789
3: 21日 AM 9:35 0123456789
4:
5:
(記録内容)
0987654321/1234
TV電話3 応答有 40円
↓ ↑
[A] [B] [C] [D] [E]

3

↓ (A) または ↑ (B) を押して、目的の発信記録に、カーソルを合わせます。

A

B

(発信記録)

1: 23日 AM10:00 キカク
2: 22日 PM 3:00 0123456789
3: 21日 AM 9:35 0123456789
4:
5:
(記録内容)
0123456789/1234
TV電話3 応答有 20円
↓ ↑
[A] [B] [C] [D] [E]

4
便利な使い方

4

指定した相手に電話をかけたいときは、**通信**を押します。

通信

(発信)

0123456789/1234

TV電話3 (1B)

自分画像

記録表示の内容は

- 最近かけた電話の5回分の日付(日)、時刻、相手を確認できます。
- 電話帳を使ってかけた相手は名前を表示し、その他の相手は電話番号の頭10桁を表示します。
- 記録内容には、カーソルに合わせた発信記録の電話番号全桁、通信モード、相手の応答の有無、電話料金を表示します。

発信記録の内容を消去するときは

番号を指定した状態で**消去**を押します。

発信記録の表示を終わるときは

待機画面に戻るまで**機能**を押します。

通信モードは

記録されている通信モードになります。

通信モードを変更するときは

音声電話をかけるときは**音声**を押します。

TV電話をかけるときは**画像**を押します。TV電話の通信モードは、通信モードの設定(78ページ)で設定された通信モードになります。

電話番号を変更するときは

ダイヤル番号を入力すると、番号を後ろに追加できます。

訂正を押すと、番号1桁を入力最終桁から取り消します。

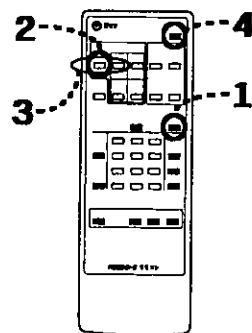
そのほか

多地点テレビ会議の着信は記録されません。

最近かけた電話の記録を確認するとき

最近かかってきた電話の 記録を確認するとき

着信記録



1

待機画面において、**機能**を押します。

機能

[機能1]

着信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード

A B C D E

2

着信記録 (A) を押します。

A

[着信記録]

1: 23日 AM10:00 ハンバイ
2: 22日 PM 3:00 0123456789
3: 21日 AM 9:35 0123456789
4:
5:
(記録内容)
0987654321/1234

TV電話1 応答有

↓ ↑

A B C D E

3

↓ (A) または ↑ (B) を押して、目的の着信記録に、カーソルを合わせます。

A

B

[着信記録]

1: 23日 AM10:00 ハンバイ
2: 22日 PM 3:00 0123456789
3: 21日 AM 9:35 0123456789
4:
5:
(記録内容)
0123456789/1234

TV電話1 応答有

↓ ↑

A B C D E

4

指定した相手に電話をかけたいときは、**通信**を押します。

通信

[発信]

0123456789/1234

TV電話1 (28, 画質重視)

記録表示の内容は

- 最近かかってきた電話の5回分の日付(日)、時刻、相手を確認できます。
- 電話帳に記録している電話番号と一致した相手は、名前を表示します。その他の相手は、電話番号の頭10桁を表示します。
- 記録内容には、カーソルを合わせた着信記録の電話番号全桁、通信モード、応答の有無を表示します。

着信記録の内容を消去するときは

番号を指定した状態で **消去** を押します。

着信記録の表示を終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

通信モードは

記録されている通信モードになります。

通信モードを変更するときは

音声電話をかけるときは **音声** を押します。

TV電話をかけるときは **画像** を押します。TV電話の通信モードは、通信モードの設定(78ページ)で設定された通信モードになります。

電話番号を変更するときは

ダイヤル番号を入力すると、番号を後ろに追加できます。

訂正 を押すと、番号1桁を入力最終桁から取り消します。

その他

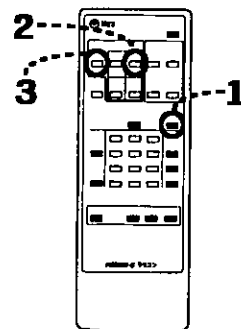
- ① 相手から番号の通知がないときは、電話番号の表示はできません。
- ② 多地点テレビ会議の着信は記録されません。

4
便利な使い方

最近かかってきた電話の記録を確認するとき

累積料金を確認するとき

累積料金



1

待機画面において、**機能**を押します。

機能



2

累積料金 (C) を押します。

C

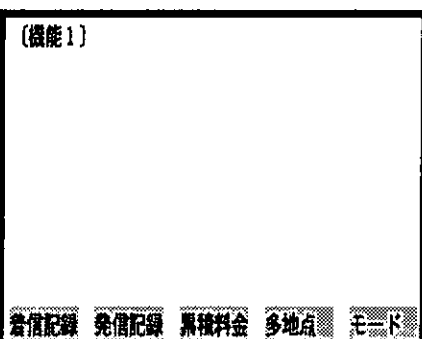
3

累積料金を消去するときは、**Yes** (A) を押します。

A

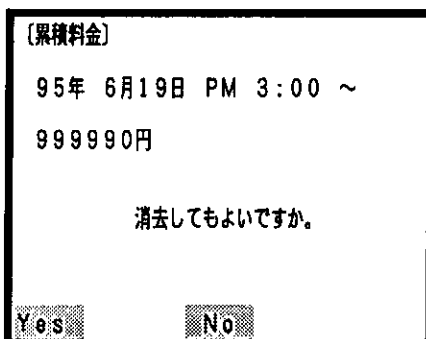
「消去しました。」と表示されます。

(機能1)



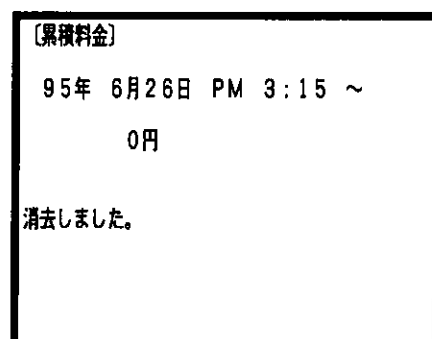
A B C D E

(累積料金)



A B C D E

(累積料金)



4
便利な使い方

累積料金を確認するとき

記録表示の内容は

累積料金と累積を始めた月日時刻を表示します。

消去しないときは

No (C) または **機能** を押します。
前の画面に戻ります。

累積料金の表示の桁数は

6桁 (999990円) までです。

スピーカーから消去音（ビー）が聞こえ、料金が0円になり、月日時刻は消去を行った時刻になります。

累積料金表示が終わるときは

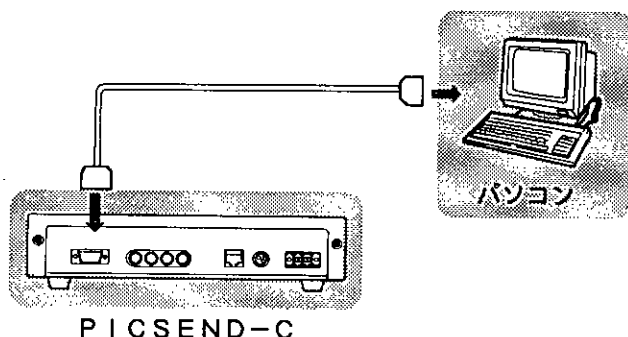
待機画面に戻るまで **機能** を押します。

TV電話中にデータを 送受信するには データ通信

この機能は、相手の電話がPICESEND-Cのときは、またはデータ通信機能(LSD)を扱っている通信相手のときに使用できます。ただし、多地点テレビ会議中は使用できません。

接続のしかた

1. あらかじめ本体の電源プラグを抜きます。また、接続するデータ端末(パソコン、電子黒板など)側の電源を切ります。
2. RS-232Cコードを下図のように接続します。
3. 正しく接続されているか再度確認し、両方の電源を入れます。
4. 通信モードの設定(78ページ)で、自分、相手端末ともに通信モードを「TV電話5(任意2)」に設定します。「データ」の項目は、接続するデータ端末と同じに設定します。(9600bit/sは、音声はADPCMのときだけ、選ぶことができます。)



[通信モード]	
TV電話5(任意2)	
使用チャンネル	: 2B
音声	: ADPCM
画像	: 画質重視
データ	: 4800bit/s

5. 電話帳ダイヤルやワンタッチダイヤルを使って相手にダイヤルするときは、電話帳登録のときに、通信モードを「TV電話5(任意2)」で登録してください。

使い方

TV電話中にいつでもデータを送受信できます。データの送受信のしかたは、データ端末の取扱説明書に従ってください。

- この機器は、パソコンなどの制御機器をケーブルで直接接続するのと同じサービスを提供します。パソコンなどで通信ソフトを使用される場合は、直接接続のモードを選択してください。
- RS-232Cケーブルは、ストレートケーブルを使用してください。
詳細は、「RS-232Cの信号線の意味と機能(105ページ)」を参照してください。
- 通信データの誤り訂正、誤り通知の機能はありません。
通信データの保証は接続機器自体で行ってください。
- 接続する端末によっては通信できない場合があります。
 - ・CS信号によるフロー制御をサポートする端末を使用してください。
 - ・DR信号がOFFの間のデータは保証しません。詳細は「RS-232Cの信号線の意味と機能」を参照してください。
- 相手の通信機器に本装置と同じ機能のデータ転送能力がない場合は、データ通信はできません。

本装置を監視目的に 使用する方へ **監視**

監視地点の装置の設定によりいろいろな監視が可能です。

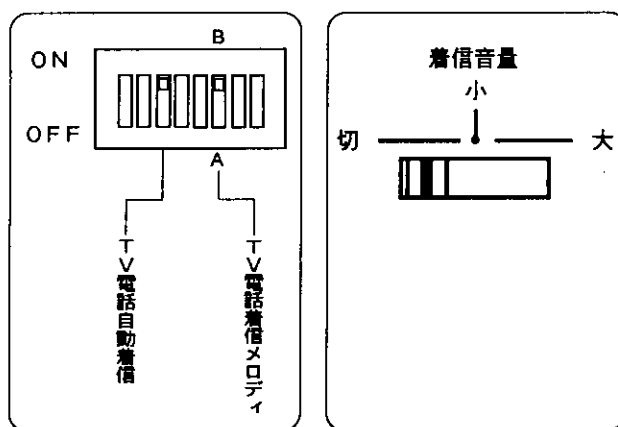
本装置を監視目的に使うとき、目的によって以下の機能を設定します。

自動で応答させるには

- TV電話自動着信をONにします。(75ページ)
- TV電話のところに人がいなくても、自動的に着信し、応答させることができます。
ルームモニタや遠隔監視など、無人運用に利用できます。
- 誤って電話機の所有者、使用者以外からの着信を受けないようにするときは、「着信拒否」や「自アドレス/自サブアドレスの登録」の機能を併せて登録します。
- 呼出音を鳴らしたくないときには、着信音量切替スイッチを切にします。

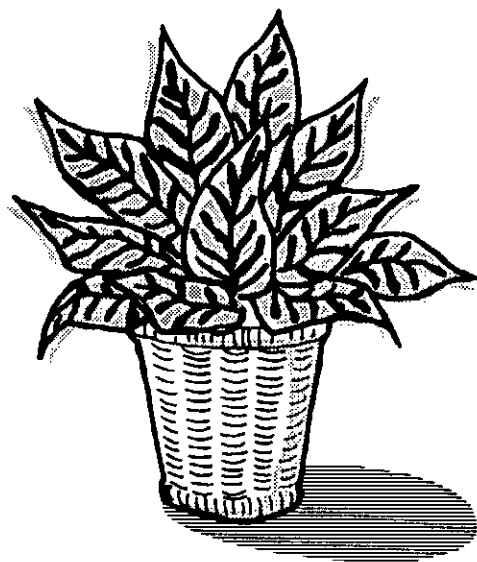
画像のみ監視を行うには

- 音声を送る必要のないときに使う機能です。音声を送らない分、より動きのスムーズな画像で遠隔監視ができます。
- 次の3つの設定を行うことで、画像のみの監視が可能です。
設定1 TV電話自動着信をONにします。
設定2 TV電話着信メロディをBにします。
設定3 着信音量切替スイッチを切にします。



センサ感知したとき、自動で発信させるには

- 自動発信機能に利用するとき、センサなどの機器を接続して使います。
赤外線センサとセンサ制御装置を接続して、センサの前を人が通過したとき自動発信するなどの応用が可能です。(接続機器の条件、設定のしかたは55ページ)

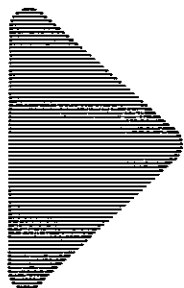




●第 5 章●

多地点テレビ会議機能の使い方

多地点テレビ会議機能とは	88
多地点テレビ会議の準備	91
スイッチとホスト番号の設定	91
メンバー、グループの登録	92
会議状態の設定	94
多地点テレビ会議を始めるとき	96
会議の開始	96
多地点再発信をON/OFFするとき	99
多地点再発信	99
多地点テレビ会議中に会議状態を変更するとき	100
会議状態の変更	100
1画面表示と4分割画面表示を切り替えるとき	101
画面切替	101

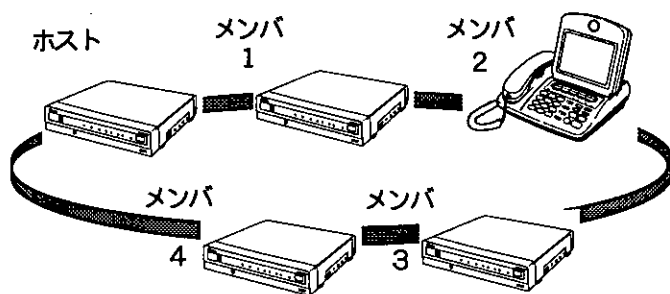


多地点テレビ会議機能とは

- コーデック装置PICSEND-Cは、3～5台をリング状に接続することで、複数の地点にいる人が同時に参加する「多地点テレビ会議」ができる装置です。PICSEND-Rとも接続できます。PICSEND-Rをご使用になるときは、PICSEND-Rの「識別番号」を設定しないでください。識別番号を設定するとPICSEND-Cとの間で、多地点通信ができません。
- テレビ会議では、ホスト端末1台と、メンバ端末2～4台で1グループを構成します。

ホスト端末：会議の開始をする端末をホスト端末といいます。
メンバ端末：会議に参加する端末をメンバ端末といいます。

- ホスト端末、メンバ端末ともに、相手（1～4端末）の動画を同時に見ながら話せます。また、相手の音声（1～4端末）を同時に聞くことができます。



相手画像	相手画像
相手画像	相手画像 自分画像

4分割画面に他のメンバの画面が出ます。

- 多地点テレビ会議の接続を正常に行うために、NTTとの契約のときに、“発信者の番号（自アドレス/自サブアドレス）を相手先へ通知する「呼毎通知許可」”を選択してください。

ホスト端末

- 多地点テレビ会議の開始をする端末がホスト端末となります。
 - ホスト端末は、あらかじめ多地点テレビ会議のメンバを、グループとして登録しておきます。
 - ホスト端末は、各メンバの画像や音声を他のメンバに見せたり、聞かせたり、あるいはそれらを取り消したりする「会議状態」を設定することができます。また、「4分割画面表示」にしたり「1画面表示」にしたりする「画面切替」の操作もできます。
- この「会議状態」は、テレビ会議の途中で変更することもできます。

各端末（ホスト端末、メンバ端末）

各端末において、保留、音声ミュート、画像ミュート、PinP表示などが個別に操作できます。
（多地点テレビ会議中に保留を押したときは、テレビ会議の妨害を防ぐため、保留音を送りません。）
1画面表示のときは、高精細静止画の送信もできます。

準備

ホスト端末が準備すること

- ディップスイッチの「多地点」がONであることの確認 (91ページ)
- ホスト番号 (自アドレス/自サブアドレスの登録) (91ページ)
- メンバ、グループの登録 (92ページ)
- 会議状態の設定 (94ページ)

メンバ端末が準備すること

- ディップスイッチの「多地点」がONであることの確認 (91ページ)

会議の開始

ホスト端末

- グループの選択後、発信 (96ページ)
- 会議状態の変更 (100ページ)
- 画面切替 (101ページ)

メンバ端末

- 会議へ参加、発言

会議の終了

ホスト端末

- **通信** を押す (98ページ)

メンバ端末

- 自動切断

(次のページへつづく)

多地点テレビ会議とは

多地点テレビ会議を始めるまえに

- 多地点テレビ会議を始めるまえに、あらかじめ以下の登録を済ませておいてください。

なお、電話番号の登録は、すべて市外局番から登録してください。

◎：必ず登録または設定してください。

－：無関係

項 目	参照ページ	ホスト	メンバ	説 明
メンバ端末の電話番号（自アドレス／自サブアドレス）を電話帳に登録する。	34	◎	－	・この電話帳の内容を用いて、メンバの登録（92ページ）をします。
「着信拒否」を設定しているときは、ホストとメンバ端末全員の電話番号を登録する。	57	◎	◎	・電話帳に登録しておかないと接続されず、多地点テレビ会議に参加できません。
ホスト番号を設定する。	91	◎	－	・ホスト番号とは、最後のメンバ端末（下の図の例ではメンバ4）からダイヤルしてもらうときの、ホストの電話番号です。

メンバ端末の電話番号、およびホスト番号について

- 多地点テレビ会議はリング型接続方式を採用のため、図の例のように、ホスト→メンバ1、メンバ1→メンバ2、…、メンバ4→ホストの順に接続されます。

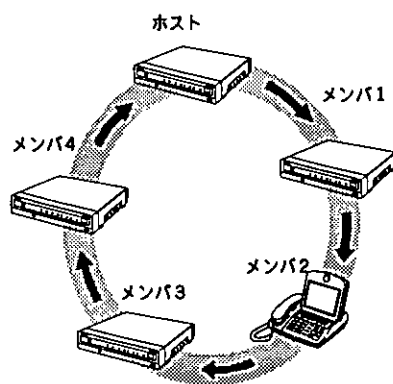
（メンバ1からメンバ4の順序は、メンバ、グループの登録

（92ページ）で登録された順に決定されます。

その順序は、会議状態の設定（94ページ）の表示で確認できます。）

したがって、ホスト端末の電話帳の電話番号には以下の内容を登録します。

メンバ	電 話 番 号
メンバ1	ホスト端末からメンバ1へダイヤルするときに使う番号
メンバ2	メンバ1からメンバ2へダイヤルするときに使う番号
メンバ3	メンバ2からメンバ3へダイヤルするときに使う番号
メンバ4	メンバ3からメンバ4へダイヤルするときに使う番号



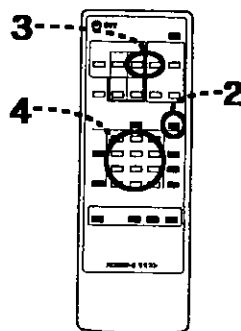
5 端末を接続するときの例

- また、ホスト番号（91ページ）には、メンバ4からホストにダイヤルするときに使う電話番号を登録します。
- 多地点テレビ会議の接続で、接続できなかったメンバ端末があるときは、もう一度接続を試みるようにも設定できます。（多地点再発信 99ページ）

多地点テレビ会議の準備

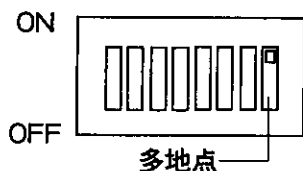
スイッチとホスト番号の設定

スイッチは、ホスト端末、メンバ端末とも設定してください。
ホスト番号は、ホスト端末に設定してください。



1

底面のディップスイッチの
多地点をONに設定します。



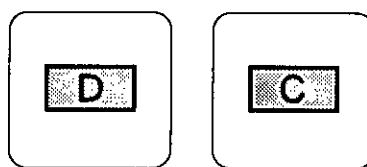
2

待機画面において、**機能** を
押します。



3

多地点 (D) を押します。
さらに、**ホスト番号** (C) を
押します。



4月21日 (木) PM 3:00

[多地点]

[機能1]

着信記録 発信記録 異種料金 多地点 モード
[A] [B] [C] [D] [E]

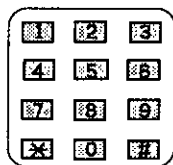
[多地点通信グループ]

1 システムカイギ
2 テイレイカイギ
3 ギジュツカイギ
4 ウンエイカイギ
5 *****
6 キカクカイギ
7
8

0 0 ホスト番号 メンバ登録 会議状態
[A] [B] [C] [D] [E]

4

ダイヤルでホスト番号を入力し
ます。



[ホスト番号]
ホストの電話番号を入力してください。
0123456789/123

必ずホスト番号を設定して
ください

ホスト番号とは、最後のメンバ
(90ページの図の例ではメンバ4) か
らダイヤルしてもらうときの、ホストの
電話番号です。

ホスト番号を登録していないときは、自
アドレス/自サブアドレス (32ページ)
に登録している番号を、ホスト番号とし
て使います。

ホスト番号の桁数は

自アドレス：最大24桁、自サブアドレ
ス：最大19桁まで入力できます。

ホスト番号を間違えたときは

訂正 を押すと、番号1桁を入力最終
桁から取り消します。

消去 を押すと、入力した電話番号全
部を取り消します。

入力が終わったら

機能 を押すと、表示されている内容
を設定します。

さらに待機画面に戻るまで、**機能** を
押します。

多地点テレビ会議の準備

メンバ、グループの登録

ホスト端末の操作



ホスト端末だけ、この操作が必要です。

多地点グループに登録するメンバは、電話帳の中から選びますので、各メンバをあらかじめ電話帳に登録（34ページ）しておいてください。

1

待機画面において、**機能** を押します。

機能

[機能1]

着信記録	発信記録	累積料金	多地点	モード
A	B	C	D	E

2

多地点 (D) を押します。

D

[多地点通信グループ]

1	システムカイギ
2	ティレイカイギ
3	ギジュツカイギ
4	ウンエイカイギ
5	*****
6	キカクカイギ
7	
8	

↓	↑	ホスト番号	メンバ登録	会議状態
A	B	C	D	E

3

↓ (A) または **↑** (B) を押して、登録したい多地点グループの番号に、カーソルを合わせます。

A

B

[多地点通信グループ]

1	システムカイギ
2	ティレイカイギ
3	ギジュツカイギ
4	ウンエイカイギ
5	*****
6	キカクカイギ
7	
8	

↓	↑	ホスト番号	メンバ登録	会議状態
A	B	C	D	E

4

メンバ登録 (D) を押します。

D

[メンバ登録]: 1/3

1	キカク	6
2	エイギョウ	7
3	カイハツ	8*****
4	ソウム	9
5		10

(登録内容)
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

↓	次頁	登録/削除	グループ名	登録終了
A	B	C	D	E

5

次頁 (B) を押して電話帳のページをめくり、登録したいメンバの番号に、カーソルを合わせます。

B

[メンバ登録]: 1/3

1	キカク	6
2	エイギョウ	7
3	カイハツ	8*****
4	ソウム	9
5		10

(登録内容)
0123456789/1234

TV電話1 (2B, 画像優先)

↓	次頁	登録/削除	グループ名	登録終了
A	B	C	D	E

グループ名が登録されていないときは

***** が表示されます。

多地点テレビ会議の準備

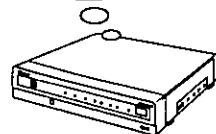
5 多地点テレビ会議機能の使い方

多地点テレビ会議の準備

会議状態の設定

会議状態の設定は、ホスト端末で行います。

ホスト端末の操作



1

待機画面において、**機能** を押します。

機能



[機能1]

着信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード

A **B** **C** **D** **E**

2

多地点 (D) を押します。

D

[多地点通信グループ]

- ① システムカイギ
- ② テイレイカイギ
- ③ ギジュツカイギ
- ④ ウンエイカイギ
- ⑤ *****
- ⑥ キカクカイギ
- ⑦ ヨサンカイギ
- ⑧

↓ ↑ ホスト番号 メンバ登録 会議状態

A **B** **C** **D** **E**

3

↓ (A) および ↑ (B) を押して、多地点テレビ会議をしたいグループの番号に、カーソルを合わせます。

A

B

[多地点通信グループ]

- 1 システムカイギ
- 2 テイレイカイギ
- 3 ギジュツカイギ
- 4 ウンエイカイギ
- 5 *****
- 6 キカクカイギ
- 7 ヨサンカイギ
- 8

↓ ↑ ホスト番号 メンバ登録 会議状態

A **B** **C** **D** **E**

4

会議状態 (E) を押します。

E

[メンバ状態]: ヨサンカイギ

	参加	音声 送信 受信	画像 送信 受信
ホスト	☆	○ ○	○ ○
1 キカク	○	○ ○	○ ○
2 エイギョウ	○	○ ○	○ ○
3 カイハツ	○	○ ○	○ ○
4 ソウム	○	○ ○	○ ○

↓ ↑ ⇄ O/X 設定終了

A **B** **C** **D** **E**

5

↓ (A)、↑ (B) および ⇄ (C) を押して、会議状態の変更をしたい項目に、カーソルを合わせます。

A

B

C

[メンバ状態]: ヨサンカイギ

	参加	音声 送信 受信	画像 送信 受信
ホスト	☆	○ ○	○ ○
1 キカク	○	○ ○	○ ○
2 エイギョウ	○	○ ○	○ ○
3 カイハツ	○	○ ○	○ ○
4 ソウム	○	○ ○	○ ○

↓ ↑ ⇄ O/X 設定終了

A **B** **C** **D** **E**

6

○/X (D) を押して、会議状態を変更します。1回押すごとに、○→X→○と変わります。

(右ページ参照)

D

[メンバ状態]: ヨサンカイギ

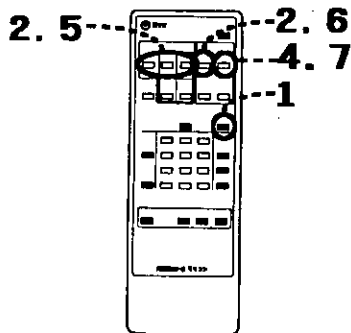
	参加	音声 送信 受信	画像 送信 受信
ホスト	☆	○ ○	○ ○
1 キカク	○	○ ○	○ ○
2 エイギョウ	X	— —	— —
3 カイハツ	○	○ ○	○ ○
4 ソウム	○	○ ○	○ ○

↓ ↑ ⇄ O/X 設定終了

A **B** **C** **D** **E**

多地点テレビ会議の準備

5 多地点テレビ会議機能の使い方



会議状態の設定

7

設定終了 (E) を押します。

E

[多地点通信グループ]

- 1 システムカイギ
- 2 テイレイカイギ
- 3 ギジュツカイギ
- 4 ウンエイカイギ
- 5 *****
- 6 キカクカイギ
- 7 ヨサンカイギ
- 8

↓ ↑ ホスト番号 メンバ登録 会議状態

A B C D E

会議状態の設定を終わるときは

待機画面に戻るまで、機能を押します。

会議状態の各項目について

多地点通信グループの各メンバごとに、次の項目を設定します。

● 参加

多地点テレビ会議のとき、回線を接続するかどうかを設定します。

☐ 回線を接続する。多地点テレビ会議に参加させる。

☐ 回線を接続しない。多地点テレビ会議に参加させない。

● 音声送信

該当するメンバの音声を、他のメンバに聞かせるかどうかを設定します。

☐ 音声を他のメンバに聞かせる。

☐ 音声を他のメンバに聞かせない (音声送信ミュート状態)。

● 音声受信

該当するメンバが、他のメンバの音声を聞くことができるかどうかを設定します。

☐ 他のメンバの音声を聞くことができる。

☐ 他のメンバの音声を聞くことができない (音声受信ミュート状態)。

● 画像送信

該当するメンバの画像を、他のメンバに見せるかどうかを設定します。
"○"を設定した端末が2つ以上あるときは、会議開始後4分割画面表示になります。"○"が1つのときは、該当する端末の画像を、すべてのメンバ端末に表示します。

☐ 画像を他のメンバに見せる。

☐ 画像を他のメンバに見せない (画像送信ミュート状態)。

● 画像受信

該当するメンバが、他のメンバの画像を見ることができるかどうかを設定します。

☐ 他のメンバの画像を見ることができる。

☐ 他のメンバの画像を見ることができない。
(画像受信ミュート状態 ブルーの画像が表示される)

多地点テレビ会議を始めるとき

会議の開始

会議の開始は、ホスト端末で行います。

グループの選択

1

待機画面において、**機能** を押します。

機能

2

多地点 (D) を押します。

D

3

↓ (A) または ↑ (B) を押して、多地点テレビ会議をしたいグループに、カーソルを合わせます。

A

B

[機能1]

着信記録 発信記録 累積料金 多地点 モード

A B C D E

[多地点通信グループ]

1 システムカイギ
2 テイレイカイギ
3 ギジュツカイギ
4 ウンエイカイギ
5 *****
6 キカクカイギ
7 ヨサンカイギ
8

↓ ↑ ホスト番号 メンバ登録 会議状態

A B C D E

[多地点通信グループ]

1 システムカイギ
2 テイレイカイギ
3 ギジュツカイギ
4 ウンエイカイギ
5 *****
6 キカクカイギ
7 ヨサンカイギ
8

↓ ↑ ホスト番号 メンバ登録 会議状態

A B C D E

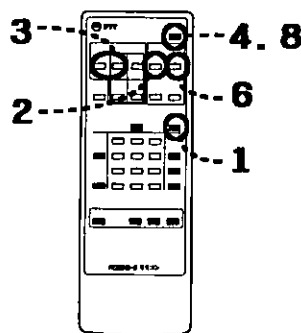
●メンバ端末の接続状態表示

未接続	まだ接続されていない（これから接続する）メンバです。
不参加	会議状態の設定で、“不参加”に設定されていたメンバです。
接続完了	接続を完了したメンバです。
スキップ	接続できなかったメンバです。

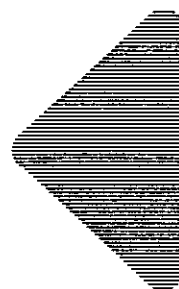
PBXに接続されているときは

ホスト端末またはメンバ端末が、構内交換機（PBX）に接続されているときは、自動着信しないことがあります。このときは、通常のTV電話着信と同じ表示がされ、呼出音が鳴ります。

通信 を押すと、右のリング形成中の画面表示となります。



会議の開始



メンバの呼出し

(次のページへつづく)

4

通信 を押します。

通信

リング形成中 : 自動接続の処理中です。
音声・画像準備中 : 準備処理中です。

[多地点通信] リング形成中

1 キカク	接続完了
2 エイギョウ	不参加
3 カイハツ	スキップ D017
4 ソウム	接続中

ホスト
自分画像

●メンバ端末の接続状態表示は、左の表によります。

メンバ端末の画面

[多地点通信] リング形成中

※しばらくお待ちください。※

メンバ
自分画像

●メンバ端末では着信があると、設定に関係なく自動着信状態で上の画面が表示されます。(呼出音は出ません。このとき保留音が鳴ります。)
リング形成中 : 自動接続の処理中です。
音声・画像準備中 : 準備処理中です。

5

画面の右下に会議開始の表示が出たら、メンバ全員に会議の開始を伝えます。(ホストから会議参加者への一斉放送になります。)

ホスト端末の画面

[多地点通信]

00-12

ホスト
自分画像

ホスト
自分画像

会議開始

A B C D E

●メンバの接続が完了すると、ホスト端末の親画面にホスト自身の画像が出ます。

メンバ端末の画面

[多地点通信]

00-06

ホスト端末の画像

メンバ
自分画像

●メンバ端末では、ホスト端末の画像が映ります。ホスト端末の音声聞こえます。
●ホスト端末が会議開始を押すまでは、メンバからの音声や画像は送られません。

6

会議開始 (E) を押します。

E

ホスト端末の画面

[多地点通信]

00-18

相手画像

相手画像

相手画像

相手画像

ホスト
自分画像

●4分割画面表示のとき、4分割画面のどの画面に誰が出るかの定位置はありません。端末ごとに位置は異なります。

メンバ端末の画面

[多地点通信]

00-12

相手画像

相手画像

相手画像

相手画像

メンバ
自分画像

多地点テレビ会議を始めるとき

5 多地点テレビ会議機能の使い方

7

- ホスト端末の司会によって多地点テレビ会議を進めます。

ホスト端末の画面

[多地点通信]		00-18
相手画像	相手画像	
相手画像	相手画像	
相手画像	ホスト 自分画像	

- 1画面表示のときもあります。
ホスト端末の操作によって4分割画面表示と1画面表示が切り替えられます。(101ページ)

メンバ端末の画面

[多地点通信]		00-12
相手画像	相手画像	
相手画像	相手画像	
相手画像	メンバ 自分画像	

- 1画面表示のときもあります。
ホスト端末の操作によって4分割画面表示と1画面表示が切り替えられます。(ホスト端末のみの操作)

- ホスト端末では、必要に応じて画面の切り替えができます。

画面を切り替えるときは

機能 を押します。

その後、目的に応じていずれかのボタンを押します。

自/相手 (A) 60ページ

静/動 (C) 62ページ

1画面表示のときは高精細静止画となります。4分割画面表示のときは、通常の静止画送信となります。このとき元の動画送信に戻すときには **静/動** を押します。

鏡/正 (D) 63ページ

PinP 61ページ

画面の切り替えを終わるときは

機能 を押します。



自分の画像(子画面)を自動的に消すには、70ページの設定を行ってください。

8

- 多地点テレビ会議を終わるときは、**通信** を押します。

通信



[多地点通信]		03-16
切断:	0123456789/1234	
		20円
切断:	0987654321/1234	

メンバ端末の画面

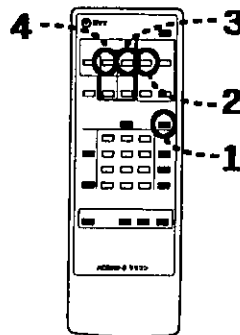
[多地点通信]		03-10
切断:	02345678901/1234	
		20円
切断:	03456789012/1234	

- メンバ端末では、自動切断されます。ただし、メンバ端末から会議全体を終わらせることはできません。

多地点再発信を ON/OFFするとき

多地点再発信

ONに設定しておく、多地点テレビ会議で接続できなかったメンバへ再発信します。この設定はホスト端末で行います。

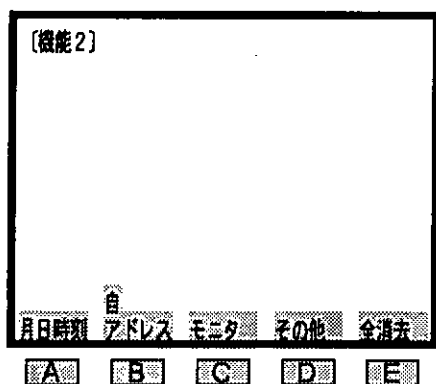


1

待機画面において、**機能** を
2回押します。

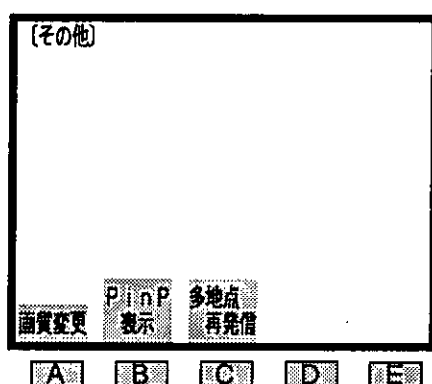
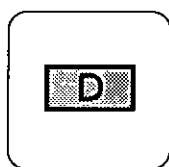


2回



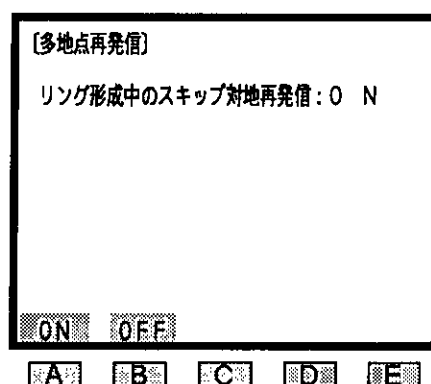
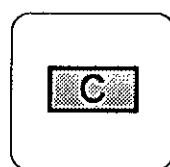
2

その他 (D) を押します。



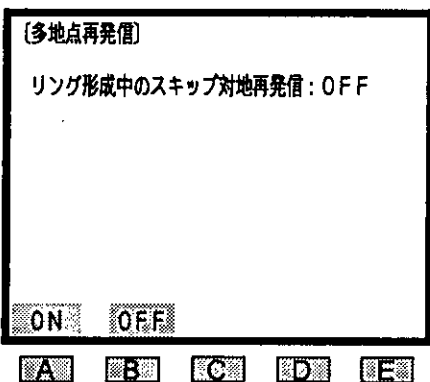
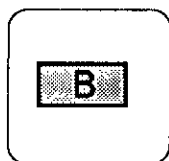
3

多地点再発信 (C) を押します。



4

ON (A) または **OFF** (B)
を押します。



多地点再発信をONに設定すると

多地点テレビ会議の接続のとき接続できなかったメンバを、最後に接続されたメンバから再発信して（もう一度呼び出して）接続を試みます。この結果、会議状態の設定（94ページ）で設定したときと異なる順序で接続されることがあります。

多地点再発信の設定が終わるときは

待機画面に戻るまで **機能** を押します。

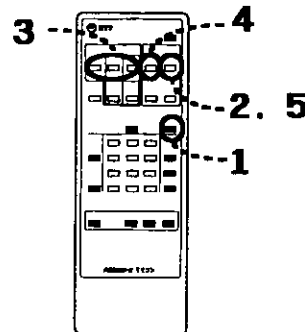
多地点再発信をON/OFFするとき

5 多地点テレビ会議
機能の使い方

多地点テレビ会議中に 会議状態を変更するとき

会議状態の変更

会議状態の変更は、ホスト端末で行います。



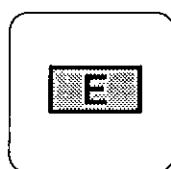
1

多地点テレビ会議中に **機能** を押します。



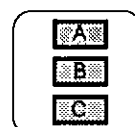
2

会議状態 (E) を押します。



3

↓ (A)、↑ (B) および → (C) を押して、会議状態の変更をしたい項目に、カーソルを合わせます。



[多地点通信]

相手画像	相手画像
相手画像	相手画像

自/相手 静/動 鏡/正 会議状態

A B C D E

[メンバ状態]: ヨサンカイギ

	音声 送信	受信	画像 送信	受信
ホスト	○	○	○	○
1 キカク	○	○	○	○
2 エイギョウ	○	○	○	○
3 カイハツ	○	○	○	○
4 ソウム	○	○	○	○

↓ ↑ → O/X 設定終了

A B C D E

[メンバ状態]: ヨサンカイギ

	音声 送信	受信	画像 送信	受信
ホスト	○	○	○	○
1 キカク	○	○	○	○
2 エイギョウ	○	○	○	○
3 カイハツ	○	○	○	○
4 ソウム	○	○	○	○

↓ ↑ → O/X 設定終了

A B C D E

4

O/X (D) を押して、会議状態を変更します。1回押すごとに O→X→O と変わります。

接続できなかったメンバは表示しません。会議状態の設定(94ページ)で設定したときは、順序が異なることがあります。

[メンバ状態]: ヨサンカイギ

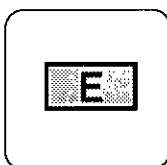
	音声 送信	受信	画像 送信	受信
ホスト	○	○	○	○
1 キカク	○	○	X	○
2 エイギョウ	○	○	X	○
3 カイハツ	○	○	X	○
4 ソウム	○	○	X	○

↓ ↑ → O/X 設定終了

A B C D E

5

設定終了 (E) を押します。



「会議状態変更中」と表示され、しばらくすると会議中画面に戻ります。

[メンバ状態] 会議状態変更中

	音声 送信	受信	画像 送信	受信
ホスト	○	○	○	○
1 キカク	○	○	X	○
2 エイギョウ	○	○	X	○
3 カイハツ	○	○	X	○
4 ソウム	○	○	X	○

↓ ↑ → O/X 設定終了

A B C D E

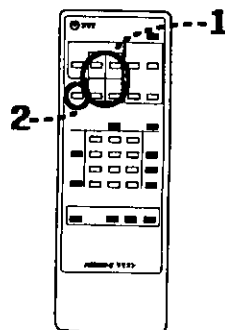
そのほか

- 会議状態の変更には、数十秒かかることがあります。
- 会議状態の変更操作において、**設定終了** (E) を押す前に **機能** を押すと、変更を行わないで終了します。
- 会議状態の変更のとき、画像受信ミュートされた端末において、一瞬画像が見えることがあります。

1 画面表示と4 分割画面表示を切り替えるとき

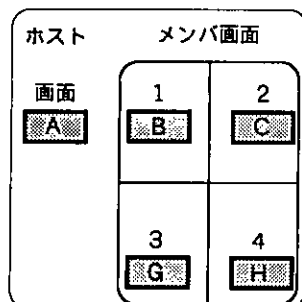
画面切替

画面切替は、ホスト端末で行います。



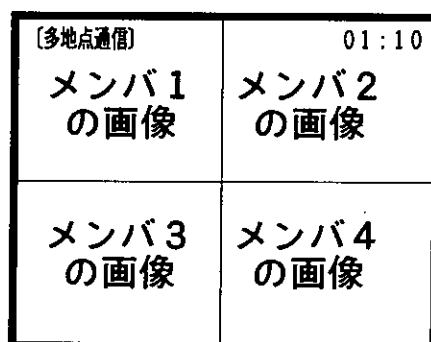
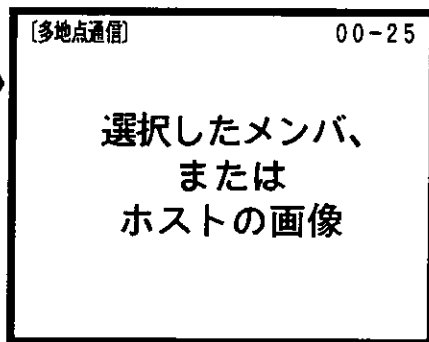
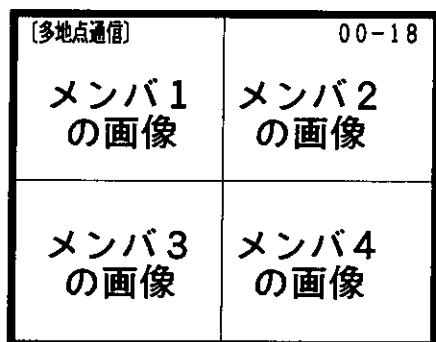
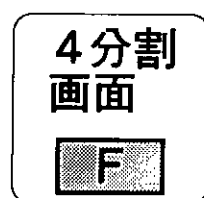
1

1 画面表示にするときは、希望する画像のボタンを押します。



2

元の4 分割画像表示に戻すときは、**4 分割画面** を押します。



4 分割画面表示のそれぞれの画像が、ボタンと対応しています。また、メンバ状態（100ページ）の項番1～4にも対応しています。

多地点テレビ会議に参加しているすべての端末で、1 画面表示になります。会議状態（100ページ）の中で、画像送信の設定内容は、ここで切り替えた内容に更新されます。

1 画面表示のときは

1 画面表示のとき高精細静止画を送ることのできるの、1 画面表示に選択された端末からだけです。

4 画面表示のときは

4 分割画面表示のとき、高精細静止画を送る操作をしても、通常の静止画になります。ホストとメンバが1 端末ずつのときは、1 画面で表示されます。

1 画面表示と4 分割画面表示を切り替えるとき

5 多地点テレビ会議機能の使い方



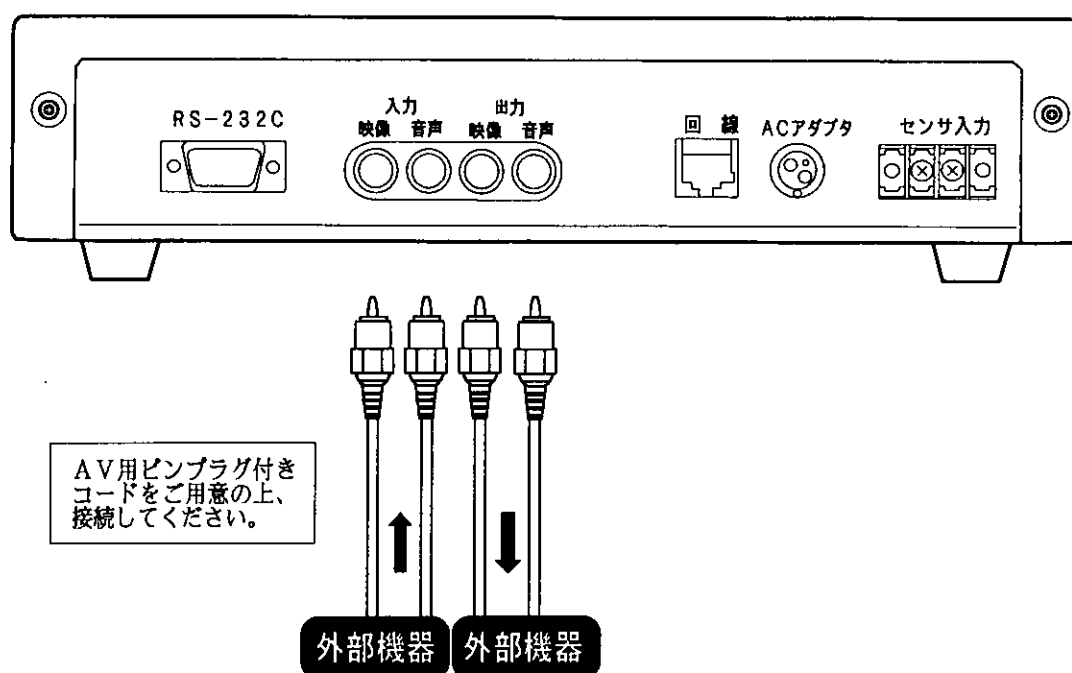
●第 6 章●

ご参考

外部機器の接続と条件	104
トラブル対策	106
お手入れのしかた	110
オプション・一般市販品の紹介	111
索引	112
保証・アフターサービス	114
仕様	115

外部機器の接続と条件

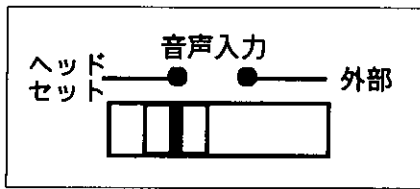
接続コードの抜き差しは、電源コードを抜いてから行ってください。
本装置の入力端子と出力端子を、同じ外部機器の出力と入力に同時に接続すると、異常音の発生の原因になるので、避けてください。



PICSEND-Cの端子名	接続機器の例	インタフェース仕様	備 考
映像入力端子	ビデオカメラ 普画装置 ビデオデッキ	NTSCコンポジット信号 1V _{p-p} /75Ω	ビデオテープ送信にはタイムベースコレクタ(TBC)機能が必要です
映像出力端子	モニタ テレビ	NTSCコンポジット信号 1V _{p-p} /75Ω	テレビでは外部入力端子が必要です
音声入力端子	EC-10 ビデオカメラ ビデオデッキ	入力電圧平均316mVrms 入力インピーダンス47kΩ以上	EC-10を接続するときは、EC-10の平衡/不平衡切替スイッチを「不平衡」に設定してください。
音声出力端子	EC-10 アンプとスピーカ	出力電圧平均316mVrms 出力インピーダンス2kΩ以下	

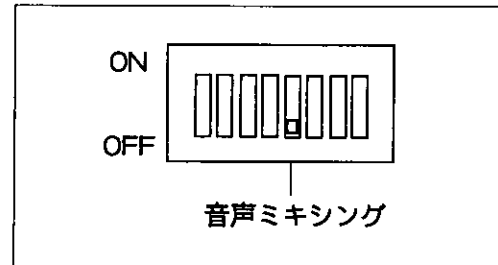
スイッチの設定

- 音声入力切替スイッチを外部に切り替えます。
- 音声ミキシング（音声信号の取り扱い）について設定します。



音声入力

ヘッドセット	ヘッドセットを使うときはヘッドセットにします
外部	音声入力端子から入力した外部機器の音声を相手に送ります。



音声ミキシング

ON	相手から聞こえる音と、相手に送る音をミックスして、音声出力端子から出力します。
OFF	相手から聞こえる音だけを音声出力端子から出力します。

STOP お願い

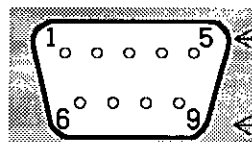
- EC-10 を接続するときは、音声ミキシングをOFFに設定してください。

RS-232C

- 「RS-232Cの信号線の意味と機能」は次表によります。

端子番号	記号	名称	方向 端末←PICSEND-C	機能
1	CD	キャリア検出	←	相手のTV電話機との間で通信可能のときON状態になります。本信号がOFF状態のときは、RD端子より出力されるデータは無視してください。
2	RD	受信データ	←	PICSEND-Cからパソコンなどへデータを送ります。
3	SD	送信データ	→	パソコンなどからPICSEND-Cへデータを送ります。
4	ER	データ端末レディ	→	(PICSEND-Cでは本信号は使用していません)
5	SG	信号グランド	—	各信号線の電圧の基準となる信号接地線
6	DR	データセット・レディ	←	TV電話開始時ON、終了時OFFになります。
7	RS	送信要求	→	(PICSEND-Cでは本信号は使用していません)
8	CS	送信可	←	フロー制御信号：調歩同期通信の場合、この信号がOFFのときはデータ通信は止めてください。
9	CI	被呼表示	←	常時OFF状態

本体側 RS-232C
コネクタ端子の
拡大図



端子番号

端子番号

トラブル対策

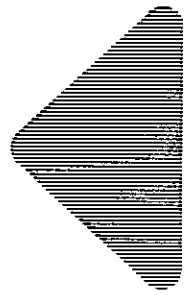
故障かな・・・と思ったら次のことをお調べください。

また、この取扱説明書をもう一度お読みになり操作に誤りがないかお確かめください。

それでも不具合が生じるときは、113番（故障受付）にご連絡ください。

発信・着信のトラブル

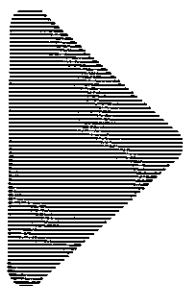
故障かな・・・	トラブル原因	対 策	参照ページ
電源ランプが点灯しない	電源コードが抜けていませんか？	電源プラグを装置本体のACアダプタのコネクタへ確実に差し込んでください	29
	ACアダプタのプラグが抜けていませんか？	ACアダプタの電源コードのプラグをACアダプタ本体と電源コンセントへ確実に差し込んでください	29
	上記以外	しばらく（10分くらい）電源コードのプラグを電源コンセントから抜いた後、再度差し込んでください	—
発信できない	装置本体の電話機コードが抜けていませんか？	電話機コードのプラグを装置本体のISDN回線用ジャックへ確実に差し込んでください	29
		電話機コードのプラグをISDN回線側のモジュラジャックへ確実に差し込んでください	29
	ほかの機器が同じ回線を使っていませんか？	ほかの機器の通信が終わってから、おかけ直してください	—
センサ発信ができない	待機画面以外の画面になっていませんか？	待機画面に戻してください	22
	センサ入力接続端子がON（短絡状態）になりっぱなしではないですか？	接続されているセンサなどの機器をチェックしてください	55
	電話帳の1番に、相手の電話番号が登録されていますか？	電話番号を登録してください	34
着信できない	着信拒否の設定がされていませんか？	電話帳に登録されている相手以外からの着信はできません 相手の電話番号を電話帳に登録するか、または着信拒否の設定をOFFにしてください	34 57
	自アドレス／自サブアドレスの登録内容と、相手の指定しているアドレス／サブアドレスが食い違っていませんか？	登録されている自アドレス／自サブアドレスを訂正するか、または消去してください	32 36
	ほかの機器が同じ回線を使っていませんか？	ほかの機器の通信が終わってから、相手がかけてくるのを待ってください	—



音声や画像のトラブル

故障かな……	トラブル原因	対 策	参照ページ
相手に音声が届かない	ヘッドセットのプラグが抜けていませんか？	ヘッドセットのプラグを確実に差し込んでください	18 29
	音声ランプが点滅していませんか？	音声ミュートになっています 音声ボタンを押して音声ミュートを解除してください	58
	音声入力切替スイッチの設定が誤っていませんか？	音声入力切替スイッチを正しく設定してください	20 105
	音声ランプが消灯していませんか？ (TV電話のとき、通信モードの設定で音声が入力切替スイッチになっていませんか？)	一度電話を切ってください 通信モードの設定で音声をADPCMかPCMにした後、おかけ直してください	78
相手に画像が届かない	画像ランプが点滅していませんか？	画像ミュートになっています。画像ボタンを押して画像ミュートを解除してください	59
		ディップスイッチの「自動送信ミュート」がONになっています OFFにしてください	49
	画像ランプが消灯していませんか？ (TV電話のとき、通信モードの設定で画像が入力切替スイッチになっていませんか？)	通信モードの変更で画像を「動き重視」にしてください（通話中に設定できます）	64
回線がつながった直後、ブツブツという音がする	通信開始時の音声デジタル処理によるもので異常ではありません	——	——
相手に送る画像の動きが非常に遅い 画面が青色になりモザイク模様ができる	ほかの機器が同じ回線を使っていませんか？	そのままお話しするか、ほかの機器が使用していないときにもう一度おかけ直してください	——
	通信モードの設定でチャンネルを1Bにして電話をかけていませんか？	そのままお話しするか、通信モードの変更でチャンネルを2Bに変更してください (電話をかけた方から変更できます)	64
外部機器の音声や画像が相手に届かない	音声入力切替スイッチの設定が誤っていませんか？	音声入力切替スイッチを正しく設定してください	20 105
	外部機器の接続が誤っていませんか？	正しく接続し直してください	104

(次のページへつづく)



トラブル対策

(つづき)

故障かな・・・	トラブル原因	対 策	参照ページ
外部機器の画像が相手に届かない	外部機器の接続が誤っていませんか？	正しく接続し直してください	104
内蔵スピーカから、キートン（ボタンを押したときにでる音）がでない	スピーカ音量が最小になっていませんか？	スピーカ音量を調整してください	20
ヘッドセットから音がでない	音声入力切替スイッチの設定が誤っていませんか？	音声入力切替スイッチを正しく設定してください	20 105
「ピー」という音が外部機器のスピーカからでる	スピーカの音量が大き過ぎませんか？	ハウリングが発生しています 外部機器のスピーカの音量を小さく調整してください それでもハウリングが止まらないときは、ヘッドセット（オプション）でお話してください	—
多地点テレビ会議のとき、4分割画面が乱れる／動きが止まる	電話回線上のノイズにより、画像情報のやりとりでエラーが発生したようです	一度、1画面表示にし、もう一度4分割画面表示に戻してください	101
多地点テレビ会議のとき、画像受信ミュートされた端末において、一瞬画像が見える	会議状態の変更のしかたによっては、一瞬画像が見えることがありますが、故障ではありません。	—	—

その他のトラブル

故障かな・・・	トラブル原因	対 策	参照ページ
電話帳や自アドレス／自サブアドレスの内容が消えてしまった	長時間電源を切ったままにしていますでしたか？	もう一度登録してください	32 34

●停電になったとき

停電になったらすべての動作が停止され、相手と通信ができなくなります
停電が回復したあと、再度相手へダイヤルしてください



エラーメッセージが表示される

故障がな...		トラブル原因	対 策	参照ページ
会議状態の変更のとき、画面に「ミュート状態変更失敗」のメッセージがでる		たまたま高精細静止画を送信中の端末があった	もう一度会議状態の変更を行ってください	—
画面に「DXXX」のメッセージがでる	D000	本装置の電話機コードが抜けていませんか？	電話機コードのプラグをTV電話機本体のISDN回線用ジャックへ確実に差し込んでください	29
			電話機コードのプラグをISDN回線側のモジュラジャックへ確実に差し込んでください	29
	D001	電話番号を間違えていませんか？	番号を確認しておかけ直してください	—
	D003	電話番号を間違えていませんか？	番号を確認しておかけ直してください	—
	D017	相手が電話中ではないですか？	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D018	相手の電話にだれも出ません	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D021	ディップスイッチの設定が多地点になっていません（多地点テレビ会議のとき）	通信相手にお問い合わせください	—
		相手が登録している自アドレス／自サブアドレスの番号と、電話をかけたときの番号が食い違っていませんか？	通信相手にお問い合わせください	—
	D028	電話番号を間違えていませんか？	番号を確認しておかけ直してください	—
	D034	ほかの機器が同じ回線を使っていませんか？	ほかの機器の通信が終わってから、おかけ直してください	—
	D038	交換機が故障中です	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D041	交換機が込みあっています	再度おかけ直してください	—
	D042	交換機が故障中です	しばらく待ってからおかけ直してください	—
	D088	相手にテレビ電話が接続されていますか？	通信相手にお問い合わせください	—
多地点テレビ会議のとき、画面に「MXXX」のメッセージがでる	M001	ほかの機器が同じ回線を使っていませんか？	ほかの機器の通信が終わってから、おかけ直してください	—
	M002 M003	相手の電話機がP IC SEND-R、P IC SEND-Cのどちらでもありません	相手のTV電話機を確認してください	—

お手入れのしかた

お手入れのしかた

- 乾いたやわらかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、水で薄めた洗剤にひたした布をよくしぼってふきとり、その後 乾いた布でふいてください。



STOP お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性のものは使用しないでください。
洗剤やスプレーなどを直接かけないでください。
変色、変形、変質 や故障の原因になります。



⚠ 警告:

- 装置のカバーは外さないでください
感電や故障の原因になります。
内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 装置の分解、改造はしないでください
火災・感電の原因になります。
- 必ずプラグを持って抜いてください
電源コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張ったりしないで、必ずプラグをもって抜いてください。コードを引っ張るとコードを傷め、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください
濡れた手でのプラグの抜き差しは感電の原因となり危険です。

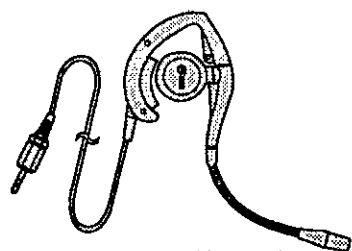
⚠ 注意:

- お手入れの際はプラグを抜いてください

お手入れや移動の際は、安全のため電源プラグや接続されているコード類を抜いてください。

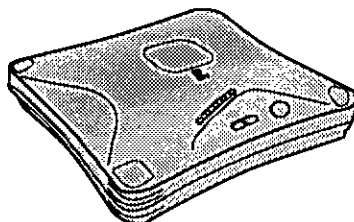
オプション・一般市販品の紹介

● オプション



●ヘッドセット

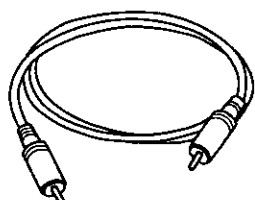
騒音の多い環境で通話するとき便利。



●EC-10

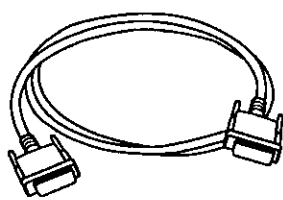
マイク、スピーカ、アンプ、およびエコーキャンセラーを一体化した製品。TV会議のとき便利。

● 一般市販品



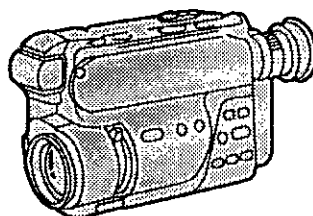
●映像・音声信号コード

映像・音声機器との接続に。



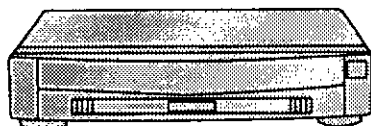
●RS-232Cケーブル

パソコンなどのデータ端末機器との接続に。



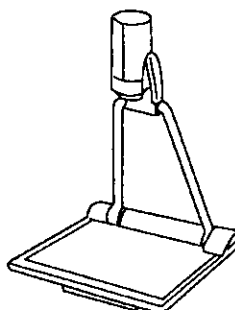
●ビデオカメラ

映像入力用に、三脚と組み合わせて。



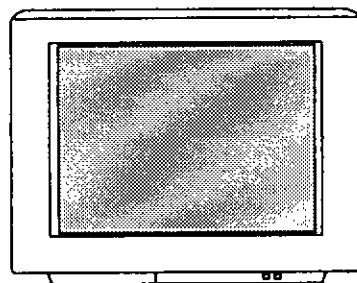
●ビデオデッキ

TV電話の通話の記録用に。
映像送信に使うときはタイムベースコレクタ(TBC)機能付を。



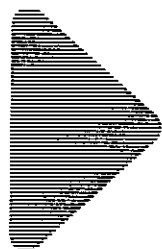
●書画装置

高精細静止画にして資料や写真の映像を送るとき便利。



●モニタ

相手画像や自分画像を映すために。



索引

数字

1 画面表示	101
2つのダイヤル入力	37
4分割画面ボタン	24
4分割画面表示	101

あーア行

RS-232C端子	19
ISDN回線用ジャック	19
アフターサービス	114
安全上の警告情報	1~7
異常時の対処のしかた	2
受ける	48
動きボタン	24
ACアダプタ	14
ACアダプタ接続端子	19
映像出力端子	19
映像入力端子	19
お手入れのしかた	110
オプション	111
親画面	16
音声出力端子	19
音声電話でかける	44
音声入力切替スイッチ	20
音声入力端子	19
音声ボタン	24
音声ミキシング	21, 105
音声ミュート	58
音声ランプ	18

かーカ行

海外の相手と通信する	37
会議状態の設定	94
会議状態の変更	100
会議の開始	96
回線1ランプ	18
回線2ランプ	18
外部機器の接続	104
各部のなまえとはたらき	18
画質ボタン	24
画質変更	69
画像ボタン	24
画像ミュート	59

画像ランプ	18
カナ/英/数ボタン	24
画面切替	101
監視	84
機能名称	22
機能ボタン	24
鏡/正	63
グループ	88, 92
高精細静止画	62
高精細静止画解除ボタン	24
高精細静止画受信ボタン	24
子画面	16
呼毎通知許可	7, 88

さーサ行

再ダイヤル	47
再ダイヤルボタン	24
サブアドレスについて	36
サブアドレスボタン	24
自/相手	60
自アドレス、自サブアドレス	32
識別着信	21, 56
自動送信ミュート	21, 49
受話音量切替スイッチ	20
仕様	115
消去ボタン	24
正面	18
スピーカ音量調整ボリューム	20
静/動	62
設置・据付について	3, 4
接続機器の条件	104
接続のしかた	28
セットの確認	14
センサ入力接続端子	19
センサ発信	55
全消去	71
操作早見表	14
側面	20

たータ行

待機画面	22
ダイヤルボタン	24
多地点	21, 91
多地点再発信	99
多地点テレビ会議	88

着信音	73
着信拒否	21, 57
着信記録	81
着信音色切替スイッチ	20
着信ランプ	18
通信モードの設定	78
通信モードの変更	64
通話時間表示設定	74
訂正ボタン	24
ディップスイッチの設定	21
停電	108
底面	21
データ通信	83
T V電話自動着信	21, 75
T V電話着信メロディ	21, 72, 73
T V電話でかける	42
電源コード	14
電源関係の取り扱いについて	5
電源ランプ	18
電池の入れ方	23
電話機コード	14
電話着信音色切替スイッチ	20
電話帳ダイヤル	54
電話帳登録	34
電話帳ボタン	24
電話を受ける	48
電話をかける	42, 44
特長	15
トラブル対策	106
取り扱いについて (はじめに)	1

な－ナ行

内蔵スピーカ	18
日時設定	31
入力文字について	38

は－ハ行

背面	19
発信記録	80
発信者番号通知なしダイヤル	76
P i n P	61
P i n P表示設定	70
P i n Pボタン	24
P Bダイヤル送出	66
ヘッドセット入力用ジャック	18

ベル切ランプ	18
保証	114
保証書	14
ホスト	88, 91
ホスト番号	91
ホストボタン	24
保留	50
保留音	73
保留ボタン	24
保留メロディ	21, 72, 73
保留ランプ	18

ま－マ行

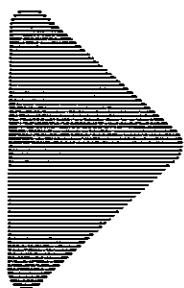
メンバ	88, 92
メンバボタン	24
モニタ (音色の確認)	72
モニタの見方	22

ら－ラ行

リモート画質変更	67
リモート高精細受信	68
リモコン	23, 24
リモコン受光部	18
累積料金	82

わ－ワ行

ワイヤレスリモコン	14, 23, 24
ワンタッチダイヤル	46
ワンタッチボタン	24



保証・アフターサービス

● 保証について

保証期間（1年）中の故障につきましては無償で修理を致しますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

● 保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月決められた料金だけで、安心してご利用いただけます。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。） ● NTT窓口まで本装置をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用は不要です。

- 故障の場合は・・・113番（故障受付）へご連絡ください。
- その他……………定額保守サービスの料金については、最寄りのNTT窓口へお問い合わせください。

● 保守用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、最寄りのNTT窓口へお問い合わせください。

仕様

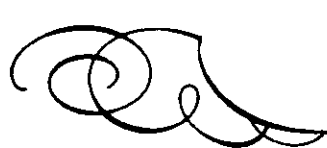
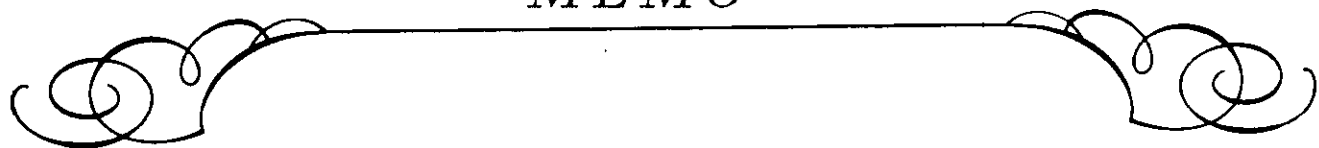
項目		内容
回線インタフェース		INSネット64、P-mP接続
伝送速度		56~128k bit/s
画面	入出力端子	NTSCコンポジット信号
	符号化方式	ITU-T H.261準拠
	符号化速度	38.4、62.4、68.8、100.8、124.8k bit/s
	解像度	画質重視：352（水平）×288（垂直） （最大受信能力 10フレーム/秒） 動き重視：176（水平）×144（垂直） （最大受信能力 15フレーム/秒） 高精細静止画モード：704（水平）×480（垂直） （独自方式）
音声	入出力端子	RCAピンジャック、ヘッドセット*1
	符号化方式	ITU-T G.711準拠（ μ -law、A-law） 独自モード：ADPCM
	符号化速度	音声通話時：64k bit/s TV電話；G.711時：56k bit/s TV電話；ADPCM時：24k bit/s
音声・画像通信制御		ITU-T H.221、H.230、H.242、H.320準拠
テレビ電話通信モード		①：画像 100.8k bit/s、音声 24k bit/s ②：画像 68.8k bit/s、音声 56k bit/s ③：画像 38.4k bit/s、音声 24k bit/s など
多地点通信		最大接続地点数：5地点 画面表示：4分割画面/1画面、ピクチャー・イン・ピクチャー表示など
外部インタフェース		RS-232C（Dsub 9ピン） センサ端子（ネジ止め） 画像入出力端子：RCAピンジャック、1Vp-p、75 Ω 不平衡 音声入力端子：信号レベル -14.7dBm インピーダンス 47k Ω 以上 音声出力端子：信号レベル -14.7dBm インピーダンス 2k Ω 以下
電源		AC100 $\pm$ 10V、50/60Hz（ACアダプタ使用）
寸法 / 重量		約270×233×67.5mm（幅×奥行×高さ）/約2kg

*1：オプション
※カメラ、モニタ、センサは市販品使用

仕様

6
二巻

MEMO



使い方などでご不明の点がございましたら、NTT窓口などへお気軽にご相談ください。



NTT
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION

日本電信電話株式会社
〒163-19 東京都新宿区西新宿3-19-2



この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。